



皇室ニ關スル事件ノ審判ヲ求メタル事例アリ而シテ司法大臣モ亦之ヲ是認スルノ意見ヲ發表シタリト聞ク政府ハ

理由

我國體ニ照スニ 天皇ノ神聖不可侵タル絶對無限ニシテ夫ノ外邦ノ君主ノ或ハ其私權上ノ關係ニ於テ臣民ト對等ノ地位ニ立ツモノト斷シテ同一視スルヲ許サス故ニ我現行ノ法制

皇室ノ人民ニ對シ又ハ人民ノ 皇室ニ對スル訴訟アルコトヲ想定セス恭シク

皇室典範ノ規定ヲ案シ又裁判所構成法ノ法條ニ閱スルニ特ニ 皇族ト人民間ノ

皇室ニ對スル訴訟ニ付テハ何等ノ規定ヲ設ケス是我國法上斯ル訴訟ノ成立ヲ想定

皇室御財產ニ關シテ訴訟ヲ通常裁判所ニ提起シ裁判所モ亦之ヲ受理シテ普通ノ

上御一人ヲ代表シテ其訴訟ヲ提起シタルモノナリト言フニ外ナラス而シテ當該裁判

官ハ尙平然該案件ノ曲直ヲ裁判セントシテ其審理ヲ進行シ加之司法大臣ハ

皇室ヨリ人民ニ對スル訴訟ヲ受理シ之ヲ審理判決スルコトヲ得ルトセハ人民モ亦

皇室ト被テトシテ通常裁判所ノ判決ヲ受クルコトヲ得ヘキハ當然ニシテ

皇室ハ裁判所ノ命令ニ依リ強制ヲ受クルニ至ルヘキハ勿論 既ニ司法裁判所ノ權限

ノ下ニ立ツ以上ハ別段ノ明文アラサル限リ總テノ法令ハ人民ト同シク

皇室ニモ適用セラル、モノトナルヘシ事茲ニ至ラハ其結果ノ我國體ニ影響スル所實ニ

重大ノ事態ヲ看過スルハ非常ノ失態ナリト謂ハサルヘカラス是本員等カ茲ニ本

質問ニ於テ政府ハ前記ノ事例ヲ以テ合法ニシテ且ツ國體ニ觸ル、所ナシト爲ス

ノ意ナルヤ否ヤヲ問ハント欲スル所以ナリ

新瀉ヨリ秋田ニ至ル沿海鐵道ノ測量及收支ノ豫算ニ關スル質問書  
右成規ニ據リ提出候也

明治二十八年二月二十三日

提出者 齋藤 良輔

齋藤 宇一郎

贊成者 鈴木 久次郎

佐藤 伊助

外二十名

我邦鐵道ノ急ニ敷設ヲ要スルモノ其數多シト雖モ抑新瀉縣新瀉市ヨリ秋田縣秋

田市ニ至ル鐵道ハ彼ノ富、直間鐵道ノ敷設ト相俟テ戰局ノ發展ニ對シテハ勿論、

平和克復ノ曉ニ於テ北方漁獵ノ權利ヲ始メ數多ノ利權ヲ我ニ收メント欲セハ一日  
モ忽諸ニ附ス可ラサルモノアリ政府幸ヒ此線路ヲ測量シ且之ニ伴フ經濟豫算シ  
既ニ成テ告クト云フ依テ其詳細ヲ聞カント欲ス

言論印行ノ自由ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治二十八年二月二十三日

提出者 立川 雲平

贊成者 粕谷 義三

外三十一名

言論印行ノ自由ニ關スル質問主意書

政府ハ明治二十七年十一月二十五日發行兼編輯人齋藤兼次郎印刷人石川三  
四郎カ差出シタル日本平民新聞ノ發行届ヲ調レテ拒絶シ且之レカ理由ヲ示サス  
又同人等カ明治二十七年十二月一日平和ト題スル學術雜誌ノ發行届並ニ明治  
二十八年一月十八日あけぼの新聞ノ發行届ヲ何レモ調査ノ都合有之テ却下セ  
リ又明治二十八年一月二十四日發行兼編輯人志知フミ印刷人神崎順一カ差出  
シタル新社會ト題スル雜誌ノ發行届ヲ拒絶シタリト聞ク蓋シ言論印行ノ自由ハ帝  
國臣民カ憲法ノ條規ニ依リ享受スル所ノ權利ナルヲ以テ之カ執行ヲ妨グルノ處分ハ  
區々一新聞一雜誌ノ事ナリトシテ不問ニ付スヘカラス是レ本質問ヲ提起シテ以テ政  
府ノ答辯ヲ要スル所以ナリ

○議長(松田正久君) 岡田治衛武君ヨリ、宗教行政方針ニ關スル件ニ付イテ、質  
問演說ヲ致シタリト云フ請求ガアリマスルカラ、之ヲ許シマス。岡田治衛武君

(岡田治衛武君登壇)

○岡田治衛武君(二十五番) 諸君、本員ハ茲ニ宗教行政ノ方針ニ關スル質問書ヲ  
提出致シマス、其趣意ハ「政府ノ宗教ニ對スル行政ハ現狀ヲ以テ是レトスルヤ將タ  
更ニ適當ノ法律ヲ施キテ之ニ依リノ意ナルヤ如何又果シテ法律制定ノ意志アリトセハ  
其法案ハ次回ノ通常帝國議會ニ提出シ得ルヤ如何目下ノ準備將來ノ方針ニ付キ明  
確ナル答辯ヲ要ス」斯ウ云フ趣意アリマス、之ヲ辯明致シマス前ニ當テ、諸君ニ御斷  
リ申シテ置キマスガ、最早會期モ切迫シテ、本日も種々日程ニ上リマシタ條件モ、澤山  
アリマスレ、極メテ本員ハ簡單ニ、極メテ要ヲ摘ンテ辯明致シマス積テゴザイマスガ、  
ソレト同時ニ諸君ニ於キマシテモ、是ハ普通ノ財政經濟ナド政治家ノ事ト違ヒマシテ、  
國民ノ信仰上ニモ、關係ヲ及ボス事柄デゴザイマスカラ、諸君ニ於キマシテモ、極メテ綿  
密ニ御聽取ヲ願ヒタウゴザイマス、諸君、本員ガ此會期切迫ニ當テ、此質問ヲ起シマシ  
タノハ、本來ナラバ今少シ以前ニ質問ヲ發スルコトデアリマシタガ、實ハ前議會及本議  
會ニ於テモ、竊ニ本員ハ此宗教法案ト云フコトニ、望ヲ囑シマシテ、政府ニ於キマシテ  
モ、何等カノ提案ガアルコトデアラウト思フテ、待チマシタコトデアリマス、然レ本期議  
會ノ初メニ當テ、一種ノ風説ガアル、政府ハ宗教法案調査委員會ナド云フモノヲ、設  
ケルデアラウトカト云フ、風説モアリマシタ、勿論是ハ風説ニシテ、敢テ本員ガ確信ヲ致シ  
タ譯デアリマセヌガ、事態ガ本員モ亦其位ノ事ハ、政府ニ於テモアルデアラウト信ジマシ  
タ故ニ、今日マデ指テ居シテ相待チマシタガ、既ニ會期ハ切迫シテ、左様ナ提案モナイ  
デ本期議會ニ於テハ、之ヲ提案スルノ意思ハナイト思ヒマスカラ、茲ニ質問ヲ發シタ次第  
デアリマス、ソレデアレ何故ニ本員ハ斯ノ如キ質問ヲ發シテ、政府ノ答辯ヲ求メマスカト云フ  
ニ、我邦ハ諸君モ御承知ノ通、維新以前ニハ十分ニ此宗教制度ト云フモノハ、確立シ  
テ居ラデアリマシタガ、維新後政教分離信教自由ト云フ主義ニ依リマシテ、數千年

舊慣制度ト云フモノハ、悉ク打破セラレマシタ、從テ舊來アリ來ツタコロノ宗教デナク、新タニ禁テ解カレテ、基督教ノ如キモ、宣布セラレ、ト云フ形勢ニナリマシタ、如何ニモ結構ナコトデ、信教ノ自由モ宜シ、又政教分離モ然ルベキコトデアリマセウ、大ニ喜ブベキ現象デアリマシタ、是ト同時ニ宗教ニ對スル行政ノ方針ハ如何、今日ニ至ルマデ、確定ヲ致シテ居リマセウ、之ヲ急イテ確立スベキ必要ガ一種デアリマシタ、第一ハ大體ニ於テ、國家トシテ宗教ニ對スル制度ヲ定メシメバ、ナラヌト、ソレカラ第一ハ、近キ國家ノ出來事ニ於テ、宗教制度ノ確立ヲ促シテ居リマシタ所以カラ、私ハ辯シヤウト思ヒ、近キ出來事ニ依テ、宗教制度ノ確立ヲ促シテ居リマシタ所以カラ、私ハ辯シヤウト思ヒマシタ、是ハ昨年以來ノ日露交戦、即チ時局ノ促シテ居リマシタコト、本員ハ確カニ認メマス、何故ニ時局ガ之ヲ促シテ居ルカト申スニ、全體宗教ナルモノモ、極メテ泰平ノ世ニハ、甚ダ睡眠ヲ致シテ居ル、睡テ居ルカト申スニ、全體宗教ナルモノモ、極メテ泰平ノト云フコトニ至リマス、ト云フ、人間ハ申スマデモナク、感情ノ動物デアリマシタ、眞面目ニナリマス、諸君ガ既ニ御承知ノ通、今日滿洲ノ野ニ大兵ヲ送りマシタ、此兵卒ガ郷里ヲ立ツトキニハ、如何ナルコトヲ爲シマスルカ、平素寺院トモ教會堂トモ、神社トモ思ハナイモノガ、悉ク出發ニ臨ンテ、己レノ信ズルコトヲ、寺院神社教會等、斯クナ所ニ向テ信仰ヲ求ムル、是ハ明カナ事實デアリマシタ、平素一向心念ニ置カナカ、タトコロノ信仰心ト云フモノガ、俄然シテ勃興スルコトデアル、而シテ其戰鬪ニ臨ンテ居リマス、又既ニ戰鬪ニ臨ンテ、滿目積雪、萬籟寂トシテ聲ナキトキニ於テ、竊ニ其兵士ガ郷里ヲ思フ、此時ニ到リテ、如何ナル感ガ生シマセウ、諸君、此時ニ於テ正氣ヲ奮起シテ、君國ノためニ一死ヲ以テ報スルコト云フ、心霊ノ勇氣ヲ發スルノハ、是ハ即チ宗教ニ待タナケレバナラヌコト、本員ハ信ズル、現ニ其形ガアリ、ト現ハレ居ル、ソレカラ又之ヲ戰地ニ送りマシタコト、留守ノ妻子、父母、兄弟、是モ亦神ニ祈リ、佛ニ禱リ、天帝ニ祈ル、斯ウ云フヤウニ、要スルニ平素宗教思想若クハ信仰思想ノナイモノガ、此戰局ニ當テ、非常ナ熱心ヲ起ス、此熱誠ナルモノハ、平和克復ノ後ニ於テ、如何ナル動作ニナリマセウ、今ハ何レノ宗教、何レノ宗派モ、詰リ一國ヲ擧ゲテ、勝タナケレバナラヌト云フ、戰鬪ノ大目的ガアツテ、是ニ向テ信仰ノ念ヲ發揮シタコトデアリマスガ、此信仰ハ一方ニハ繼續スル、而シテ戰鬪ハ止ンテ、平和ニ克復シタ、斯ウ云フ場合ニハ、如何ナル現象ヲ生シマセウカト云フニ、本員ガ舊來ノ歴史ヲ取調ベマスル、凡ソ國ヲ擧ゲテ大戰ノ巷ニ戦ウタト云フ曉ニハ、宗教史上ニ一變化ヲ來スト云フコトハ、洋ノ東西ヲ問ハズ、皆同一轍ニ出テ居ルコト、本員ハ信ズル、ソレテ宗教部面ニ於テ、變化ヲ生ズルトシマス、宗教宣布、即チ宗教ヲ職トスル者ノ布教ノ上ニ於テモ、亦一變化ヲ生ズルコト、私ハ信ズル、(「簡單ニ」ト呼フ者アリ)既ニ其觀念、其行為、及其狀態ニ於テ、變化ヲ生シマシタ場合ニハ、國家ハ此宗教事件ヲ、如何ナル制度、如何ナル方針ニ依テ、之ヲ遇シマスルカ、宗教ハ宗教、國家ハ國家、即チ國家ハ是ニ向テ、行政ノ方針ヲ確立シテ、サウシテ善長ナルモノハ、之ヲ善長ニ導カナケレバナラヌ、迷信不善ナルモノハ、之ヲ斥ケナケレバナラヌコトハ、當然ノコトデアラウト本員ハ心得マス、是ガ即チ近因トシテ、宗教制度ヲ一日モ早ク確立シタイト云フ本員ノ望ミデアリマス、ソレカラ次ハ大體ニ於テ、之ヲ確立セザルベカラザルノ所以ガアル、是ハ諸君モ既ニ御承知ノ通、凡ソ文明國ニ於テ、我邦程政府ガ宗教制度ニ向テ、冷淡ナル國ハアリマセヌト、本員ハ信ズマス、(「ノウ」ト呼フ者アリ)維新以來三十餘年間、今日ニ至

ルマデ、宗教ノ制度ハ確立シナイ、舊制度ハ打破シテシマツタ、之ニ代ハルトコロノ確然タル制度ガナイ、サレバ國民ハ信仰力ガナイカト云ハ、國民ノ全體ハ、十ノ七八ハ信仰力ガ強イノデアル、信仰思想ガアルカラコト、事ニ臨ンテ即チ信仰ノ勢力ヲ發揮スルノデアル、是等ハ皆人間ノ資性デアルカラ尤ナコトデアル、然ルニ其國民ノ全體ニ於テハ、廣ク宗教思想ガ延蔓シテ居ルニモ拘ハラズ、國家ハ之ニ對スルトコロノ、制度ヲ忽セニスルト云フコトハ、諸君、道理ニ適シタモノデアリマセウカ、適ハヌモノデアリマセウカ、(「簡單々々」ト呼フ者アリ)既ニ我邦ハ憲法國ア、諸般ノ法律ハ完全シテ居ル、獨リ宗教ニ對スルトコロノ行政法ハ、晏然トシテ其儘ニ打捨テアルト云フコトハ、缺點ト本員ハ心得マス、勿論宗教ノ事ハ、其國々々ノ習慣モアツテ、一概ニハ言ヘマセヌガ、日本ニハ歐米諸國ニ十分優ツタコロノ制度ガアツタモノガ、今ハ瓦解シテ居ル、是ニ代ハルモノハ、一日モ忽セシセラレヌト云フ次第デアリマシタ、之ヲ確立スルニハ、如何ナル方針ヲ採ルカト云フコトハ、十分ニ研究ヲ要スルコトデアラウト、本員ハ心得ル、如何ナルモノニ向テ、歐米各國ノ宗教ハ法ヲ立テ、居ルカト云フ、大概國々テ其習慣ニ依テ、異ナル點モアリマセウケレドモガ、大凡之ヲ大別スルト、三種ニナツテ居リマス、(「分」ト呼フ者アリ)一ハ國家及宗教合一ノ主義ヲ採ルモノ、其二ハ政教分離ノ原則ニ從ヒ、國家ガ宗教會團ニ對スル關係ハ、其國內ニ存在スル、他ノ社團ニ對スルモノト異ナルコトナキモノ、第三ハ國家ハ宗教會團ヲ公法上ノ營造物ト看做シ、特別權利ヲ保留シ、是ニ自主權ヲ與ヘ、國家事件ト宗教事件トヲ區別シ、其勢力ヲシテ、政治ノ範域ヲ侵サシメザルモノ、大凡此三種ニ出テ、居リマス、併シ我邦ハ我邦ノ慣例ガアリマシタ、彼ノ長ヲ取リ、我短ヲ捨テ、我長ヲ取リ彼短ヲ捨テ、適當ナリ、日本國家ニ適當ナル法制ヲ設ケナケレバナラヌコトハ、申スマデモナイコトデアル、而シテ政府ハ是ガ方向、如何ナル意見ヲ抱持シテ居ルカ、深ク本員ノ開カントスルトコロデアリマス、是ガ大體ニ付イテ本員ノ政府ニ開カントスルトコロノ意味デアリマス、全體日本ノ國務大臣、日本ノ爲政者、斯クナ人達ハ甚ダ宗教ニ冷淡デアル、然レドモ我國トテ、敢テ昔日ヨリ冷淡デハナカッタノデアル、諸君、往古ノ宰相大臣ハ、日本デモ一タビ政權ヲ握テ、顯要ノ地位ニ登ルトキニハ、一方ニ政務ヲ調理スルト同時ニ、一方ニ於テハ如何ナルコトヲスルカ、或ハ一寺ヲ建立シ、或ハ一僧ヲ海外ニ留學セシムルナド、總テ世道人心ニ裨益アラントコトヲ、只管ニ求メテ居ル、今ノ大臣、今ノ政治家ハ、如何ナルコトヲ致シマスルカ、別荘ノ建立ハ開キマスガ、一寺ノ建立ハ、本員ハ未ダ聞カヌデアル、或ハ僧侶ノ腐敗ヲ云爲スルモノガアリマスガ、如何ニモ僧侶ハ腐敗ハシテ居ルデアラウ、然レドモ宗教部面ノ腐敗ヲ、宗教其者ニ持ツテ往テ負ハセルコトハ出來マセヌ、(「モウ分」タ簡單々々」又「謹聽」ト呼フ者アリ)僧侶其者バカリヲ罪シテ、社會ハ如何ナル是ニ待遇ヲ與ヘテ居ルカト云フコトモ、考ヘナケレバナラヌ、テ歐米諸國ノ政治家モ、日本ノ如ク宗教事件ニ對シテ冷淡ナル大臣、冷淡ナル政治家ハ居ラヌト思ヒマス、我國ノ國務大臣ナルモノハ、文明國ノ國務大臣ニ對シテ、遜色アルヤ如何、勿論信教ハ自由デアルカラ、己レ之ヲ信ズルト信ゼザルトハ自由デアル、然レドモ國民ノ全體ガ、心霊ヲ左右スル程ノ宗教部面ニ向テ、之ヲ閑却シ、之ヲ冷淡ニスルガ如キハ、本員ノ取ラザルコトデアリマス、之ヲ要スルニ政府ハ頗ル親切ノ審議ヲ以テ、宗教行政ニ對スル法案ハ、一日モ之ヲ忽セニセズシテ、願クハ來期ノ帝國議會ニ之ヲ提出スルカ、若シ之ヲ提出シナイト云フコトデアレバ、其理由如何、又後來ノ方針、目下ノ準備、是等ノ事ニ付イテ、十分明確ナルトコロノ答辯ヲ得タイト、本員ハ望ムデアリマス、尙此事情ニ付イテハ、モウ少シ辯明ヲ致シタイコトモアリマスガ、唯今約シテ置キマシタコトモアリマスカラ、先ツ是テ降壇ヲ致

シマス、諸君、十分ニ此邊ノ意味ハ御諒察アラント希望致シマス  
○議長(松田正久君) 神崎東藏君ヨリ皇室ノ訴訟ニ關スル質問演說ノ要求ガアリ  
マスカラ、之ヲ許シマス——神崎東藏君  
(拍手起ル)

(神崎東藏君登壇)

○神崎東藏君(二百二十二番) 諸君、私ハ皇室ノ訴訟ニ關スル件ニ就キマシテ、質問  
書ヲ提出致シテ、置キマシテ、此事柄ハ一昨日來、多少物議ヲ來シテ居ルヤウナコトデ  
ゴザイマシテ、友人問ニハ、或ハ之ヲ止メロト云フコトヲ、勸告シテ下サル親切ナ人モアリマ  
スルシ、又盛ニヤルベシト云ッテ、大ニ勇氣ヲ付ケテ下サル方モ、アルノデゴザイマスガ、私  
ハ之ヲ止メルコトモ出來マセズ、又私ノヤウナ拙劣ナモノハ、盛ニヤルコトモ到底出來  
イノデゴザイマスガ、兎ニ角事頗ル重大ナ事柄デゴザイマスカラシテ、願ハクハ二三十分ノ  
間靜肅ニ(オヤノ)十分ニマカラヌカ、又「謹聽々々」ト呼フ者アリ)御聽キアラント  
希望致シマス、質問ノ一定ノ申立ヲ申シマス、斯ウ云フコトニナルノデゴザイマス、  
「天皇カ絕對ニ司法權行政權ノ上ニ立タセ給フハ我邦固有ノ國體ナリ然レニ近時御  
料局長男爵渡邊千秋ハ司法裁判所ニ對シ皇室ニ關スル事件ノ審判ヲ求メタル事例  
アリ而シテ司法大臣モ亦之ヲ是認スルノ意見ヲ發表シタル間政府ハ皇室ヲ以テ司法  
裁判所ノ裁判權ニ服從スヘキモノトナスカ」是ガ則チ質問ノ本趣旨デゴザイマス、デ順序  
ト致シマシテ此渡邊千秋ナル人ガ——御料局長男爵渡邊千秋ナル人ガ、司法裁判所  
ニ帝室ノ事件ニ付イテ訴訟ヲ起シマシテ、其事例ヲ御話シナケレバナルマイト思ヒマス、事  
柄ノ起リハ、餘リ長イコトデモナイノデゴザイマス、始マリハ明治三十五年ノ頃カラ起  
テ居ルノデゴザイマス、岐阜縣ノ惠那郡付知村ト云フ所ニ、御料ノ山林ト民有ノ山林トガ、  
境ヲ接シテ居ル所ガアツタノデゴザイマス、所ガ此民有ノ山林ヲ所有シテ居リマス人ハ、岐  
阜ニ於ケル熊谷何某ト云フ人デゴザイマシテ、我國ノ生絲業ノタメニ、非常ニ力ヲ盡シ  
タ人デアッタノデゴザイマス、此人ガ其己レノ生絲ノ事業ノタメニ失敗ヲ致シマシテ、其失  
敗ヲ致シマシテ結果トシテ、自分ノ所有シテ居リマス、即チ御料ノ境ヲ接シテ居  
ル、山林ヲ、横濱ノ同伸合資會社ト、神戸ノ日本生絲貿易株式會社ト、此二ツノ會社  
ニ——同伸會社ガ一番、貿易株式會社ガ二番ト、二重ノ抵當ニ入レタノデゴザイマス、  
ソレガ即チ明治三十二年カラ五年マデノコトデゴザイマシテ、以上兩會社ガ、此山林ヲ  
抵當ニ取リマス、際ニハ、明治六年此方立テ、アリマシタトコロノ山林ノ境界木標ヲ  
調査致シマシテ、ソレニ依ッテ山林ノ價值ヲ認メマシテ、而シテ若干ノ金ヲ支出シタト云  
フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、所ガ其際ニ御料局ノ方カラ、其境界ナルモノハ違ウテ居  
ルノデア、間違ッテ居ルノデアト云フコトノ申出ガアリマシタトコロカラ致シテ熊谷何  
某ハ己レガ己レノ所有ニアラザルモノヲ、他人ニ抵當ニ書入ヲシタトナリマシテハ、即チ刑  
法上ノ犯罪ヲ犯シテ居ルコトニナルノデゴザイマス、非常ニ心配ヲ致シマシテ、御料局  
長ニ對シテ——御料局ニ對シテ、境界ノ確定ノ交渉ヲ始メタト云フコトデゴザイマス、而  
シテ此交渉ヲ始メルニ付キマシテハ、日本ノ法曹會ニ於テ最モ信用アル三好退藏君ニ、  
此事件ヲ依頼シタノデゴザイマス、所ガ三好退藏君ガ、我法制ヲ熟ク研究致サレテ見ル  
トコロガ、ドウシテモ此御料局ニ對シテ——御料ニ對シテ人民ガ訴訟ヲスル規定ハ毛頭  
ナイ、訴訟ヲスル規定ガナイノデア、是ハ詰リ請願ノ行動ヲ以テ進ムヨリシヤウガナ  
イト決心致サレテ、即チ諸般ノ證據物ヲ具ヘマシテ、三好退藏君ノ御料局ニ向ッテ、山林  
境界確定ノ交渉ヲ開イタノデゴザイマス、所ガ御料局長ハ詰リ度々ノ交渉ノ結果、三好  
君カラ非常ニ讓歩ヲ致サレマシテ、トテモ爭フ定メルノ途ハナイノデア、御料局ノ法

律顧問デアルトコロノ、法學博士菊池武夫君ト三好退藏君トガ、相立シテ相當ノ話ヲ  
スルニ依ッテ、御料局長ハ之ヲ一々御聽取下ス、若シ菊池ノ言フトコロニ、萬一ニモ理  
御聽取ニナツタナラバ、私ノ請求ヲ却下サレテ宜シイ、若又私ノ言フトコロニ、萬一ニモ理  
窟ガアリト御認メニナツタナラバ、即チ人民ノ願意ヲ御開届ケニナツテ吳レイト云フ、穩カ  
交渉ヲシタノデゴザイマス、所ガ御料局長ハ、一切ノ請願ヲ開届ケ下サイマセズシテ、遂ニ  
三好君ノ請求ハ、悉ク却下サレテシマシタト云フコトニナツタノデゴザイマスガ、而モ三好君  
ノ最後ニ請求シタ、菊池君ト立會ッテ話ヲスルト云フコトノ如キハ、一切採用シテ吳レ  
カッタト云フコトデゴザイマス、ソレガタメニシテ、遂ニ三好君ハ、自分ノ手ニ合フ問題デナイ  
ト云フコト、此事件カラ脱退シタ——退イテシマッタノデゴザイマス、ソレカラ其後ニ、其事  
ト少シモ關係ノナイトコロノ、同伸合資會社、神戸ノ生絲株式會社ガ、己レハ詰リ立派  
ナ抵當債權者デア、御料局長ハ其抵當債權ノ實行ヲ致シマスガタメニ、明治三  
十六年ノ七月ノ中旬、競賣ノ申立ヲ致シタノデゴザイマス、ソレカラ二十七年ノ一月ノ九  
日ニ、競賣開始メ決定ガゴザイマシテ、而シテ其競賣ノ開始ヲ致シマシタニ付キマシテハ、  
競賣ノ順序トシテ、土地ノ評價ヲシナケレバナラヌ、鑑定人ヲ擇ンデ評價ヲ致サナケレバ  
ナラヌ、其評價ヲスルニ付キマシテハ、ヤハリ境界ヲ定メナケレバ、到底評價ヲスル譯ニ往  
ナイ、之ニ依ッテ裁判所ノ官吏ト債權者ト債務者ト立會ハセテ、競賣ノ目的物デア  
ルト云フ境界ヲ定メサセタノデゴザイマス、而シテ競賣ニ著手セント致シマシタトコロガ、其  
年ノ七月二十二日ニ、御料局長ハ原告人ト致シマシテ、此競賣ニ對シテ訴訟ヲ起シ、  
即チ競賣ヲ取消セト云フコトヲ、訴訟ヲ、提起シタト云フコトガ事實デア、御料局長ハ、  
即チ今申上ゲタ通ニ御料局長ハ、岐阜地方裁判所ニ對シマシテ、岐阜地方裁判所ノ判  
決ヲ受ケルベク訴訟ヲ、提起シタノデゴザイマス、而シテ其訴訟ノ提起ハ、如何ナル資格ニ  
依ッテ、提起シタノデア、御料局長ト云フコトヲ、認廷ニ於テ問ヒマス、御料局長ノ代理人ハ、  
是ハ即チ御料局長ガ或代理行為ヲ以テ、訴訟ヲ提起シタノデア、御料局長ト云フ、答辯ヲシテ居  
ルノデゴザイマス、即チ代理行為ヲ以テ、訴訟ヲ起シタト云フコトハ、言換ヘレバ長多クモ  
上御一人ノ代理ヲ訴訟シタト云フコトニ、解釋スルヨリ外ハナイノデア、是ハ即チ今  
現ニ訴訟ノ起シテ居ル事例デゴザイマス、此訴訟ニ對シマシテ、司法大臣ガヤハリ此訴訟  
ヲ起シタノハ差支ガナイ、ヤッテ宜イト云フコトヲ、發表シタリト認ムベキ形跡ガ、十分ニ  
アルノデゴザイマス、其形跡ヲ是カラ申上ゲマスガ、ソレハドウ云フ譯デ、ソレガ分ルカト申  
シマス、先ツ第一ニ此明治三十五年中ニ、人民ノ方カラ山林ノ境界ガ、立派ニ山ニ  
現ハレテ居ルノデゴザイマス、標木モ立ッテ居レバ、文字モ書イテアル、ソレガ段々月日ガ經  
チマス、湮滅シテシマフ虞ガアル、消ヘテシマフ虞ガアリマスカラ、ソレガ消ヘナイヤウニ  
云フコト、證據保全ノ申立ヲ、裁判所ニ致シマシテ、其際裁判所ノ判事ハ、其申立ニ  
出張ヲシタノデゴザイマス、所ガ其時ハ二人ノ人間ニ傷ガ附イタ、一人ハ御料ニアル屬吏  
デゴザイマス、是ハ其臨檢ノ際ニ湮滅シ掛ッテ居ル文字ヲ、鮮明ニ認メテ、斯クノノ文字  
ハ、斯クノノ書イテアルト云フコトヲ、御料局ノ屬官ガ明言シタ、所ガ其上役ガ、貴様ハ  
人民ノ利益ニナル證據云フ必要ハナイノデア、ハナイカト云ッテ、譴責ヲ加ヘテ免職ニナ  
ト云フコトデア、第二ハ此事件ニ關係シテ出張シタトコロノ中山何某ト云フ判事、是ガ  
ソレニ關係シタト思ハル、臨檢ヲ終シテ後、直チニ轉任ニナツテシマッタノデア、即チ司法  
大臣ガ此中山何某ヲ轉任シタノハ、或筋ノ請求ニ依ッテ、中山何某ガ御料局ニ對シテ、  
不利ナル認定ヲシヤシナイカト云フコトヲ、轉任サセタモノデア、ラウト云フコトヲ、斷  
言シテ宜カラウト信ズル、ソレカラ其次ニハ競賣開始ノ決定ガアツタ後ニ、即チ鑑定人ヲ  
立テ、評價ヲシヤウト云フコトニ關係シタ判事ガ、荒卷何某ト云フデア、此判事

ガ山ニ二三日這入ッテ、スガカリ調ベテ、其歸途ニ當事者一相方ト一緒ニ飯ヲ喰フ、一緒ニ酒ヲ飲シ、ナニ田舎ノ事デゴザイマスカラ、宿屋トカ飲食店トカ云ウ所ハ、サウ澤山ノ數ハナカラウト思フガ、三日カ四日モ山ニ這入り苦シクテアルカラ、別レニ臨ミ、今ノヤウナコトヲシタト云フコトデアル、ソレト今一ツハ、此荒卷何某ト云フ人ガ、其村デ其時ニ纏ノ板ヲ買ッテ、火鉢ニスルカ、燗ノ板ヲ買ッテ、ソレハ相當ノ値段ヲ拂ッテ買ウタト云フコトデアル、然ルニ荒卷何某ト云フ人ニ向テ、司法大臣ハ其方ハ判事ニアルマシキコトヲ居ル、當事者ト酒ヲ飲ムト云フハ、何タルコトデアル、其關係ノ村カラ材木ヲ買フト云フハ何タルコトデアル、其方ハ懲戒免職ヲスル、若シ其方ガ辭職願ヲ出セバ格別、サモナケレバ懲戒免職ニスルト云フテ脅シタサウデアル、所ガ荒卷何某ハ之ニ應ジマセヌデ、懲戒免職トアラバ致方ハナイ、受ケマセウケレドモ、私ハ懲戒ヲ受クベキ筋ガナイカラ、ドコデモ事實ヲ表明スルコトデアルト云フ、抗議ヲ申立テタトコロカ、終ニ仲裁カ何カ、這入ッテ、荒卷何某ハ公證人ニナル、公證人ニシテヤルト云フ約束ノ下ニ、辭職ヲ強ヒラレテ、而シテ今日ハ公證人ニシテ居ルト云フコトデアル、是等ノ事實ハ、即チ司法大臣ガ少ナクモ、此事件ガ岐阜地方裁判所ニ起リテ居ルト云フコトヲ、確實ニ知ッテ居ルト云フ事例アリマス其外ニ、岐阜地方裁判所ノ所長ガ、其際ニ上京ヲ命ゼラル、トカ、此所長ガ區裁判所判事ニ、臨檢調書ヲ出サセル命令ヲ下シタトカ云フヤウナ、忍ビザルコトガアリマスガ、要スルニ是等ノ事柄ヲ以テ、司法大臣ガ、御料局長ガ皇室ノ事柄ニ付イテ、地方裁判所ニ訴訟ヲ起シテ宜イト云フコトヲ、是認シテ居ルト云フ事實ヲ認ムル、十分ノ證據デアラウト私ハ信ジマス、加之ナラズ今一ツ言フニ忍ビナイコトガアル、ソレハ此問題ガ起ル後ニ、御料局長ガ地方裁判所ニ訴訟ヲ起シ得ベキモノデアルヤ否ヤト云フ問題ノ起ル後ニ、東京ニ於ケル法曹間問題トナリマシテ、或ハ高木豊三先生ノ意見ヲ仰グトカ、富井政章君ノ意見ヲ仰グト云フコトガ、或一人ノ人ガ、梅謙次郎君ヲ尋ネテ、此人モ法科大學ノ教授デ、随分斯道ニ堪能ナ人デアル、所デ梅先生其人ハ答ヘテ曰ク、是ハモウ極デ居ルコトデアル、御前方ガ幾ラザウツイタトコロカ、司法省ハモウ既ニ解釋ガ極デ居ルコトデアルカラ、ドウデモ動カシヤウガナイ、訴訟ハ大方負ケテラウト云フコトヲ、梅先生ガ明言シテ居ル、是ニ依ッテ見テモ、司法大臣ガ、即チ此御料局長ノ起シタル訴訟ガ適法デアル、合法デアルト云フヤウナ、間違ッタ意見ヲ發表シタト云フ事實ハ、十分デアラウト信ズルコトデアリマス、ケレドモ、諸君、日本ノ現今ノ法律ノ上ニ於キマシテ、如何ニ研究ヲ致シマシテモ、皇室ノ事柄ニ對スル裁判ヲ、地方裁判所デスルト云フ法律ノ規定ハ、私ハ毛頭ナイト確信致スノデアリマス、皇室典範ヲ見マシテモ、裁判所構成法ヲ見マシテモ、皇族ニ對スル訴訟ノ規定ハアル、皇族ト皇族トノ間、皇族ト人民トノ間ノ訴訟ノ規定ハ、ゴザイマスガ、而モ皇族ト人民トノ訴訟ハ、東京控訴院ニ於テ之ヲ審判スルト云フ鄭重ノ規定ガ、皇室典範ニ設ケテゴザイマス、併ナガラ、皇室ニ對スル規定ト云フモノハ、毛頭ナイトゴザイマスカラ、即チ我皇室ニ係リマストコロノ事件ヲ審判スベキ機關ト云フモノハ、今ノ日本ニ備ッテ居ラナイデゴザイマス、即チ備ッテ居ラナイガ、日本國體ニ適合シテ居ル状態デアラウト、私ハ信ズルコトデアリマス、假リニ御料局長ガナシガ如ク、司法裁判所ニ向テ原告トシテ、人民ヲ訴ヘルコトガ出來ルト致シマスレバ、其裏ニ被告トナシテ訴訟ヲ受ケナケレバナラヌト云フ結果ガ生ジマス、岐阜地方裁判所デ審判ヲ受ケルコトガ出來マスレバ、沖繩地方裁判所デモ審判ヲ受ケナケレバナラヌト云フ結果ガ生ジマス、實ニドウモ畏レ多イ話デ、私ガ申上ゲルコトマデモ、私ハ實ニ畏多クテ堪ラナイ問題デアラウト信ジテ居ル、併ナガラ、御料局長ガ敢テ憚カラズ、此事ヲ

進行シテ往クコトハ、今日ノ事實デアル、或ハ御料局長ノ怪腕ト司法大臣ノ與ヘタル援助ノタメニ、現ニ岐阜地方裁判所ニ起リテ居ル事件ハ、御料局長ノ思召通ニ、勝訴ノ判決ヲ與ヘラル、カ知リマセヌガ、此事柄ガ日本ノ司法裁判所ノ判例ト云フコトニ極マナラバ、今日マデ御料局長ニ對シテハ、畏多イト云フ一點、法律ノ規定ノナイト云フ一點カラ、堪ヘニ堪ヘ、忍ビナイコトデアル、私ハ御料局長ニ對シテ、全國到ル處蜂起スルト云フコトヲ、恐レルコトデゴザイマス、ソレノミナラズ、聞ク所ニ依リマス、某外國人ハ此事件ニ注目シテ、此事件ニ於テ御料局長ガ訴訟資格アリト云フコトガ確定シタナラバ、直チニ東京地方裁判所ニ於テ、御料局長ニ對シ、損害賠償ノ訴ヲ起サウト云フ準備シテ居ル事實モ、現ニ東京ノ中ニアルコトデゴザイマス、斯ノ如キ事態ニナリマシテハ、實ニドウモ何ト申上ゲテ宜シウゴザイマセウカ、私ハソレカラ先ツ云フコトモモ持タナイノデゴザイマス、又御料局長、皇室財産ガ、此司法裁判所ノ判決ヲ受ケテ、差支ナイト云フコトガ極マリマスレバ、特定ノ規定ナキ限ハ、ヤハリ人民同様一般ノ法律ノ支配ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトガ、生ジテ來ルカモ知レヌト思フ、サウ致シマスルト、御料局長ニ對シ、御料ノ所有財産ニ對シテ、租稅ヲ賦課シナケレバナラヌト云フコトモ、出テ來ルコトデゴザイマセウ、イロノノ面倒ナ問題ガ出テ來ルニ相違ナイノデゴザイマス、要スルニ或種類ノ法律ヲ作リマシテ、之ヲ確定シテ置キマシタナラバ格別、サモナイ限ト云フモノハ、今日日本ノ國體ニ於テ、皇室ガ民事裁判所ノ支配ヲ受クベキモノデナイ、審判ヲ受クベキモノデナイト云フコトヲ、私ハ斷言シテ憚ラナイノデゴザイマス、或ハ斯ク云フコトヲ言フ人ガアル、畏レ多イ話デゴザイマスガ、皇室モ御料ヲ持ッテ居ル以上ハ、是ハ即チ財産ノ所有者デアラカラ、其財産權ヲ侵サレタ場合ニ、訴訟ヲスルノハ、差支ハナイデハナイカト云フコトヲ言フ人ガアル、ケレドモ苟モ御料ヲ侵スルト云フヤウナモノガアリマシタナラバ、ソレハ非常ニ不心得ナ、非常ニ不逞ナ、人ミデゴザイマスカラ、民事訴訟ヲ以テセズシテモ、他ノ諸般ノ法律ヲ以テ、之ヲ恢復スルト云フ道ハ、私ハ十分存シテ居ルト思フノデゴザイマス、例ハバ今現ニ岐阜ニ起リテ居ル案件ノ如キニ致シマシテモ、人民ガ不法ノ書類偽造ノ證書等ヲ以テ、己レノ利益ヲ主張シ、之ヲ以テ競賣ト云フヤウナコトヲ致スノデアッタナラバ、則チ之ハ詐欺取財ノ未遂デアルト云フコトヲ、其方デ以テ十分ノ審判ガ出來ヤウト思フノデゴザイマス、此道ヲ探ラズシテ、自カラ甘シテ、皇室ノ尊嚴ヲ下サユウナコトヲ致シタトコロノ御料局長ノ所爲ハ、斷シテ免スベカラズ、之ヲ是認シテ居ルトコロノ司法大臣ノ御了簡ハ、頗ル了解ニ苦シムノデゴザイマス、今ノ最後ノ例ニ於テ、御料局長ガ若シ不幸ニシテ原告デ、訴訟ヲ起シテ、敗訴ノ判決ヲ受ケタトキ一ツ豫想シテ見タイト思フ、原告ニナシテ訴訟ヲ起シテ、敗訴ノ判決ヲ受ケレバ、民事訴訟法ノ規定ニ依ッテ、訴訟入費ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトガ生ジマス、而シテ見マスルト、其被告ノ一許シテ受ケタトコロノ被告ハ、皇室ニ對シテ、強制執行ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ、實ニドウモ非常ニ變體ガ生ズル譯デゴザイマス、右ノ如キ筋デゴザイマスカラ、私ハ此問題ヲ提出シテ、政府ノ答案ヲ求メタ次第デゴザイマス、尙私ノ申上ゲ足リヌトコロハ、イッレ明日カ明後日活下サイマシテ、私ノ心裡ニ御同情ヲ寄セラレントラ、偏ニ希望致シマス

(拍手起ル)

○議長(松田正久君) 此場合ニ諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、擔保附社債信託法案ノ委員會ヲ開キタイト云フ請求ガアリマスカラ、退席ヲ開屆ケテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 然ラバ之ヲ許シマス、尙會計法中改正法律案ノ委員會ヲ開

キタイト云フ請求ガアリマス、之モ許シテ御異議アリマセヌカ  
 (「異議ナシ」ト呼フ者アリ)  
 ○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ、許スコトニ致シマス、是ヨリ議事日程ニ付イテ  
 會議ヲ開キマス、議事日程第一、登録稅法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、朝  
 讀ハ省略シマス、若槻政府委員

第一 登録稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

登録稅法中左ノ通改正ス

第三條ノ二 鐵道抵當原簿ニ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ

納ムヘシ

- 一 抵當權ノ取得 債權金額 千分ノ一
- 二 強制競買、強制管理ノ申立 債權金額 千分ノ一
- 三 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二圓

第三條ノ三 工場財團登記簿ニ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅

ヲ納ムヘシ

- 一 抵當權ノ取得 債權金額 千分ノ一
- 二 強制競買、強制管理ノ申立 債權金額 千分ノ一
- 三 假差押、假處分 債權金額 千分ノ一
- 四 登記ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二圓

第三條ノ四 礦業財團登記簿ニ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅

ヲ納ムヘシ

- 一 抵當權ノ取得 債權金額 千分ノ一
- 二 強制競買、強制管理ノ申立 債權金額 千分ノ一
- 三 假差押、假處分 債權金額 千分ノ一
- 四 登記ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二圓

第十二條ノ二 實用新案ニ關シ登録ヲ受クル者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ

納ムヘシ

- 一 讓渡又ハ共有 每一件 金五圓
- 二 實施ノ許諾又ハ質入 每一件 金二圓

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員若槻禮次郎君 當議會ヲ通過致シマシテ、法律トナッテ發布ニナリマシタ、  
 實用新案法ト云フモノ、制定セラレマシタコトニ就キマシテ、又唯今當院ニ於テ御審  
 議中デアリマスニコロ、鐵道抵當法、工場抵當法、礦業抵當法ト云フモノガ、今ヤ將  
 ニ法律トナッテ制定セラレカケテ居リマスニ付イテハ、是等ノ法規ノ中ニ規定シテゴザイマ  
 ス、登録ノ場合ニ於テハ、登録稅ヲ取リマスコトハ、相當アルトシテ、本案ヲ提出致シタ  
 ノデゴザイマス、ドウカ御審議ノ上ニ、御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス  
 ○議長(松田正久君) 發言ノ請求者ナケレバ、日程第二、右議案ノ審查ヲ付託ス  
 ヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 九名ノ委員、指名ヲ願ヒマス  
 ○議長(松田正久君) 本案ハ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルノ、恆松君ノ動議  
 ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)  
 ○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ、其通決定ヲ致シマス、議事日程第三、外國裁  
 判所囑託ニ因ル共助法案ノ第一讀會ヲ繼續シ、委員長ヨリ報告ヲ致シマス——磯部  
 四郎君

第三 外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法案

第一讀會ノ續(委員長)

(政府提出)

(磯部四郎君登壇)

○磯部四郎君(百八十三番) 本案ニ付キマシテ、委員會ノ經過ヲ報告致シマス、委  
 員會ニ於キマシテハ、詰リ原案ハ國際上必要ナモノデアルト、大體ニ於テ認メマシタ、且  
 二三ノ點ハ政府委員ニ質問致シマシタニコロ、相當ナル明答ヲ得マシタ、總テ全會一  
 致ヲ以テ、原案ノ通可決致シマシテゴザイマス、別段ニ詳細ナコトヲ報告スル必要モナ  
 カラウト考ヘマス、ドウカ直チニ御可決アラント願ヒマス  
 ○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ適當ナ案デアゴザイマスデ、ドウカ讀會ヲ省略シ  
 テ、確定アラント望ミマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 讀會省略ノ動議ニ、贊成者ガアリマスカ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 定規ノ贊成者アリト認メマス、讀會ヲ省略シテ討議ニ付スル  
 ト云フ動議ニ、異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ讀會ヲ省略シテ全部ヲ討議ニ付シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 委員長ノ報告通御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ讀會ヲ省略シテ全部ヲ討議ニ付シマス

外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法案

確定讀

(委員長報告通御異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 委員長ノ報告通御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ委員長ノ報告通確定採用サレマス、議事日  
 程第四、國稅徵收法中改正法律案ノ第一讀會ヲ繼續シ、委員長ヨリ報告致シマ  
 ス——古井由之君

第四 國稅徵收法中改正法律案(政府提

出)

第一讀會ノ續(委員長)

(古井由之君登壇)

○古井由之君(百二十番) 本案ニ對シテ委員會ノ經過ヲ結果ヲ御報告致シマスル  
 ガ、此國稅徵收法ノ原案ハ、委員會デハ、全會一致ヲ以テ、政府案ノ通決定致シマシタ  
 デゴザイマス、此案ハ、債權及所有權以外ノ財產權ヲ差押ヘルコトガ、今日マデノ徵收法  
 ニナカッタノデアゴザイマス、其規定ヲ設ケルノト、ウレカラ帝國内ニ住所居所ヲ持ッテ居ラヌ  
 者ニ、書類ヲ送達スル等ノ手續ノナカッタノヲ、此二點ヲ加ヘルタメニ、二十三條ノ二ニ  
 「區分」ト云フ文字ヲ更ニ加ヘタト云フヤウナコトデ、委員會ニ於テハ原案通決シマシタ  
 デゴザイマスカラ、此段御報告致シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 讀會省略ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案モ讀會省略シテ、確定アラント望ミマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 讀會省略ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 讀會省略ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 讀會省略ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 讀會省略ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ議會ヲ省略シテ、全部ヲ議題ニ供シマス

國稅徵收法中改正法律案

確定議

○議長(松田正久君) 委員長ノ報告通御異議ハアリマセヌカ

〔委員長報告通〕下呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ 委員長ノ報告通確定採用サレマス 議事日程第五 日本勸業銀行法中改正法律案ノ第一讀會ヲ繼續シ、委員長ヨリ報告ヲ致シマス 齋藤長輔君

第五 日本勸業銀行法中改正法律案(政 第一讀會ノ續(委員長 府提出貴族院送付)

〔齋藤長輔君登壇〕

○齋藤長輔君(二百四十九番) 委員會ノ經過ヲ報告致シマス、本案ハ委員會ニ於キマシテ、條件附テ以テ原案ノ通可決致シマシテゴザイマス、其條件ト云フモノハ、ドウ云フコトカラ、條件附ケタカト云ヒマスレバ、イロノ、政府ニ質問モ致シマシテ、殊ニ此第三十六條ノ第二項ヲ通過致シマスニ付イテハ、種々ノ疑モアルノデゴザイマシテ、詰リ其疑ヲ解イテ話シテ見マスルト云フト、非常ナ勸業銀行ニ利益ガ出ムノデアツテ、其利益ト伴ウテ、貸付ノ利益ヲ低減スルノ目的デアルト云フノ説明ガゴザイマシタノデ、ソレカラ又貸付ノ是マデノ遺方ヲ見マスルト云フト、公共團體ニ對シテハ、甚ダ鈍テ居ル、個人の的ニ對シテハ、ズンノ、貸付ケテ居ルト云フヤウナ傾キデアル、ソレガドウシタモノデアラウカト云フコトヲ問ウテ見マスルト、遠ク佛蘭西ノ勸業銀行ノ法ヲ調ベテ見ルト云フト、三世那翁ノ時代ニ、派手ニ公共團體ニ貸付ケテアル、誠ニ其派手ニ貸付ケテ、頻リニ公共團體ヲ獎勵シテ貸付ケテ、事業ヲ獎勵シテアル、其結果ト云フモノハ、誠ニ不長ノ結果ヲ得マシテ、或ハ後トテ後悔ヲ致シテ今日ニナツテ見テモ、其弊ト云フモノハ多ク遺ッテ居ルコトデアル、ソレドウトツ我邦デハサウ云フ轍ヲ履マナイ、先以テ個人的ノモノニ貸シテ、著々ト進ンデ、サウシテ基礎ガ鞏クナツタ儘ニ、公共團體ニ貸ス方ガ宜カラウ、斯ウ云フ方針ヲ採リ居ル、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居リマス、ソレカラモウ一ツハ、段々質問ノ上ニ貸金ヲ願出マス、鑑定料ト其實地調査料ト云フモノガ、澤山ニ要ル、ソレガ誠ニ其高イモノデアル、又聞クトコロニ依レバ、地方銀行ニ鑑定調査等ヲ頼ンデモ、ソレデモ東京ノ往復ノ旅費ナドヲ取ルト云フヤウナ傾キモアル、サウ云フヤウナコトデハ、甚ダ面白クナイコトデアラウカラ、成ルベク鑑定料ト旅費ト云フモノヲ、今後ハ廢ク致シタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フコトヲ一ツ話ガアツタノデゴザイマス、ソレカラ貸付ノ願出マスルト云フト、一年モ二年モ其確答ヲ致サヌデ、サウシテ貸ストモ言ハズ、貸サヌトモ言ハズ、地方カラ來タ運動者ト云フモノハ、旅費ヲ使ッテ旅籠飯ヲ食ッテ、實ニ困ッテ居ル譯デアル、詰リソレカラ難義ノ末ニ、或ハドウカ斯ウカ御馳走略ヲ執ルトカ、何トカ云フヤウナコトヲ致シテ、サウシテ機嫌ヲ直シテ、漸ク金ヲ借りテ歸ルト云フヤウナ噂モアルコトデアル、ソレカラ段々調ベマシテ、サウ云フコトヲ矯正スルハ、此際ノコトデアラウ、若シ茲ニ掲ゲテアル、今讀ミマスガ、此條件ヲ容レテ與レナケレバ、否決スルヨリ外ナカラウト云フコトガ、委員會ノ協議ニ上リマシテ、ソレヲ向フニ申入レマシタノデゴザイマス、其條項ハ第一ニ「務メテ金利ヲ低減スルコト」一、鑑定料旅費等ヲ低減スルコト」一、貸付ノ調査ヲ敏活ニシテ速ニ其諾ヲ表明スルコト」一、個人及公共團體共成ヘク均等ニ其便利ニ浴セシムルコト」一此等ヲ入レテ與レラバ贊成シヤウト云フコトヲ申入レタノデアル、所ガ歡ニテ政府ハ之ヲ容レタノデゴザイマス、其中ニハ面白ク言葉モアリマシタケレドモ、ソレハ言ヒマセヌ

ガ、先ッ大體ソコデ快ク承知シテ與レマシテゴザイマスカラ、此所マデ警メテ置イタナラバ、將來心配モアリマスマイト云フ考カラ、原案ヲ贊成致シタ理由デゴザイマス、御報告ヲ致シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ委員會ニ於テ注意モ與ヘラレタヤウナ問題デモゴザイマスカラ、ドウカ議會ヲ省略シテ可決アラフコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 議會省略ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕下呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、議會ヲ省略シマス、而シテ本案ノ全部ヲ討論ニ附シマス

日本勸業銀行法中改正法律案 確定議

〔異議ナシ異議ナシ〕下呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 委員長ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕下呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、委員會長ノ報告通決定ヲ致シマス 外國ニ於ケル銀行事業ニ關スル法律案ノ委員會ヲ開キタイト云フ、原敬君ヨリノ請求ガアリマス、許シテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕下呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 然ラバ許スコトニ致シマス 議事日程第六、工場抵當法案ノ第一讀會ヲ繼續シ、委員長ヨリ報告ヲ致シマス 又議事日程第七、鑛業抵當法案モ同一委員ニ付託サレタアリマスカラ、併セテ報告スルコトニ致シマス 波多野傳二郎君

第六 工場抵當法案(政府提出貴族院送 第一讀會ノ續(委員長 付)

第七 鑛業抵當法案(政府提出貴族院送 第一讀會ノ續(委員長 付)

○波多野傳二郎君(二百二十四番) 是ヨリ御報告致シマス、工場抵當法案、鑛業抵當法案ノ二ツハ、同一委員ニ付託セラレマシテ、工場抵當法案ハ、五十條、外ニ附則、鑛業抵當法案ハ、十一條、外ニ附則、隨分條項モ多ク、其影響スルコトコロハ、重大ナル議案デアリマス、併ナガラ審査ハ極メテ簡單ニシテ、約一時間前後ニシテ終リマシタ、ソレハナゼ左様ナル簡單ナルコトテ終シタカト申シマス、貴族院ニ於キマシテ、工場抵當法案ニ付イテハ、十四、十五、十六、十七、四日間、或ハ質問、或ハ討論ヲセラレ、鑛業抵當法案ニ付イテハ、十七、十八ノ兩日、或ハ質問、或ハ討論ヲセラレ、其速記ハ諸君ノ御手許ニ廻リ居リマシテ、十分盡キテ居リマスルガ故ニ、當衆議院ニ於テ、而モ會期ノ切迫セル際ニ、周密ナル質問、若クハ討論ヲスルヲ要セヌト考ヘマシテ、極メテ簡單ニ審査ヲ致シマシタガ、ソレニ付キマシテ、委員會ニ起リマシタル議論ノ一部分ヲ、諸君ニ御參考ニ供シ置キマスルガ、如何ナル議論ガアツタカト申シマスルト云フト、政府ハ豫算即チ政府財政ニ關聯スルモノハ、非常特別稅法ノ改正案ト云ヒ、鑛業法案ト云ヒ、當會期ノ始メニ提出シナガラ、政府財政ノ根元タル人民ノ經濟ニ、最モ影響ノ多イ當工場抵當法案ノ如キ、鑛業抵當法案ノ如キヲ、會期ヲ過グルコトニ箇月ノ後、一月ノ二十八日ニ至ッテ、始メテ出サレタル如キハ、如何ニモ親切ナル處置ト云フコトハ出來ス、否ナ寧ロ反對ニ政府ハ怠慢ノ仕方デアルト云フ議論ハ、起ッタノデアリマス、併ナガラ



第八 府縣制中改正法律案(植場平君外 第一讀會ノ續(委員長 一名提出))

第九 府縣制中改正法律案(小河源一君 第一讀會ノ續(委員長 一名提出))

(尾形兵太郎君登壇)

○尾形兵太郎君(百九十七番) 府縣制中改正法律案外一件ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマスルガ、是ハ唯今議院ヨリ御報告ガゴザイマシタ通ニ、同法案ゴザイマスルガ故ニ、二案共ニ綜合ラ致シマシテ、一括トシテ今日諸君ノ御手許ニ御報告ラ致シテゴザイマスル、大體ハ修正可決ヲ致シマシタノデゴザイマスル、而シテ本件ハ隨分條目ハ多ウゴザイマスルケレドモ、其骨ネトナル箇條ハ二箇條バカリ、其三箇條ヲ改正スル結果トシテ、數多ノ條目ガ自カラ出來ル譯ナンデゴザイマスル故ニ、其重モナル三箇條ニ付イテ、委員會ノ結果及可決ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマスル、其先ツ第一ハ現行法ノ第五條ノ第一項ニ改正ラ致シマシタ、是ハ要スルニ、現行法ハ人口七十萬未滿ハ、議員三十八人ヲ以テ定員トスル、府縣制ノ規定、之ヲ改メマシテ人口五十萬未滿ハ、議員三十五人ヲ以テ定員トスル、斯ウ云フノヲ、即チ七十萬未滿ハ五十八、五十萬未滿ハ三十五人ト云フコトニ改正ラシヤウト云フコトガ主眼デゴザイマス、ソレカラモウ一ツ重モナル箇條ハ、第二項ト致シマシテ、町ハ人口一萬以上ノモノニ限リ、獨立シテ一人ノ府縣會議議員ノ選舉權ヲ有セシメ、此一萬以上ノ町ヲ獨立サセテ、而シテ一人ノ府縣會議議員ヲ選舉セシムルト云フコトハ、所謂選舉權ノ擴張、是ガ第一、ソレカラ第三ハ、現行法ノ第六條ノ改正ラ致シマシマス、現行法ノ第六條ハ、選舉權者ト被選舉權者トノ納稅額ニ於キマシテ、選舉權者ハ地租若クハ直接國稅三圓以上トアリ、被選舉權者ハ十圓以上トアル、此差別ヲナサズニ選被選舉權者トモニ三圓以上ト云フコトニ改メタイト云フノガ第三箇條デゴザイマス、此三箇條ガ本件ノ骨子トナル改革ノ主眼デゴザイマス、之ニ付キマシテ委員會ニ於キマシテハ、此五十萬未滿ハ議員三十五人ト云フコトニスルト云フ改正案ノ條項ハ、三名ニ對シマスル五名ノ多數ヲ以テ可決致シマシタノデゴザイマス、而シテ其理由ヲ簡單ニ御話致シマスルガ、要スルニ現行法ハ、少數ニ失スト云フコトニ止マルノデゴザイマス、其理由ハ四箇條程ニナッテ居ル、一例ヲ舉ゲマスルト、東京ノ市會ハ六十八ノ定員アルニモ拘ハラズ、府會ハ五十五アル、又大阪ハ市會ガ同ジク六十八アルニモ拘ハラズ、府會ノ方ノ議員數ハ四十二名アル、京都ハ四十二名ノ市會議員、府會議員ハ三十五名アル、而シテ又御承知ノ通、府縣會ハ市部會、郡部會ニ分ツテ、郡市ノ各行政ニ關スルコトヲ議スルコトニテ居リマス、所ガ現今ノ數ニ依リマスト、先ツ東京ノ如キハ十五人ガ郡部會議員アル、而シテ其半數ハ八人デ、五名ガ過半數トナリ、全郡ニ涉ラタ利害問題ガ、僅ニ五名ノ議員ニ左右セラレト云フ結果ニナルノデアリマス、獨リ東京ノミナラス、京都、愛知、神奈川、兵庫、廣島、是等ハ皆郡部議員ハ十二名ニナッテ居リマス、サウスルトソレハ六名出ルト、半數デアル、四名ニ決スレバ、之デ以テ郡ノ行政ガ可決サレト云フニナル、斯様ナル、僅ニ三名若クハ四名ト云フ議員ノ頭數ヲ以テマシテ、苟モ全郡ニ涉リマスルコトコロノ行政ノ利害ヲ決スルト云フコトニナリマス、甚シキ弊害ガアルト考ヘルノデアル、ソレカラ又他ノ議事機關ニ較ベマシテモ、下級ナル郡部會デモ、即チ二十名ノ議員ヲ有シテ居ルノデゴザイマス、是等ノ下級議會ノ員數ト、甚ク府縣會ノ議員數トハ、權衡ヲ失スト云フノガ第二ノ理由、又第三ノ理由ト致シマシテハ、御承知ノ通既ニ憲政施行以後十五年ノ年限モ經テマスル故ニ、中央政治ト地方政治トヲ問ハズ、成ルベク國民ヲシテ政治ニ干與セシメ、選舉權ニ參與

セシメテ、此帝國臣民ガ政治ヲ重シシ、政治ヲ運用スルコトノ權利ヨリハ、寧ロ責任デアルト云フコトヲ、沿テ知ラシメ、政治思想ヲ煥發スル上ニ於テモ、亦此擴張スルノガ必要デアルト云フノガ第三ノ理由デアリマス、是デ先ツ第五條ノコトハ止メテ置キマシテ、次ハ一萬以上ノ町ノ方デス(「簡單々々」ト呼ブ者アリ) 是ハ一應趣意ヲ申述ベナケレバナラス、此提出ノ理由、即チ贊成シタル理由ハ、今日ノ府縣制ニ於テ、市ヲ獨立セシメタト云フコトハ、商工業者ノ意思ヲ代表セシムルト云フコトノ本旨デアアル、所ガ唯今ノ制度デハ未ダ其本旨ガ甚ク徹底ラセヌ、甚ダ不十分デアル、何故ナレバ總數ニ依リマスト云フト農業者ノ代表者ニ對シ、商工業者ノ代表者ハ十分ノ二ニ足ラヌノデゴザイマス、ソレ故ニ人口一萬以上ノ町ヲ獨立サセテ、一人ノ議員ヲ出シ、而シテ商工業者ノ意思ノ代表者ヲ多少增加サセヤウト云フノデアリマス、斯ウ致シマシタカラト云フデ、農業者ヲ代表スルハノ三分ノ一ニモナラナイノデアル、ソレカラ此第三ノ簡單ニ、皆權衡ヲ成テアラウト思フガ、是ハ被選舉權者ノ十圓ノ、納稅額ヲ選舉權者ト同様ニ二圓ニ改メタイト云フノデアアル、而シテ衆議院議員、市會議員ニ於テモ、被選舉權者ニ、特ニ選舉權者ヨリ多クノ納稅額ヲ要スルトノ規定ナラザルニ獨リ府縣會ノミズ、如キ資格ヲ要スルト云フ理由ガナイ、先ツ三箇條ハ其通アラシメ、ソレカラ(「モウヨセ」)「簡單々々」ト呼ブ者アリ) 之ニ付イテハモウ一應速ベテ置カケレバナラス、第四ニ現行法ノ五十條ノ改正デアアル、是ハ臨時會ニ於キマシテハ、豫告シタ事件ノ外ニ、縣知事ハ勝手ニ案ヲ出スコトガ出來ルト云フコトニナッテ居ルガ、之ニ但書ヲ加ヘテ、其開期中緊急ヲ要スルトキハ、獨リ縣知事ノミナラス、即チ議員ヨリモ提出スルコトガ出來ルト云フ、但書ヲ加ヘヤウ、以上ノ次第デゴザイマスガ、之ニ付イテ政府ノ意見ハ、別段ニ理由ハナイノデアアル、唯現行ノ法律ヲ改正スルニハ、著シキ弊害ヲ認メ限ハ、先ツ現狀ノ儘テ宜シイカラ、此案ニハ反對ヲスルト云フニ過ギヌノデ、反對ヲサレタ點ハ著シキ理由ハナイ、免三角保守主義デ、此案ニ反對サレタルニ過ギヌノデゴザイマス、以上ノ次第デゴザイマスカラ、豫テ御報告ラ致シタ通ニ委員會ノ結果ニ御贊成ヲ願ヒタイ

(政府委員吉原三郎君登壇)

○政府委員(吉原三郎君) 本案ニ付キマシテ、意見ヲ申上ゲマスルガ、各條項ニ付イテ皆理由ガアリマスルケレドモ、委員會ニ於テ詳シク申上ゲテ置キマシタノデ、此際喋々多辯ヲ要シマセト考ヘマスル、デ唯反對ノ意思ガケラ申述ベテ置キマス

(採決々々ト呼ブ者アリ)

○恆松隆慶君(百五十九番) 是ハ二讀會ヲ開クベカラズト決セラレントラ望ミマス

(採決致シマス)

○議長(松田正久君) 採決致シマス、先ニ宣告ラ致シマシタ通此兩案ヲ一括シテアリマスカラ、本案ト言フデモ、ヤハリ兩案ト御承知ヲ願ヒタイ、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ望ミマス

起立者

○議長(松田正久君) 少數デアリマスルニ依ッテ、本案ハ第二讀會ヲ開カザルコトニ決シマス、議事日程第十、郡制廢止法律案ハ、提出者尾見濱五郎君ヨリ議事ノ延期ヲ請求セラレマシタカラ、議事ヲ延期シテ御異議アリマセウカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ延期ヲ許シマス、議事日程第十一、郡市町村會議議員ノ選舉ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ繼續シ委員長ヨリ報告ラ致シマス

榎本次郎右衛門君

○榎本次郎右衛門君(二百二十五番) 簡單ヲ報告デアリマスカラ、議席ヲ述ベマス、

第十一 郡市町村會議議員ノ選舉ニ關スル法律案

第一讀會ノ續 (橫田虎彦君外一名提出)

該法案ハ提出者横田君ノ原案ニ付キマシテ、審議ヲ致シマシタ、然ル所委員ノ一人富島君ヨリ修正案ヲ提出セラレマシタ、修正案ニ付キマシテ、尙討議ヲ致シマシタ、其結果政府委員ニ、政府ノ意向ヲ質問致シマシタ、然ルニ政府ニ於テハ、該案ニ於ケル不備ノ點アルヲ認メテ居リマスカラ、此修正案ニ同意ト申スコトデアリマシタ、ソレバ委員會ハ一人ノ反對ナク可決致シマシタ、終リニ臨シテ、修正案ヲ通過スルヲ期シマシタ、郡市町村會其ノ他勅令ヲ以テ指定スル議會ノ議員選舉ニ付テハ、衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス、明治二十二年法律第三十九號市町村會議員選舉罰則及明治三十二年法律第九十號ハ之ヲ廢止ス

○議長(松田正久君) 横田虎彦君

(横田虎彦君登壇)

(賛成演説スベカラズ)「委員長報告通」ト呼フ者アリ

○横田虎彦君(二百七十四番) 本案委員付託ノ前ニ、提出ノ理ヲ簡單ニ申上ケル積デアリマシタガ、其事ナクシテ委員ニ付託セラレマシタ、(「無用ヲヤ」ト否決スルツ)「ヤルベシ」ト「賛成演説ハヨシ給ヘ」ト呼フモノアリ、提出ノ理由ヲ述ベズシテ、委員ニ付託セラレタノデアリマスカラ、簡單ニ述ベマス、(「必要ナシ」)會議録ヲ分テ居ルト呼フモノアリ、今日選舉ノ有様ニ於キマシテハ、最モ市町村ナドノ選舉ノ競争ノ有様ニ於テ、弊害ガ多ク、凡ソ衆議院議員ノ選舉ニ付キマシテモ、要スルニ市町村會議員ノ選舉、寧ロ其根本トモ言フベキモノデアルト思ヒマスカラ、之ト同一ナル罰則ヲ準用スルト云フコトガ適當ト信ジマシテ、提出シタノデアリマス、幸ヒ修正通可決致シマシタカラ、御賛同ヲ願ヒマス

○議長(松田正久君) 發議者ナケレバ、本案ニ付イテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ニ付イテ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ望ミマス

起立者 多數

(多數)或ハ「少數」ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 多數デアリマス、第二讀會ヲ開クベシト決シマシタ、靜肅ヲ望ミマス、議事日程第十二、所得稅免除ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ繼續シテ委員長ヨリ報告ヲ致シマス——漆昌巖君

第十二 所得稅免除ニ關スル法律案(大畑 第一讀會ノ續(委員長報告))

(漆昌巖君登壇)

○漆昌巖君(百三十三番) 所得稅免除ニ關スル法律案ノ委員會ノ報告ヲ致シマス、本案ハ委員會ニ於テ可決致シマシテゴザイマス、政府モ之ニ同意セラレマシタ、此段委員會ノ結果ヲ御報告致シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 發議者ナケレバ本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ニ付イテ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ、第二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 第二讀會ヲ直チニ開ク恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ直チニ第二讀會ヲ開キ本案ノ全部ヲ議題ニ供シマス

所得稅免除ニ關スル法律案

第一讀會

第二讀會

第十三 渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案(武藤金吉君 第一讀會ノ續(委員長報告))

(石塚重平君登壇)

○石塚重平君(二百七十番) 御委託ヲ受ケマシタ渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案デアリマス、極ク之ハ簡單ナコトデアリマシテ、法律第十六號租稅處分ニ對シマシテ、即チ田畑ノミガ此租稅處分ノ恩典ニ浴シテ、宅地其他山林原野沼池等ノモノガ、之ニ加ハテ居ラス、之ヲ加ヘタイト云フ修正案ニ過ギナイデアリマス、政府ハ之ニ對シテハサウ云フ必要ヲ認メナイト云フ話デアリマシタガ、委員會ノ結果ニ於テハヤハリ前者ノ是マデノ案ニ依テ見ルト云フト、ヤハリ住居地ノ以外ニ作物等ヲ作ルトコロノモノガ多クデアリマスカラ、ヤハリ此宅地其他ノモノモ、此恩典ニ浴スルガ相當デアラウト云フノデ、委員會ニ於テハ、一名ノ反對論者ガアリマシテ、五名ノ大多數デ委員會ハ通過致シタノデアリマスカラ、幸ニ本院ニ於テ御採用ニナリマスレバ委員會ノ面目デアリマス、此段ヲ報告致シマス

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 鑛毒地方ノ處分ニ付キマシテハ、鑛毒調査會ト云フモノヲ開キマシテ、其意見ニ依テ、政府ハ總テ施設ヲシテ居ルノデアリマス、所デ此租稅ノ處分ニ付キマシテハ、鑛毒調査會ハ山林宅地ノ如キモノハ、地價修正マデシテ、之ヲ直サンケレバナラヌト云フ程ノ鑛毒ハナイト、斯ウ云フコトヲ云テ居リマスカラ、此法律ノ制定セラレルトハ其必要ハナイト認メマス、因ツテ否決セラレンコトヲ望ミマス

(ヒヤ)ト呼フ者アリ

○武藤金吉君(九十一番) 議長 議長

○議長(松田正久君) 武藤金吉君

○武藤金吉君(九十一番) 私ハ演壇ニ登リマセヌ、テ今ノ政府委員ノ答辯ハ駁スルノ直打ガナイ、直チニ讀會ヲ省略シテ、委員長報告通可決アランコトヲ、某氏ニ代ツテ希望致シマス

○議長(松田正久君) 讀會省略ノ動議ニ賛成ガアリマスカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ直チニ第二讀會ヲ開キマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

所得稅免除ニ關スル法律案

第一讀會

第二讀會

第三讀會

第四讀會

第五讀會

第六讀會

第七讀會

第八讀會

第九讀會

第十讀會

第十一讀會

第十二讀會

第十三讀會

第十四讀會

第十五讀會

第十六讀會

第十七讀會

第十八讀會

第十九讀會

第二十讀會

第二十一讀會

第二十二讀會

第二十三讀會

第二十四讀會

第二十五讀會

第二十六讀會

第二十七讀會

第二十八讀會

第二十九讀會

第三十讀會

第三十一讀會

第三十二讀會

第三十三讀會

第三十四讀會

第三十五讀會

第三十六讀會

第三十七讀會

第三十八讀會

第三十九讀會

第四十讀會

第四十一讀會

第四十二讀會

第四十三讀會

第四十四讀會

第四十五讀會

第四十六讀會

第四十七讀會

第四十八讀會

第四十九讀會

第五十讀會

第五十一讀會

第五十二讀會

第五十三讀會

第五十四讀會

第五十五讀會

第五十六讀會

第五十七讀會

第五十八讀會

第五十九讀會

第六十讀會

第六十一讀會

第六十二讀會

第六十三讀會

第六十四讀會

第六十五讀會

第六十六讀會

第六十七讀會

第六十八讀會

第六十九讀會

第七十讀會

第七十一讀會

第七十二讀會

第七十三讀會

第七十四讀會

第七十五讀會

第七十六讀會

第七十七讀會

第七十八讀會

第七十九讀會

第八十讀會

第八十一讀會

第八十二讀會

第八十三讀會

第八十四讀會

第八十五讀會

第八十六讀會

第八十七讀會

第八十八讀會

第八十九讀會

第九十讀會

第九十一讀會

第九十二讀會

第九十三讀會

第九十四讀會

第九十五讀會

第九十六讀會

第九十七讀會

第九十八讀會

第九十九讀會

第一百讀會

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ議會ヲ省略シテ、本案ノ全部ヲ討議ニ付シマス

渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案 確定議

○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ、決ヲ採リマス、委員長ノ報告ニ賛成者ハ起立ヲ望ミマス

起立者 (多數々々)又ハ「少數々々」ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 多數ト認メマス

○議長(松田正久君) 又ハ「異議ナシ」ト呼フ者アリ議場騒然

○議長(松田正久君) ツレデハ念ノタメニ、反對ノ起立ヲ望ミマスガ、委員長ノ報告ニ反對者ハ起立ヲ望ミマス

起立者 多數

○議長(松田正久君) 反對者ハ多數ト認メマス

○武藤金吉君(九十一番) 議長ハ宣告ヲ一ツニスルモノデスカ

○議長(松田正久君) 念ノタメニ反對者ノ起立ヲ望ムシテ、所ガ反對者ガ今度ハ多數デアル

○議長(松田正久君) 異議アリ異議ナシト呼フ者アリ議場騒然

○議長(松田正久君) 又ハ「贊成者ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 異議ノ申立ニ賛成者ハ起立ヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 又ハ「點呼」ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 異議ノ申立ニ成規ノ賛成者ガアリマスカラ、投票以テ採決スルコトニ致シマス、サウシテ投票ハ記名投票ヲ用井マス

閉鎖 是ヨリ投票ヲ行ヒマスガ、委員長ノ報告ハ白イ札ヲ持ッテ御出デナサイ、委員長ノ報告ニ反對者ハ、青イ札ヲ持ッテ御出デナサイ、點呼ヲ初メマス

○議長(松田正久君) 投票漏ハアリマセヌカ、投票漏ガアリマセヌケレバ投票函ヲ閉ヂマス

開鎖 開票ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

(寺田書記官朗讀) 出席總員 二百二十一 可トスル者 八十六 否トスル者 百二十六 (拍手起ル)

(參照) 委員ノ報告ニ賛成者氏名 神藤 才一君 國谷 亨君 石塚 重平君 奥村善右衛門君 森 茂生君 山根 正次君 福地 源一郎君 荒川 五郎君 大竹 貫一君 横田 虎彦君 加瀬 禮逸君 關口 安太郎君

委員長ノ報告ニ反對者氏名

- 山下重威君 須見千次郎君 花井卓藏君 米田信藏君 日向輝武君 近江谷營次君 金子元三郎君 小山田信藏君 三輪信次郎君 板倉中君 島田三郎君 尾崎行雄君 小林仲次君 松本恆之助君 渡邊敬昌君 高橋安爾君 石田仁太郎君 石田孝吉君 福井三郎君 大淵龍太郎君 佐藤庫喜君 澤來太郎君 柴井四朗君 村松龜一郎君 首藤陸三君 關春茂君 鹿島秀齋君 市田兵七君 藤澤幾之輔君 小田文行君 野上嘉平君 波多野傳三郎君 菅澤重雄君 齋藤良輔君 田村惟昌君 河井重藏君 大津淳一郎君 西村丹次郎君 齋藤宇一郎君 青地雄太郎君 入江武一郎君 川島瀧藏君 大石熊吉君 淺見竹太郎君 天野量平君 米田武八郎君 松原九郎君 高橋金治君 川真田德三郎君 大久保弁太郎君 武藤家德二君 横山一平君 岡田治衛武君 須藤源内君 橋本久太郎君 脇山榮太郎君 兼松 煥君 山崎嘉吉君 富島暢夫君 寺井純司君 松元剛吉君 山口小一君 井上角五郎君 山本幸彦君 阿部勇治君 是永三郎君 七里清介君 三輪猶作君 内貴甚三郎君 井上與一郎君 山田省三郎君 松本長平君 永見寛二君 矢島中君 服部小十郎君 福島宜三君 森秀次君 野尻邦基君 服部小十郎君 南條吉左衛門君 雄倉茂次郎君 武市庫太郎君 東尾平太郎君 山口達太郎君 澤田佐助君 岩本晴之君 大野龜三郎君 佐々友房君 大畑純次君 田寺敬信君 山平太郎君 飯島省三郎君 乾奈良吉君 伊夫資弼君 望月長夫君 長谷部倉藏君 川原茂輔君 池田惟貞君 杉田定一君 長谷川善助君 元田肇君 松田吉三郎君 三浦盛徳君 工藤善助君 石川清君 磯部四郎君 遠山正和君 藤森金作君 大井ト新君 磯川雲平君 西村專太郎君 島根隆君 根本吉正君 立松隆慶君 福島美之助君 美禰龍彦君 内山吉太君 恆松隆慶君 西島美之助君 島根隆彦君 多田作兵衛君 宮古隆慶君 重岡美之助君 中林友行君 遠藤由之君 鳥海哲四郎君 林村清一郎君 神戶松之輔君 古藤弘吉君 奥野市次郎君 神前修三君 植場平君 前島元助君 與松市次郎君 漆山昌巖君 丹後直平君 河原林義雄君 關根柳助君 築山和一君 中西六三郎君 菅原哲藏君 松本君平君 小柳助君 清水松三郎君 景山甚右衛門君 江藤哲藏君 松西光三郎君 遊田研吉君 毛里保太郎君 後藤文一郎君 岩元信兵衛君 望月右内君 湯山壽介君 鈴木友治郎君 竹田千代足君 伊藤傳右衛門君

植木 元三郎君 初木 卿太郎君 廣瀨 久政君 大野 久次君  
 吉植 庄一郎君 森 肇君 荻野 芳藏君 武滿 義雄君  
 村松 愛藏君 中倉 万次郎君 山本 繁造君 宮本 嘉樂君  
 福岡 精一君 坂元 英俊君 麥田 宰三郎君 藤田 藤吉君  
 西山 彰君 長 晴 登君 松本 孫右衛門君 齋藤 珪次君  
 横井 甚四郎君 北村 左吉君 小田 貫一君 高木 龍藏君  
 林 有造君 松本 大吉君 淺野 順平君 嶺山 時善君  
 漢寄 鉄五郎君 田中 喜太郎君

○議長(松田正久君) 右ノ結果ニ據リ、本案ハ第二讀會ヲ開カザルコトニ決シマス、諸君ニ御諮リヲシマスガ、決算委員會ノ第四分科ヲ、是ヨリ開キタイト云フコトデアリマスガ、退席ヲ許可シテ御異議アリマセヌカ  
 (異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)  
 ○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ許可致シマス、議事日程第十四、刑ノ執行猶豫及免除ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ繼續シ委員長ヨリ報告ヲ致シマス、—— 編飼退藏君

第十四 刑ノ執行猶豫及免除ニ關スル法律 第一讀會ノ續(委員長報告)

(編飼退藏君登壇)

○編飼退藏君(三十四番) 本案ニ對シマスル委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマス、此御報告ヲ致シマスルニ先チマシテ、此御報告書ニ印刷ノ誤リガゴザイマスカラシテ、是ヨリ其事ヲ申上ゲマス、御訂正下サルヤウニ致シタクゴザイマス、此「刑ノ執行猶豫及免除ニ關スル法律案」トゴザイマス、及「免除」ノ字ガ無クナリマス、即チ此修正案第一條ノ初メニ於キマシテ「刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案」斯ウ云フ文字ニ是ガ直リマス、此文字ガ除クコトニナリマスカラシテ、茲ニ申上ゲマス、刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案トナリマス、ツレカラ尙モウツ誤植ガゴザイマス、第三條ノ二項ニナル「テゴザイマス、此二頁ノ一行目ノ末文ノ所ニ參リマシテ、」執行ヲ停止ス」其下ニ「刑ノ執行ニ著手シタル者ニ付テハ其執行ヲ猶豫セス」ト云フ文字ガゴザイマス、是ガ一列ニテ居リマスガ、此「刑ノ執行ニ著手シタル者」ト云フノハ、別ニ一項ニナル譯ニナリマス、即チ是ハ「一項ト云フコトニナリマス」トゴザイマス、即チ二條ノ二項ニ是ガナリマス、是ガ先以テ誤植ノコトヲ申上ゲテ茲ニ正シテ置キマス、本案委員會ハ都合四回開會ヲ致シマシテ、委員會ニ於キマシテハ本案ハ最モ有要ナル議案トゴザイマスカラシテ、司法大臣ノ出席ヲ求メ、且ハ政府委員、及本案ノ提出者等ヘモ種々質問ヲ致シマシテ、最モ鄭重ニ審査ヲ致シマシタコトアゴザイマス、政府委員ハ之ヲ單獨法ト致シマシテ、刑事訴訟法ヲ改正セザルトキニハ、少シク今茲ニ修正ニナテ居リマストコロノ三條及七條等ノ如キ意味ノ條項ヲ加ヘラレナケレバナラス、加ヘラレタイト云フコトヲ辯明致サレタコトアゴザイマス、又委員中ノ本案提出者元田君ニ於キマシテモ、他ノ委員ノ質問ヲ受ケ、且政府委員ノ辯明ニ依テ、之ヲ補正スルコトノ必要ヲ見出シタコト云フコトアゴザイマシテ、修正意見ヲ提出サレマシテ、是ニ付キマシテ委員會ハ最モ周密ニ調査ヲ遂ゲマシテ、審議討論ノ上ニ於キテ手許ニ御配付致シマシテ報告書ノ如ク修正スベキモノト議決ヲ致シマシタ、茲ニ其修正シマシタコトノ理由ノ概略ヲ申述ヘマスデゴザイマス、本案ノ名稱タルトコロノ刑ノ執行猶豫及免除ニ關スル法律案トゴザイマス中ノ、「及免除」ノ三字ヲ取除キマシタ趣意ハ、此案ノ趣意タルヤ、畢竟刑ノ猶豫ノ結果或ハ免除トナルモノトシテ、初メヨリ免除スルト云フ趣意ノモノアゴザイマセヌカラシテ、初メニ「及免除」ノ三字ヲ入レテ置クハ

不可ナリ、斯ウ云フ意味ニ依リマシテ「及免除」ノ三字ヲ取消スコトニ相成リマシタ、ツレカラ第一條ノ文言ニ初メノ提出案ニ於キマシテハ「裁判所ハ情狀ニ依リ云々」ト云フ如キ文字ガゴザイマシタノデ之ヲ省キマシタ、此趣意ハ他ニ數條ヲ加ヘマシテ、是ガ裁判ノ手續ノコトヲ他ノ條項ニ於テ明カニ致シマシタガタメニ、不用ニナリマシタトコロノ文字ヲ削リマシテ、修正案ノ通り第一條ハ變ヘマシタモノアゴザイマス、ツレカラ第一條ノ「簡單々々」ト呼フ者アリ、「二年以下云々」トゴザイマスノヲ、以下ト致シマスノハ少シク寛ニ過ギルノ嫌ヒアリト認メマシタノト、又ハ政府ハ二年ト云フコトハ反對ト云フ程デモナケレドモ、希望ヲ言ヘバ少シク低イ方ガ宜カラウト云フ考デアルト云フコトヲ申シマシタノアゴザイマス、旁、以テ委員會ニ於キマシテハ二年トアリマシタノヲ一年以下ト云フコトニ修正ヲ致シマシタ次第デアリマス、第一條ノ末ニ但書ヲ加ヘマシタ所以ハ、他ノ立法例等ニモ參考ヲ致シマシテ、我國ノ現狀ニ鑑ミマシテ此位ニ制限ヲシマスル方ガ適當デアラウト認メマシタニ外ナリマセヌ、其他補正致シマシタ各條項ハ先ニ政府委員ノ辯明モゴザイマシタ、旁、致シマシテ裁判ノ手續ヲ規定シマシタト云フニ外ナラヌアゴザイマス、且又附則ノ第二ニ本法ハ施行ノ際確定判決ヲ受ケ云々ト云フ一項ノゴザイマシタノヲ削除致シマシタ、此削除致シマシタ趣意ハ、今茲ニ修正ヲ致シマシタ第三條ノ二、三、第三條ノ二項ニ於テ、此即チ範圍内ニ於テ先ノ提出案ニアリマシタトコロノ附則ノ第二ノ事柄ハ爲得ラレ、即チ此範圍内ニ於テ爲得ラレト認メタニ過ギマセヌ、大體斯様ノ趣意ニ依リマシテ、斯ク修正ヲスベキモノト決議ヲシタ次第デアリマス、是ニ依テ速ニ御議決アラントコトヲ希望致シマス

○森肇君(六十三番) 委員長ニ御尋ネ致シマスガ、實ハ委員長ハモウ少シ詳細ナル御報告ガ願ヒタイノデアル(ノウノ)ト呼フ者アリ、本員ハ此案ノ委員ニナテ居リマシマス、十分精細ニ調査ヲシタルノデゴザイマスガ、第一ニ起テタルコトノ問題ガアルノデゴザイマス、此事ハ本員ヨリ既ニ提出シ居リマスガ、之ヲ委員長カラ御報告ニナラヌト云フト、他カラ質問モ出マセシテ、又本案ノ死活ニ關スルコトノ緊要ナル點ニアラウト思フ、ツレ故ニ私ハ委員長ニ其點ヲ御報告ヲ願イタイノデアアルガ、御報告ニナラナケレバ、茲ニ質問事項トシテ御尋ネタルノ已ムヲ得ナイノデアリマス、ツレハ本案ハ刑ノ執行猶豫免除ト云フコトニナテ居リマスガ、之ヲ若シ此通ノ如ク執行スルコトニナテ結果ニハ、憲法第十六條ノ天皇ノ大權ト云フ中ニ、特赦大赦等ノコトガ規定シテアリマス、特赦ト云ヘバ、即チ刑ノ執行ヲ免除スルコトモ包含シテ居ルノデアリマス、ツレカラ又刑法ノ規定ニ於テモ、明カニ刑法ニ其事ガ認メテアルノデアリマス、即チ刑法ノ第六十五條ニ復権ハ勅裁ニ非サレハ之ヲ得可カラス」復権ハ勅裁ニアラザレバ得ベカラスト云フ明カナル規定ガアリマスガ、若シ此法律ノ通ニ實行ヲ致シマシタラバ、結局復権ヲ被告人ナルモノハ得ルコトニナルノデアリマス、刑ノ執行ヲ猶豫シテ置イテ、其猶豫期間内ニ於テ、此規定ノ通、或條件ガ行ハレナカッタ場合ニハ、即チ其刑ガ免除サル、ノデアリマス、其刑ノ免除セラレタ結果トシテ、其刑期中ニ於テ、公權ノ停止若クハ公權剝奪ヲ受ケテ居ルモノガ、終ニ公權ノ停止ヲ免レルト云フコトニナルノデアリマス、サウスレバ、此刑法ノ第六十五條ノ規定ニ違反スルノ眞ガナイカ、ドウデアアルカト云フコトガ、最モ必要ナ點デアラウト思ヒマス、ツレカラ尙本員ハ此刑法ニ規定シテアルトコロノ刑ノ期滿免除ト云フモノ、起算點ト云フモノヲ、此法案ニ規定シテアル場合ニハ、刑ノ期滿免除ノ執行期限ハ、免レノ日ヨリ起算スルカ不明デアル、サウ云ヘバ即チ刑ノ期滿免除ナルモノノデアリ、即チ刑ノ執行猶豫ヲ受ケルモノデアルト云フコトアゴザイマスケレドモ、同シク刑ノ執行ヲ免レタルコト、云フモノハ、ドウ云フコトデアルカ、自働的ニ免レルコト、他働的ニ免レルコト、ノ區別ハナイト思ヒマス、然ルニ此規定ハ之ヲ缺イテ居ルト云フノハ、

缺點デハナイカ、此二箇條ノ質問ヲ致シマス、尙終リニ臨ンデ序ニ一箇條加ヘテ置キマ  
 スガ先ニ本院ヨリ委員會ヘ付託致シマシタコロノモノハ、單ニ刑ノ執行猶豫及免除  
 ニ關スルト云フ僅ニ二箇條デアラフ、之ヲ言換ヘテ見レバ刑法ノ總則ニ於テ規定スベ  
 キ刑罰法案ニ規定スベキ箇條ヲ、此委員會ニ付託シテアリマス、然レニ此修正案  
 ニ於テハ、更ニ此原案ニナカドコロノ刑事訴訟法ニ關係シタ事柄ガ規定セラレテ居  
 ノデアル、之ヲ言換ヘレバ、則チ裁判管轄ノ科ト、即チ上訴ノ手續ノ科ト、其裁判ヲ爲  
 ストコロノ方法、若クハ之ヲ請求スルところノ裁判手續ト云フモノヲ認メテ居ルノデア  
 ス、言直セバ二箇條ノ刑法ニ規定スベキ事柄ヲ付託シタデアラフ、刑事訴訟法ニ規定  
 スベキ事柄ハ委員會ニ付託シナイノデアアル、然レニ之ヲ擴張シテ、之ヲ併セテ委員  
 會ニ審議シテ本會ニ報告シ得ルモノデアラウカト云フ議論ガ、委員會ニ於テ起シタ  
 議論ニ對シテハ、即チ贊成者モアテ成立シタデアリマス、是等ノ經過ニ付イノ御報  
 告ガナイ以上ハ、是等ノ點ハ如何ナシイマスルカ、委員長ハドウ云フ御意見デア  
 ルカ、ソレ  
 フ同ヒタイノデアリマス

○花井卓藏君(二百七番) 同シヤウナコトデアリマスカラ、一言附加ヘテ御尋ネシ  
 イ、私ノ御尋ネシタイノハ、委員長ニデハナイノデアアル、博學多識ナル——稍、博學多識  
 ナル元田君ニ問フノデアアル、第一ニ御尋ネシタイノハ、刑ノ執行猶豫ナル文字ハ、名ハ甚  
 ヲ美デゴザイマスルガ、法案ヲ讀ンデ見マスルト、實ハ刑ノ條件附ノ免除デアアル、而モ全  
 デアル、左様致シマスルト云フ、帝國憲法第十六條ニ依レバ「天皇ハ大赦特赦減刑及復權ヲ命  
 付ケテアロウカ、帝國憲法第十六條ニ依レバ「天皇ハ大赦特赦減刑及復權ヲ命  
 書イテアル、天皇ノ大權ニ屬シテ居ルコトデアアル、即チ減刑ト雖モ、天皇ノ大權ニ屬シテ居  
 ルノデアアル、然レニ此減刑ヨリモ、ヨリ大ナル刑ノ全免ト云フモノヲ此法案ノ中ニ規定セ  
 ラル、ト云フコトハ、憲法ノ第十六條ト相對シテ調和ハ十分付クト云フ御考デゴザイマ  
 セウカ、如何デゴザイマセウカ、是ガ第一點、第二點ニ御尋ネシタイノハ、假リニ此刑ノ  
 執行猶豫ト云フモノハ必要ナル法案デアラフ、憲法ト調和ケ付クトシタコロコト、斯ノ如キ  
 刑ノ執行免除ノ特典ヲ與フベキ犯罪ノ種類ハ、定メテ居ラウカト思ヒマス、例ヘバ  
 國事犯デアルトカ、或ハ親ノタメニ讒トシタ犯罪デアルトカ、ソレハ何レモ重罪デア  
 ケレドモ、其事情ノ上ニ於キマシテ諒トスベキ犯罪事件デアアル、是第二三二種ノモノニ限定  
 セラレテ然レバ思フノデアリマス、國事犯ハ時ノ政府ニ對シテハ、重罪犯タルニ違ヒナ  
 イ、併ナガラ同情ヲ表スル同一論者カラ見レバ、罪デモ何デモナイノデアアル、親ノタメニ讒  
 フ討ツト云フモノ亦然リデアアル、寧ロ心情嘉スベシデアアル、法律ガ之ヲ罰スルト致シマシ  
 テモ、勿論詐欺取財竊盜ナドノ類ト同ジニハ視テ居ラヌノデアアル、古ナラバ前者ハ領土ヲ  
 得、後者ハ褒美ヲ賜ハタタ位デアアルノデアアル、則チ斯ノ如キモノニ、コソ始メテ之ヲ適用ス  
 ベキデアアルノニ、單ニ一年以下若クハ二年以下ト普通ノ詐欺取財、竊盜、委託物費消  
 ト云フヤウナ、誠ニ或意味ニ於テハ歡迎スルコトノ出來ナイ犯罪ノモノ、之ヲ適用セラルベ  
 ク限定セラレテ、國事犯仇討ナドニ之ヲ應用セラレナカド、趣意ハ、ドウ云フ次第デア  
 カ、是ガ第二點、ソレカラ第三點——第三點ニ終リマスガ、法案ノ第三條ヲ讀ンデ見  
 スルト、刑ノ執行猶豫ト云フモノハ、刑ノ言渡ト同時ニ、判決ヲ以テ言渡スヘシト云フ規  
 定ガアルノデアアル、刑ノ執行猶豫ト云フコトハ、刑ノ執行ヲ受ケベキ者ニ對シテ、ソレガ執  
 行ヲ猶豫スルノデアアル、然レニ法案ノ第三條ニ讀ム際ニ、重禁錮ノ執行デハナイ、名ヲ刑ノ  
 猶豫トス、ト云フコトハ、實ハ刑ノ全免ヲスルノデアアル、ソレモ宜イ——ソレモ宜イシテモ、二條ノ  
 次ノ行ヲ讀ンデ御覽ナサイ、刑ノ言渡アリタル後ニ於テ執行ヲ猶豫スル場合ニ於テハ、  
 決定ニ依リ——判決ニ依ラスシテ決定ニ依ルト云フコトニテ居ルノデアアル、刑ノ執行猶  
 豫ヲ爲スニ當テ、或場合ニ於テハ判決ヲ以テ爲シ、或場合ニ於テハ決定ヲ以テ之ヲ爲  
 ス——決定ト云フモノハ、訴訟手續上ノ關係デアアル、之ヲ主法ノ制裁タル刑ノ免除ノ方

ニ立案セラレタル理由ハ、果シテ何レニアアルカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネシタイ、是ガ第二點  
 デアル、第四點ハ政府委員ニ御尋ネシタイ、固ヨリ是ハ元田君ノ案ノコトデアリマス  
 ラ——元田君自ラ御起草ニナド、古今無雙ナ名案デゴザイマスルカラシテ、政府ノ御同  
 意ニナルト云フコトハ、無論デアアルトハ信ジテ居リマスルガ、念ノタメニ御同意ニナルヤ否ヤ  
 ト云フコトヲ承テ置キタイ、私ハ斯様ナ趣意ノ質問ヲ提出シマシテモ、少シ感スルコ  
 ロガゴザイマシテ、本案ニハ多分——多分同意シヤウト思フテ居リマスル、居リマスルガ、  
 此私ノ問ニ對シテ、安心ガケハシテ置キマセト云フ、後ノタメニナリマセウカラシテ、博  
 學多識——聊カ博學多識ナル元田君ノ答辯ヲ煩シマス  
 「辯護士問題ト呼ブ者アリ、花井卓藏君「イヤ、辯護士問題デハナイ、法律  
 上ノ大問題ト呼ブ」

○元田肇君(百六十三番) 今ノ花井君ノ御質問ニ對シテ、私デ御答ノ出來ルコトハ  
 御答ヲ致シマス(花井卓藏君「出來ルナラ言ヒ給ヘ、出來ヌナラ止メ給ヘト呼フ)私ハ憲  
 法トハ牴觸セヌト云フ考デアアル(花井卓藏君「ドウ云フ譯ダ、其理由如何ト呼フ)私ハ  
 理由ナキ說明ハ仕リマセウ、花井君ハ本案ニ對スル私ノ議論ノ根柢ハ能ク御承知デア  
 ルト承認致シマスル、私モ一種ノ議論ノアルト云フコトヲ承知致シマスニ付イテ、多少  
 ハ——殊ニ淺學デアリマスカラシテ、安心ガ出來ヌニ取調モ致シマシタ、ソレカラ現ニ是ハ  
 新刑法トシテ、貴族院ノ議事ニモ上ッテ居ルコトデアリマスカラ、我法曹社會ノ意見ハ如  
 何デアアルカト云フコトヲ見ルニ足ルト思ヒマシタカラシテ、貴族院ニ於テ原案ヲ可決シ  
 ル、委員會ノ詳細ナル我邦ノ法曹連中ノ議論ヲ讀ンデ見マシタコロコトガ、ヤハリ私ト同  
 ニ憲法ニ牴觸セヌ、差支ナイト云フテ大多數ヲ以テ可決ニナッテ居リマスカラ(花井卓藏  
 君「貴族院ノ意見ヲ聞クノデアハナイ、元田君ノ定見ヲ問フノデアト呼フ)茲ニ一個ノ意見  
 ト云フモノヲ述ベル必要ハナイト思ヒマス、其他段々御質問ガゴザイマシタガ、結局私ニ答  
 辯ガ出來ヌイカト云フコトヲゴザイマシタカラ、花井君ガ問ハレタコト、思ヒマスルシ、又花井君ガ  
 贊成シテ下サルト云フコトヲゴザイマシタカラ、之ヲ以テ花井君ノ質問ハ寧ロ何等ノ御趣意  
 ノナイコトデアアルト御承知下サイ(花井卓藏君「ソレハ御答ノ出來ナイノカト呼フ)ソレカ  
 ラ森君ノ御質問ニ御答シナケレバナリマセウガ、是ハ委員會ノ經過デゴザイマシタケレドモ、  
 委員會ノ經過中ニ此案ハ甚ダ最初杜撰ニ出來テ居テ、段々質問討論ヲシテ見マスル  
 ト、足ラヌトコロヲ發見致シマシタカラ、會ヲ延バシテ戴イテ調ベテ見タコロコトガ、單ニ字句  
 ノ修正ニ止マラス、一條ニ條ヲ更ニ加ヘナケレバナラヌ、必要ヲ認メマシテ、斯様ナコ  
 トヲバ、修正案トシテ提出ガ出來ラウカ、ドウデアラウカ、殊ニ其中ニ付イテ之ヲ區別  
 シテ云ヘバ、刑法ト刑事訴訟法トノ關係ニナッテ居ル刑法ノ修正ノ結果、刑事訴訟法ヲ  
 補ハナケレバナラヌヤウニナツタガ、吾々ニ付託セラレタノハ、刑法デアアルカラ、刑事訴訟法  
 ニ立入ル權限ハナイト云フコトヲ、森君ハ言ハレルガ、吾々ガ付託ヲ受ケ、若クハ提出シ  
 タ中ニ刑ノ執行猶豫ト云フモノモ出シタ、刑事訴訟法モ出シタ、所ガ原案不備ニシテ仕  
 方ナクシテ、是等ハ車ガ廻ラヌト云フノデ、單行法ヲ補フニ付イテハ、斯ウ云フ修正ヲシ  
 テモ、決シテ委託事件ノ外ニアラヌト云フコトヲ確信シテ居ルガ、尙書記官ヲ呼ンデ、段々  
 事例ヲ調ベマシタコロコトガ、我院ノ先例ニシテ誤リアレバ、卒サ知ラヌ、二十三年以來斯  
 ウ云フ例ハ多々アルノデアリマス、ソレデ安心シテ此修正案ヲ修正トシテ了シタノデア  
 リマス

○森肇君(百六十三番) 今ノ何デスカ、元田君ハ委員長デスカ  
 ○元田肇君(百六十三番) 委員長デアアリマセウガ……  
 ○花井卓藏君(二百七番) マダ元田君ノ答辯ヲ得マセウ、其他ノ三點ニ付イテ、明  
 瞭ニ答フベシ、立法部ニ於テ法律家ヲ以テ任シテ居ル人デハナイカ  
 ○議長(松田正久君) 花井君ニ注意シマス、發言ハ議長ノ許可ヲ得ナケレバナリマ  
 セウ

官報號外 明治三十八年二月二十四日 衆議院議事速記第二十二號 刑ノ執行猶豫及免除ニ關スル法律案 第一讀會ノ續

刑ノ執行猶豫及免除ニ關スル法律案 第一讀會ノ續

○花井卓藏君(二百七番) 議長 二百七番  
○議長(松田正久君) 百六十九番ニ許シマシム

○宮古啓三郎君(百六十九番) 私ハ攻撃ノ質問ヲスルノテハアリマセヌガ、之ヲハッキリ定メテ置キマセヌト、後ニ議論ノ種ニナラウト思ヒマスカラ、チヨット委員長ニ御尋ネシマスガ、ツレハ第三條ノ末項ニ「此場合ニ於テハ其決定確定ニ至ル迄刑ノ執行ヲ停止ス刑ノ執行ニ著手シタル者ニ付テハ其執行ヲ猶豫セシム」ト書イテアル、刑ノ執行ニ著手シタルト云フハ、判決ノ決定シタルトキカラト云フノデアラウト思フガ、或ハ喚出デモ發シタルト云フヤウナトキヲ指シテ、著手シタルト云フノデアアルカ、ツレハ伺ヒタイ

○鶴岡退藏君(二十四番) 唯今御尋ネノコトデアリマスガ、既ニ委員會ノ經過ノコトニ付キマシテハ、此事ニ付イテ一言申上ゲテ置キマスガ、此提出案タルヤ、刑法ノ總則ノ如キモノデアッテ、之ニ委員會ニ於テ尙數條ヲ加ヘタ、其箇條ハドウカト云ヘバ、刑事訴訟法ト云フ如キモノデアアル、斯ノ如キモノヲ議決スルハ、委員會ノ權限内ニ於テ加フベキモノデアアルヤ否ヤノ點ニ付キマシテハ、種々議論モアリマシタ、委員會ノ時分ニモ森君ヨリ其御説ガアツタノデス、所ガ唯今元田君ヨリ御述ベニナリマシタ通デゴザイマシテ、本院ノ委員會ノ先例等ヲ段々取調ベマシタトコロガ、此等ノ例ハ幾多アルノデゴザイマシテ、決シテ差支ナイモノト云フコトガ委員會多數ノ意見デアリマス、因テ斯ウナリマシタ、次第デゴザイマス、ツレドウツ御承知ヲ願ヒマス(ツレテ宜シイ、モウ宜シイ)ト呼フ者アリ)尙期滿免除云々ト云フ御尋モアリ、ツレカラ百六十九番カラノ御尋モアリマシタガ、私ノ承知シテ居ルトコロハ、茲ニ御答シマスガ、其刑ノ執行ニ著手シタル云々ト云フノハ、入檻シタル日ヲ以テスルト云フコトニ、修正案ノ提出者ヨリ承知シテ居リマス、即チ入檻シタル日ヲ指スコトデアリマス、尙森君ノ御尋モアリマシタガ(花井卓藏君)盛ニ質問シテ、法案ノ真相ヲ明ニスベシト呼フ、何分刑ノ實施上ノコトナドニ付イテハ、經驗ノナイモノデアリマスカラ、ツレテ提出ノ即チ修正案ノ提出者タル元田君ヨリ御答辯下サルガ、定メテ御満足ノ答辯ガ出來ヤウト思ヒマスカラ、元田君ニ御問ヒ下サルヤウ願ヒマス

○辯護士バカリノ議論デハナイト呼フ者アリ其他發言ヲ求ムル者多シ  
○恆松隆慶君(百五十九番) 二讀會ニ移ラレンコトヲ望ミマス

○望月長夫君(二百四十九番) 私ノ質問ハ「本法ハ發布ノ日ヨリ施行ス」ト書イテアツテ、尙第三條ノ内容ヲ讀ム見ルト「刑ノ言渡ト同時ニ判決ヲ以テ言渡ス」トアル、サウシテ刑ノ言渡ヲシナイ時分ニハ、此執行猶豫ガ言渡セルト云フコトガアルガ、何カ是ニハ其日ヨリ施行スト云フコトニ理由ガアルノカ、或ハ今日刑ノ言渡ヲ受ケテ、サウシテ何か事故ヲ構ヘテ刑ノ執行ヲ猶豫スルトカ、急ニ免除ヲ受ケルト云フコトデアアルノカ、ツレハ伺ヒタイ

○答辯ノ必要ナシト呼フ者アリ  
○恆松隆慶君(百五十九番) 速ニ二讀會ニ移ラレンコトヲ望ミマス

○國井庫君(二百五十九番) 本案ハ十分ニ意見ヲ闡ハスベキモノデアアル

○森肇君(六十三番) 私ハ二讀會ニ移ラデモ、マダ意見ガ極マラヌデアアル、二讀會デ修正ヲ出シタクモ出セナイ

○國井庫君(二百五十九番) 議長 簡單ニ……

○議長(松田正久君) 二百五十九番ハ、何デスカ

○國井庫君(二百五十九番) 贊成ノ理由ヲ述ベタイ

○議長(松田正久君) 意見ガアルナラバ、演壇ニ御登リナサイ

(國井庫君登壇)

○國井庫君(二百五十九番) 私ハ極メテ簡單タカラ、演壇ニ登ル必要ハナイガ、議長カラ演壇ト云フ命令ガアルカラ、此席ヨリ申上ゲマス、極ク要領ヲ述ベルノデス、第一其反對ノ理由ノ重ナルモノハ、憲法ト或ハ抵觸セヌカト云フノガ一ノ問題トナツテ居ルヤウデス、私ハ少シモ憲法ト抵觸セヌト思フ、ナゼカト云フト、法律ハ「憲法ヲ能ク讀給ヘ」ト呼フ者アリ)少シドウツ御静ニ願ヒマス、簡單ニ言ハウト思フデモ、却テ長クナリマス

「ナゼ憲法ト抵觸セヌカト云フニ、法律ハ云フマデモナク、手續ヲ經テ上ニ、天皇ノ裁可ヲ受ケテ、始メテ法律トナルノデアリマス、是ガ天皇ノ大權ノ行使デアリマセウ、大權ノ發動デアリマセウ、何ガ憲法ニ違反スルコトガアリマセウカ(憲法參照憲法ヲ御覽ナサイ)ト呼フ者アリ)決シテ憲法ニ違反シテ居ルノデアリマス、ツレカラ刑ノ執行猶豫ノ必要ナルハ——今日ノ監獄制度ト違フノデアアル、今日ノ監獄制度ハ隨分歐米各國ニ於テモ監獄制度ニ付イテハ隨分研究モシテ居リ、苦心モシテ居ルケレドモ、未ダ監獄制度ノ完備ハ先ヅ期シ難イト云フヤウナ境涯ニナツテ居ルデアリマス、云ハハ監獄ニ這入ツタモノハ犯罪ヲ犯ス學校ニ這入ツタモノデアルト云フ成績ヲ示シテ居ルデアリマス、此關係カラ云ヘバ、ドウシテモ刑ノ執行猶豫ハ今日ノ時勢ニ於テ最モ必要デアアル、ツレカラ又第二ニハ斯

或ハ又主義ヲ變ヘテ改過遷善ニ至ラシムルコトガ出來ルカト云ヘバ、先キニ述ベタ第一ノ理由ノ關係カラ到底其目ノ達スルコトヲ斷言スルコトガ出來ナイ、之ガタメニ寧ロ犯罪養成學校ヲ大ナル利益アルモノデアルト云フコトヲ私ハ信ズル、極ク簡單ニ——長ク申スト却テ贊成ガ減リマスカラ、斯ノ如ク簡單ニシテ止メテ置キマス

○恆松隆慶君(百五十九番) ドウカ採決ヲ願ヒマス

○議長(松田正久君) 本案ニ付イテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ニ付キ第二讀會ヲ開クベシト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(松田正久君) 多數デアリマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 恆松君動議ノ如ク直チニ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○議長(松田正久君) 御異議ガアレバ決ヲ採リマス、直チニ二讀會ヲ開クコトニ贊成ノ方ハ起立ナサイ

起立者 多數

○議長(松田正久君) 多數デアリマス直チニ二讀會ヲ開キマス(二百六番)

刑ノ執行猶豫及免除ニ關スル法律案 第二讀會

○米田實君(二百六番) 諸君、私ハ此刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案ノ委員ノ一人デアリマスガ、若シ私ガ取調ベタコトガ、今日ノ如クデアツタナラバ、或ハ委員會ニ於テモ贊成ヲ得タカモ知レナイノデアリマス、即チ其當時ニ於テハ私ノ取調ガ不完全デアルタメニ、私ガ意思ヲ文意ニ現ハスコトガ出來ナカッタメニ、遂ニ私ノ案ニ付イテハ一人ノ贊成者ノミデ、例レルノデアリマス、之ハ極ク簡單ナ議論デスカ、第五條ニ付イテ修正ノ意見ヲ提出スルノデアリマス、唯今ノ第五條ノ法文ニ依リマス、刑ノ言渡ニ對シテ上訴アリスル場合ニ於テハ刑ノ執行猶豫ノ裁判ハ當然其效力ヲ失フ、但上訴裁判所ニ於テ

(一四)

更ニ執行ヲ猶豫スルコトヲ妨ケス。ト斯様ニアル、之ヲ改メテ、第五條刑ノ言渡ニ對シ上訴アリタル場合ニハ刑ノ執行猶豫ノ裁判ハ當然上級審ニ繫屬ス、但上訴裁判所ニ於テ左ノ一ニ該當スル場合ニハ更ニ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ爲スヘシ、一、檢事ノ上訴ニシテ刑ノ執行猶豫ノ當否ニ關セサルトキ、二、被告ノ上訴カ正當ナルトキ、三、斯様ニシタイト云フ意見デアリマス、此理由ヲ聊カ申述ベキマス、固ヨリ拙劣ナル辯デアリマスカラ、長クハ申上ケラレマセヌ、簡單ニ申上ケテ置キマス、唯今配付ニテ居ル案ニ依リ、上訴ガアル、上訴ガアルナラバ刑ノ執行猶豫ノ判決ハ、當然其效力ヲ失フ。云フ規定デアアル、尤モ但書ニ於テ上訴裁判所ニ於テ、更ニ執行猶豫ノ裁判スルコトハ宜シ、ト斯様ニ書イテアルガ、私ハ之ニ付イテ非常ナ不都合ナ結果ガ出ヤシナイカト云フ心配ヲスルノデアアル、ソレデ其理由ノ一ツハ斯様ノ場合デアアル、第一審ニ於テ、刑事被告人モ刑ノ執行猶豫ノ判決ニ於テ満足ヲ表シテ居ル、固ヨリ異議ハナイ、然ルニ其場合ニ於テ明カニ法律ノ適用ノ上ニ於テ違ヒガアル、例ヘバ歐打罪ト判決シタニ拘ラズ、擬律ノ上ニ於テハ暴行トシ、又ハ脅迫トシテ判決シタ場合ニハ、明カニ法律ニ背イテ居ル、明カニ背イテ居ル事實ガアツテモ、若シ被告人ガ上訴スルト云フ場合ニナリマシタナラバ、當然效力ヲ失フ結果トシテ、上訴裁判所ハ果シテ執行猶豫ヲ附セラル、カ附セラレナイカ分ラヌ、ソコデ之ガ分ラナイ疑心カラ顯著ナル犯罪擬律ノ錯誤カアツテモ、爲ニ上訴ヲセナイト云フ所ノ弊害ヲ醸スノデアリマス、デハ被告ノ側カラ見テモサウデ、又檢事ガ上訴シタ場合ハドウデアアルカト云フト、檢事ガ上訴スル、第一審ニ於ケル所ノ檢事ガ刑ノ執行猶豫ハ相當デアアルトシタニ拘ラズ、擬律ノ點ヲ間違テ居ルタメニ、此點ヲ矯正スルト云フタメニ、檢事ガ上訴スル、其場合ニ於テハ被告人ハ満足シテ居ルニ拘ラズ、法律ノ利益ノタメニ檢事ガ上訴スルニ際シテ、不利益ニ或ハ刑ノ執行ノ言渡ヲスルト云フ運命ニ遭遇スル際ニ不都合ナ結果ヲ來シハシナイカト、私ハ此點ヲ心配スルノデアリマス、ソレ故私ノ案トシテハ、上訴ガ被告人ニ向ウテ、被告人ガ上訴シタトキニ於テ、被告人ノ上訴ガ正當デアアル、即チ本刑ニ付イテ擬律錯誤デアアルト云フコト、カ、或ハ又事實上ニ於テ錯誤ガアツタトカ云フ場合ニ於テハ、無論此第一審ニ於テ言渡サレタルコト、刑ノ執行猶豫ノ判決ト云フモノハ、セネバナラヌヲ思フデス、又檢事ガ上訴ノ場合ハ檢事ハ法律ノ利益ノタメニ、法律ヲ保護スルタメニ上訴スルノデアアル、被告人ハチツトモ關シナイノデアアル、然ラバ此點ニ於テモ、執行猶豫ノ當否ト云フコトヲ外ニ置イタ場合ニ於テハ、無論被告人ノ利益ノタメニ此第二審裁判所ナルトコロノモ、刑ノ執行猶豫ノ言渡ト云フモノハ、當然セネバナラヌヲ思フデス、デ此事柄ハ刑事訴訟法ニ依リ、若クハ刑法ニ依リ、決シテ權衡ヲ失フモノデハナイノデアアル、御承知ノ如ク刑事訴訟法ニ依リマスレバ、檢事ガ上訴ノ場合ニ於テハ、格別、被告人ガ上訴スルトカ、若クハ檢事ガ被告人ノ利益ノタメニ、單ニ上訴シタ場合ニ於テハ、判決ヲ不利ニ變更スルコトヲ得ザルノ規定ニテ居ル、刑法ヲ調ベルト、刑ノ執行ハドウナデ居ル、即チ刑期計算ノ上ニ於テ、明カニ檢事ノ上訴ニ係ル場合ニ於テハ、未決拘留ヲ既決ノ拘留日數ニ算入スル、又被告人ノ上訴ガ正當ナル場合ニ於テモ、共ニ刑期ニ算入シテ、未決拘留ヲ刑期ニ算入スルト云フコトガアル、然ラバ此執行猶豫ナルトコロノ刑モ亦同様デ、等シク被告人ニ於テ此恩典ヲ認ムルト同時ニ、又裁判官ニ向フテモ、過チナカラシムルヤウニ努メンケレバナラヌ、檢事ニ於テモ其通努メンケレバナラヌノデアリマスガ故ニ、此刑法ト刑事訴訟法トノ權衡ヲ保ツタメニ、檢事ノ上訴ノ執行猶豫ノ當否ト云フコトノ以外ノ理由ニ基キテ上訴シタ場合ニ於テハ、均シク當然一審裁判所ガ執行猶豫ノ宣告ヲ言渡スルコトニ改メタイノデアリマス、(贊成)ト呼フ者アリ、又今一ツノ點ハ、被告人ノ上訴スルモノニ付イテモ利益ノ判決ヲ受ケタナラバ、是モ當然執行猶豫ノ刑ヲ言渡シタイト云フコトノ意見ヲ提出スルノデアリマス、是ハ要スルニ上訴權ト云フモノガ、法律ノ利益ノタメニ設ケラレテ居ルノデアリマス、故ニ此點ニ付イテハ、何處マデモ鄭重ニ審理シテ、徒ラニ被告人ヲシテ上

訴權ヲ杜絶スルヤウナ途ヲ講ジテハ相成ラヌヲ考ヘテ居リマスカラ、ドウカ宜シク諸君ニ於テモ此意見ニ御賛成ヲ願ヒタイモデス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 今ノ米田君ノ修正説ニハ、定規ノ贊成者ガアリマスカ

(アル)ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 然ラバ贊成者アリト認メテ置キマス

○望月長夫君(二百四十六番) 別ノ修正意見ガアリマス、ソレヨリ前ノ第三條ノ修正ノ意見ガアリマス

(望月長夫君登壇)

○望月長夫君(二百四十六番) 極メテ簡單ナ意見デゴザイマス、即チ此修正案ノ第三條ノ二項、三項ハ、反對デアアルト云フコトナデス、即チ之ヲ削除スベシト云フ理由ヲ述ベマス、其理由ノ第一ハ、此刑ノ執行猶豫ト云フモノハ、理論ノ上ニ聞イテ居ルタメカリデ、未ダ實驗サレタ事柄デハナイカラ、始メテ斯ノ如キ法律ヲ設ケル場合ニ當ツテハ、成ベク失策ノナイヤウニ、成ベク其效果ヲ完全ナラシムルヤウニ、寧ロ稍遠慮致シテ置クガ相當デアラウト思フ、ソレデゴザイマスルカラ、私ハ此刑ノ執行猶豫ハ、必ズ其刑ノ言渡ト同時ニ言渡サナケレバナラヌト云フ、第三條ノ一項バカリニ致サウ、是ハ刑ノ言渡ヲ致ス裁判官ハ、總テノ記録モ見、又己レノ前ニ立タシメテ審理ヲ致シテ、其被告人ノ性行モ能ク承知致シテ、是ナラバ執行猶豫シテモ、改心スルデアラウト云フ見込ノ付ク者ニ限リテ、執行猶豫ヲ言渡スルト云フコトニナレバ、極メテ確實デアリマスルガ、記録ニモ通曉セズ、被告人モ十分ニ審理ヲ致サナイ、即チ刑ノ言渡ハ他人ガ致シテ居ルノニ、後日ニ他ノ者ガ突然斯様ナコトヲ言渡スルト云フコトハ、頗ル始メテ行フ場合ニ於テハ、餘リ行過キデアアルト考ヘマスカラ、第三條ハ第一項ノミニ致シテ、此二項、三項ハ一切修正案ニ反對ヲ致シタノデゴザイマス、モウ理由ヲ多クハ述ベマセ

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○花井卓藏君(二百七番) 文字ノ修正ガアリマス、贊成ガアリマス、私ハ此第三條ノ第二項ニゴザイマス、決定ト云フ文字ヲ、總テ「判決」ト云フ文字ニ換ヘタイト云ウ修正意見ヲ提出致シマス、則チ第三條ノ一項ト、何等性質ノ區別ノナイト云フ事柄ヲ明記致シテ置ク必要ガアラウト思フ、是當然御賛成ヲ得ルコトデアラウト考ヘマス、一方判決ニシテ、一方決定ニスルト云フコトハ、ドウシテモナイノデスカラ、理窟ハ澤山ハ申上ケマセヌカラ、御賛成ヲ願イタイノデス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○花井卓藏君(二百七番) 定規ノ贊成ガアリマス、後トテ困リマスカラ採決ヲ願フデ置キマス

(松田正久君) 花井卓藏君ノ修正ニ贊成者ガアリマスカ

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 定規ノ贊成者アリト認メテ置キマス

(磯部四郎君登壇)

○磯部四郎君(百八十三番) 私ハ刑ノ執行猶豫ト云フ此本案ニ就キマシテハ免

ロハ、一年ナリ二年ナリノ實行ヲ見テ、然ル後始メテ判斷スベキ問題ガ多カラウト思フノ  
 アゴザイマス、ソレデサウ致シマスルト、稍、此適用ノ範圍ト云フモノヲ減縮致シテ來タノガ、  
 フレ等ノ心配カラ來タコトデアアルマイカト思ヒマスルカラ、適用上是ハ不都合デアラウトカ、  
 スウツフコトガ間違テナカラウト云フヤウナ事柄ハ、經驗モ何モノイ問題ニ付イテハ餘リ  
 豫言ナラヌ方ガ、却テ御爲筋デアアルマイカト考ヘルノデゴザイマス、ソレデ私ノ考ヘマス  
 ルニハ、(花井卓藏君)經驗ノ事柄ニ付イテハ餘リ議論ナラヌ方カ御爲筋デアアル  
 マイカト呼フ)如何ニモ御尤モデアリマスガ、花井君ヨリモ私ノ方ガ年ガ上デゴザイマス  
 カラ、經驗ニ富ンデ居ルト考ヘマス(花井卓藏君)刑ノ執行ヲ受ケタコトハナイカラ、其御經  
 験ハアリマス(呼フ)就キマシテハ私ノ考ヘ元來此案ト云フモノハドウ云フ理由デア  
 テ居ルカト云フト、其理由ガ大イニ間違テ居ルデアラウト思フ、ドウ云フコトデアアルカト云  
 へバ、或ハ刑ノ執行ヲ猶豫セヌト云フト、牢屋ノ中ハ犯罪ノ所謂增長セシムル學校デア  
 ル、若シ果シテ牢屋ト云フモノガ、サウ云フヤウナモノデゴザイマシタラバ、總テノ罪人ヲ  
 盡ク其牢ヘ御入レナサルノハ宜シクナイ、何ノ必要ヲテ罪惡ヲ增長スルヤウナ牢屋ニ、其  
 罪人ト云フモノヲ置クノデゴザイマセウ、サウ云フ事柄ハ甚ダ誤ラシク議論デアアルト、私ハ考  
 ヘル、決シテ獄屋ハサウ云フ不都合ノ所デアナイ、或ハソレレハ徳川時代デアアルト、總テ  
 制度ノ完備セザル時代ニ於テハ、サウ云フ弊害ガアツタカモ知レマセケレドモ、今日ハ獄  
 則ト云フモノニ依テ、所謂輕罪ヲ基トシ、又重罪ニ向テハ、移住ヲ基トシテテ居ルモノ  
 ノデアアルカラ、全然其效果ハ茲ニ見レベキモノガアルデアアルカラ、決シテ罪人が獄屋ニ往  
 タラ、罪惡ヲ增長スルナド、云フコトヲ以テ、刑ノ執行猶豫ナドト云フコトヲ御設ケニナル  
 ナラバ、是ハ誤ラシク議論デアアルト考ヘル、私ノ見ルトコロデハ、サウ云フ趣意ノモノデアハナカ  
 ラウト思フ、然ラバ何ガ基カト云フト、總テ人間ノ性質上、多少ノ過失ガアルモノデア  
 其意思ノ輕重如何ニ依テ、之ヲ恕スルト云フコトハ當然デアアル、借金取ガ一日ノ猶豫ヲ  
 致サズシテ、執達吏ヲ送ル、之ヲ人鬼ト稱シテ居ル、又一家ノ戶主ニシテ、自分ノ子  
 弟ノ中ニ過テアツタモノヲ、盡ク嚴罰ニ處スルト云へバ、嚴父ト云フカ知ラヌガ、慈父トハ  
 云ヒマス、總テ一家ノ問題ニ致セ、些少ノ過テガアツタモノ、之ヲ猶豫スルト云フノハ、  
 是ハ社會當然ノ有様デアアル、然ルニ此社會ナルモノガ、何ガタメニ輕少ノ犯罪人ヲモ少  
 シモ猶豫セズシテ、之ヲ刑罰ニ附センケレバナラヌカ、社會モ亦恕スベキハ恕シテヤルト云  
 フノハ、當然ノコトト思フ、其タメニ執行猶豫ト云フコトニ付イテハ、贊成スルデアアル、  
 又外國ニ於テハ多少成績ガ宜シトカ、白耳義ハ之ヲ實際ニ行ウテ見テ、大ニ成績ガ  
 宜シトカ云フ、學者先生ノ議論モゴザイマスガ、是モ亦甚ダ間違デアアル、司法權ノ作  
 用ヲ以テ、何カ化學的ノ效果ニ於ケルガ如ク、醫學的ノ問題ニ於ケルガ如ク、實際ニ  
 行ウテ見テ成績ガ善イトカ惡ルイトカ云フナラバ、ソレヨリ成績ノ良イノハ、總テノ罪人ヲ  
 盡ク首ヲ切テ御シマイニナツタ方ガ、社會ノタメニハ宜シケレドモ、サウハイカナイ、サ  
 ウハイカナイトシテ見レバ、免ニ角輕少ノ過テハ免スベキ理由ガアルカナイカト云フノガ、本  
 案ノ問題デアラウト思フ、成績ノ如何ニ拘ハラズ、罪惡增長學校ヘ入レルデモ何デモナ  
 イケレドモ、免ニ角過テタモノハ輕イ罪ニ於テハ是ヲ恕シテヤルト云フコトハ、如何ニモ相  
 當ノコトデアアルカラ、此案ニ贊成シタデアリマス、サウシテ見レバ、此適用ニ於テ、斯ウ  
 云フ不都合ガアル、ア、云フ不都合ガアルト云フ事柄ハ、私モ深く研究致シマシタラ、  
 イロノ、ゴザイマセウケレドモ、唯今申シマシタ通未ダ私ハ幼年ノモノデゴザイマシテ、(笑  
 聲起ル)是等ノコトニ付イテハ、實際ノ經驗ガゴザイマセヌ、又白耳義ノ成績如何ト云  
 フコトニ付イテモ、調ベタコトモゴザイマセヌ、見タコトモゴザイマセヌカラ、先ツ是等ノ問  
 題ニ付イテハ、委員會並ニ當局者ノ御審査ニ信用ヲ置カレテ、サウシテ原案通ニ御  
 贊成アラントコトヲ偏ニ願ヒタイ、唯今米田君ノ修正モアルシ、又望月君ノ修正モゴザイ  
 マスケレドモ、是トデモ後ニ至テドウ云フ結果ヲ見ルカ知レナイカラ、法律ハ何時デモ

差支ノ生ジタトキ 何時ト云フテオカシウゴザイマスガ、一年ニ一度ハ改正モ修正モ出  
 來ルデアアルカラ、先ツ不完全ナガラモ是ヲ以テ一年餘ノトコロハ御經驗ニナツタ方ガ然ル  
 ベキコト、考ヘマスカラ、私ハ委員會ノ案ニ贊成ヲ表シマス

○森肇君(六十二番) 政府ノ意向ヲ聞キタイ

○國井庫太君(二百五十九番) 政府委員ニ質問致シタイト思ヒマス、米田君ノ修  
 正ハ、誠ニ道理アル修正デアアル、若シ此修正ヲシテ可決セシムシモノト致シマスレバ、刑  
 法若クハ刑事訴訟法等ノ上ニ於キマシテ、何カ衝突ヲ致サユナ不都合ノ點ガアルカ  
 イカ、若シナイト致シマスレバ、無論之ハ贊成ヲシナケレバナラヌト思ヒマスカラ、政府ノ方  
 ノ御調ヲ承テ置キタイ

(政府委員石渡敏一君登壇)

○政府委員(石渡敏一君) 元田君カラ提出サレマシタ刑ノ執行猶豫ノ法律案此修  
 正ニナリマシタ分ニハ、政府ハ贊成ヲシマスノデ、ソレカラ米田君カラ今提出サレマシタ  
 コロノ修正案ニ付イテハ、唯今茲デ以テ拜見シタケケアツテ、ドウモ贊否ヲ決スルコトガ  
 出來ナイデアリマス、之ハ善イ惡ルイト云フコトハ、ドチラモ政府ハ云ハレヌノデゴザイマス

○荒川五郎君(三百四十六番) 刑ノ執行猶豫ト云フコトハ、是ハ大變ナ問題デア  
 ル、併シソレヲ輕微ナ犯罪ニミ適用スベキモノデアアルカラ否ヤト云フコトハ、是ハ大變ナ決  
 ノ問題デアアル、一年以上デモ、ソレ小人罪ナシ、玉ヲ抱イテ罪アル場合ニハ、或ハソレヲ  
 恕セシケレバナラヌト云フコトハ、ソレハ人罪ナシト云フコトガアル、ソレ等ノコトハ、マダ十  
 分ニ研究ガ足ラヌト思フ、或ハ祖父父母ニ對スル罪ノ如キ、一時ノ感情ノ激憤ノ  
 メニ、重罪ヲ犯シタトカ、或ハソレニ近イヤウナ犯罪ノ如キモノモ、是等ハ此刑ノ執行  
 猶豫ト云フコトヲ茲ニ立法致シマスレバ、ソレ等モ大ニ研究ノ材料ニ供スベキモノデア  
 ラウト思フ、ソレカラ……

○議長(松田正久君) 何か修正デアリマスカ

○荒川五郎君(三百四十六番) 修正デス——ソレカラ米田君其他ノ修正モ御尤ト  
 思ヒマス、此ヤウニ修正ガ續出シマスルヤウナ此案デゴザイマスカラ、私ハ更ニ一ノ意見ヲ  
 提出シテ、之ヲ委員會ニ再付託ヲセラレンコトヲ望ミマス

(採決々々ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 採決ヲ致シマス、先ツ第三條ノ花井君ノ修正説カラ決ヲ採リ  
 マス、第二條第二項中「決定」ヲ「判決」ニ改メルト云フ先決問題アリマス、此案ニ同  
 意者ハ起立ヲ望ミマス

起立者

○議長(松田正久君) 少數(「モット大キク御宣告願ヒマス」ト呼フ者アリ) 今ノ花  
 井卓藏君ノ文字ノ修正ニ贊成者ハ起立ヲ望ミマス

起立者 少數

○議長(松田正久君) 少數デアリマス、米田實君ノ第五條ノ修正、是ハ修正者モ演  
 説ヲサレマシタカラ、分ツテ居リマセウ

○議長(松田正久君) 然ラハ念ノタメニ朗讀致シマス

(朗讀ヲ願ヒマセウト呼フ者アリ)

(書記朗讀)

第五條 刑ノ言渡ニ對シテ上訴アリタル場合ニハ刑ノ執行猶豫ノ裁判ハ當然上級審  
 ニ繫屬ス

但上訴裁判所ニ於テ左ノ一ニ該當スル場合ニハ更ニ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ爲ス  
 ハシ

一 檢事ノ上訴ニシテ刑ノ執行猶豫ノ當否ニ關セサルトキ

ロハ、一年ナリ二年ナリノ實行ヲ見テ、然ル後始メテ判斷スベキ問題ガ多カラウト思フノ  
 アゴザイマス、ソレデサウ致シマスルト、稍、此適用ノ範圍ト云フモノヲ減縮致シテ來タノガ、  
 フレ等ノ心配カラ來タコトデアアルマイカト思ヒマスルカラ、適用上是ハ不都合デアラウトカ、  
 スウツフコトガ間違テナカラウト云フヤウナ事柄ハ、經驗モ何モノイ問題ニ付イテハ餘リ  
 豫言ナラヌ方ガ、却テ御爲筋デアアルマイカト考ヘルノデゴザイマス、ソレデ私ノ考ヘマス  
 ルニハ、(花井卓藏君)經驗ノ事柄ニ付イテハ餘リ議論ナラヌ方カ御爲筋デアアル  
 マイカト呼フ)如何ニモ御尤モデアリマスガ、花井君ヨリモ私ノ方ガ年ガ上デゴザイマス  
 カラ、經驗ニ富ンデ居ルト考ヘマス(花井卓藏君)刑ノ執行ヲ受ケタコトハナイカラ、其御經  
 験ハアリマス(呼フ)就キマシテハ私ノ考ヘ元來此案ト云フモノハドウ云フ理由デア  
 テ居ルカト云フト、其理由ガ大イニ間違テ居ルデアラウト思フ、ドウ云フコトデアアルカト云  
 へバ、或ハ刑ノ執行ヲ猶豫セヌト云フト、牢屋ノ中ハ犯罪ノ所謂增長セシムル學校デア  
 ル、若シ果シテ牢屋ト云フモノガ、サウ云フヤウナモノデゴザイマシタラバ、總テノ罪人ヲ  
 盡ク其牢ヘ御入レナサルノハ宜シクナイ、何ノ必要ヲテ罪惡ヲ增長スルヤウナ牢屋ニ、其  
 罪人ト云フモノヲ置クノデゴザイマセウ、サウ云フ事柄ハ甚ダ誤ラシク議論デアアルト、私ハ考  
 ヘル、決シテ獄屋ハサウ云フ不都合ノ所デアナイ、或ハソレレハ徳川時代デアアルト、總テ  
 制度ノ完備セザル時代ニ於テハ、サウ云フ弊害ガアツタカモ知レマセケレドモ、今日ハ獄  
 則ト云フモノニ依テ、所謂輕罪ヲ基トシ、又重罪ニ向テハ、移住ヲ基トシテテ居ルモノ  
 ノデアアルカラ、全然其效果ハ茲ニ見レベキモノガアルデアアルカラ、決シテ罪人が獄屋ニ往  
 タラ、罪惡ヲ增長スルナド、云フコトヲ以テ、刑ノ執行猶豫ナドト云フコトヲ御設ケニナル  
 ナラバ、是ハ誤ラシク議論デアアルト考ヘル、私ノ見ルトコロデハ、サウ云フ趣意ノモノデアハナカ  
 ラウト思フ、然ラバ何ガ基カト云フト、總テ人間ノ性質上、多少ノ過失ガアルモノデア  
 其意思ノ輕重如何ニ依テ、之ヲ恕スルト云フコトハ當然デアアル、借金取ガ一日ノ猶豫ヲ  
 致サズシテ、執達吏ヲ送ル、之ヲ人鬼ト稱シテ居ル、又一家ノ戶主ニシテ、自分ノ子  
 弟ノ中ニ過テアツタモノヲ、盡ク嚴罰ニ處スルト云へバ、嚴父ト云フカ知ラヌガ、慈父トハ  
 云ヒマス、總テ一家ノ問題ニ致セ、些少ノ過テガアツタモノ、之ヲ猶豫スルト云フノハ、  
 是ハ社會當然ノ有様デアアル、然ルニ此社會ナルモノガ、何ガタメニ輕少ノ犯罪人ヲモ少  
 シモ猶豫セズシテ、之ヲ刑罰ニ附センケレバナラヌカ、社會モ亦恕スベキハ恕シテヤルト云  
 フノハ、當然ノコトト思フ、其タメニ執行猶豫ト云フコトニ付イテハ、贊成スルデアアル、  
 又外國ニ於テハ多少成績ガ宜シトカ、白耳義ハ之ヲ實際ニ行ウテ見テ、大ニ成績ガ  
 宜シトカ云フ、學者先生ノ議論モゴザイマスガ、是モ亦甚ダ間違デアアル、司法權ノ作  
 用ヲ以テ、何カ化學的ノ效果ニ於ケルガ如ク、醫學的ノ問題ニ於ケルガ如ク、實際ニ  
 行ウテ見テ成績ガ善イトカ惡ルイトカ云フナラバ、ソレヨリ成績ノ良イノハ、總テノ罪人ヲ  
 盡ク首ヲ切テ御シマイニナツタ方ガ、社會ノタメニハ宜シケレドモ、サウハイカナイ、サ  
 ウハイカナイトシテ見レバ、免ニ角輕少ノ過テハ免スベキ理由ガアルカナイカト云フノガ、本  
 案ノ問題デアラウト思フ、成績ノ如何ニ拘ハラズ、罪惡增長學校ヘ入レルデモ何デモナ  
 イケレドモ、免ニ角過テタモノハ輕イ罪ニ於テハ是ヲ恕シテヤルト云フコトハ、如何ニモ相  
 當ノコトデアアルカラ、此案ニ贊成シタデアリマス、サウシテ見レバ、此適用ニ於テ、斯ウ  
 云フ不都合ガアル、ア、云フ不都合ガアルト云フ事柄ハ、私モ深く研究致シマシタラ、  
 イロノ、ゴザイマセウケレドモ、唯今申シマシタ通未ダ私ハ幼年ノモノデゴザイマシテ、(笑  
 聲起ル)是等ノコトニ付イテハ、實際ノ經驗ガゴザイマセヌ、又白耳義ノ成績如何ト云  
 フコトニ付イテモ、調ベタコトモゴザイマセヌ、見タコトモゴザイマセヌカラ、先ツ是等ノ問  
 題ニ付イテハ、委員會並ニ當局者ノ御審査ニ信用ヲ置カレテ、サウシテ原案通ニ御  
 贊成アラントコトヲ偏ニ願ヒタイ、唯今米田君ノ修正モアルシ、又望月君ノ修正モゴザイ  
 マスケレドモ、是トデモ後ニ至テドウ云フ結果ヲ見ルカ知レナイカラ、法律ハ何時デモ

一 被告人ノ上訴カ正當ナルトキ  
〔贊成〕又〔採決〕ト呼フ者アリ  
○議長(松田正久君) 今朝讀ヲ致シタル米田實君ノ修正説ノ決ヲ採リマス、此修正  
案ニ同意者ノ起立ヲ願ヒマス  
起立者 少數

○議長(松田正久君) 少數デアリマスカラ、否決サレマス、望月長夫君ヨリ第三條ノ  
二項三項削除ノ説ガアリマスカラ、之ニ付イテ決ヲ採リマスルガ、是ハ原案ヲ主トシテ採  
リマス、第三條ノ二項三項、委員會ノ修正説、即チ原案デアリマスルガ、之ニ同意者ノ  
起立ヲ願ヒマス  
起立者 多數

○議長(松田正久君) 多數デアリマスカラ、委員長ノ報告ガ採用サレマスル、其他ハ  
委員長ノ報告通、御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ、委員長ノ報告通決定ヲ致シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ三讀會ヲ開イテ、斯ウ云フヤカマシイ問題ハ……  
○議長(松田正久君) 直チニ第三讀會ヲ開クノ動議ニ、御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ直チニ第三讀會ヲ開キマス

### 刑ノ執行猶豫及免除ニ關スル法律案

### 第二讀會

○恆松隆慶君(百五十九番) 二讀會通異議ナシ  
○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ、二讀會通ニ確定採用サレマスル

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○議長(松田正久君) 議事日程ノ第十五民事訴訟法中改正法律案ハ、提出者ヨ  
リ議事ノ延期ヲ請求サレマシタガ、延期致スコトニ御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ本案ハ延期ヲ決シマス——此場合ニ於テ御  
諮リヲシマスガ、擔保付社債信託法案ノ委員長鳩山和夫君ヨリ、本案ノ審査ノ報告  
ヲ、此場合ニ致シタイト云フコトデアリマスカラ、之ヲ許シマス——鳩山和夫君

### 擔保付社債信託法案(政府提出貴族院送) 第一讀會(續)(委員長報告)

〔鳩山和夫君登壇〕

○鳩山和夫君(二百二十九番) 諸君、擔保付社債信託法案ハ、大分大部ナモノデア  
リマシテ、而シテ貴族院ニ於テ修正ヲ加ヘラレタル點ガアリマス、且本院ノ委員會ニ於テ、  
又僅カナ點デアリマスルガ、修正ヲ加ヘラレタル點ガアリマス、會期ガ切迫シテ居ルシ、  
貴族院ニ之ヲ回付スル必要ガアリマスカラ、此際ニ報告ヲシテ方ガ便宜デアルト考ヘテ、  
唯今許可ヲ得テ次第アル、全編ハ豫テ諸君ノ御手許ニ廻シテ居ル通、百二十條カラ成  
立テ居ルコトコソ、可ナリ大部ノ法律案アル、而シテ委員會ハ昨日一回、今日午前  
午後二回、合セテ三回開イテ、委員ハ頗ル鄭重ニ審査ヲ致シマシタ、其結果ヲ御  
報告スル、貴族院ニ於テ大分原案ニ對スル修正ガアリマスケドモ、多クハ字句ノ修  
正アル、實質ノ上ニ於ケル修正ト認メ得ベキハ、第五十二條、此五十二條ニ於キマシ  
テ、或特別ノ決議ヲナストシキニ於テ、決議ノ方法ガ規定シテ居ル、原案ニ依リマスル  
ト、總議決權ノ過半数カ行使セラルル場合ト云フ規定ニ於テ居ル、然ルニ貴族院ニ於  
テハ、之ヲ總議決權者ノ半数以上ニシテ社債總額ノ半数以上ニ當ル社債權者カ議  
決權ヲ行使シタル場合ト修正シタルアル、要スルニ原案ノ總議決權ノ過半数ト云フ  
アル、議決權ハ其債券ノ額ニ依ルモノデアアルカラ、其債券ノ額ノミニ依ラズシテ、債權者

ト云フモノヲ、茲ニ入レテ來タラデアル、此貴族院ノ修正ハ、趣意ニ於テ宜イト、委員會  
ニ於テハ決定シタルアル、唯貴族院ノ使ヒマシタ文字デアリマスル、無記名債權者ノ  
場合ニ、甚ダ困ルノアル、記名債權者ノミナルナラバ、貴族院ノ修正通テ差支アリ  
マセヌカ、此債券ハ無記名モ大分アルニ相違ナイ、其時ニハ債權者ノ半数ト云フコト  
ニシテ置イテハ、所謂債權者ナレドモ、募集方法ナドニモ、隨分方ガ宜イト云フ趣意  
カラ、委員文字ハ於テ左ノ通ニ修正ヲ加ヘタルアル、即チ「決議」ハト云フ次ニ「記名  
債券ヲ有スル者及第二項ノ決議ニ依リ債券ヲ行使シタル者ノ半数以上ニシテ社債總  
額ノ半数以上ニ當ル社債權者カ議決權ヲ行使シタル場合」斯ウ讀ム、斯ウスル、記名  
債券ヲ有スル者、ソレカラ無記名債券ヲ——此第二項ニアル通ニ其無記名債券ヲ供  
託ノ手續ヲ行ツタル者、此二ツノ者ノ半数以上ガ議決權ヲ行使シタル場合、大體ノ精  
神ニ於キマシテハ、貴族院ノ修正ト似テ居リマスルガ、前ニ話シタ通、無記名債權者  
ノ場合ハ、第二項ノ規定ニ依テ供託シタルト云フコトヲ、明カニ掲ゲタケルコトデア  
ル、他ハ總貴族院ノ修正ノアル部分ハ、其修正通、貴族院ノ修正ヲ加ヘザル部分ハ、原  
案ノ通ニ、委員會ニ於テハ決定致シマシタ、此報告ヲナスト同時ニ、茲ニ一ツ動議ヲ起  
シテ、日程ヲ變更シテ、直チニ之ヲ議サレンコトヲ希望致シマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ  
○議長(松田正久君) 日程ヲ變更シテ本案ヲ直チニ議スルコトニ御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、擔保付社債發行案ノ第一讀會ヲ繼續致  
シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ三讀會ヲ開クコトヲ希望致シマス

○議長(松田正久君) 直チニ三讀會ヲ開クコトヲ云フ動議ニ御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ直チニ三讀會ヲ開キ全部ヲ議ニ供シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 委員長ノ報告通御異議アリマセヌカ  
○議長(松田正久君) 委員長ノ報告通御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ委員長ノ報告通決定致シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ三讀會ヲ開イテ確定セラレンコトヲ望ミマス  
○議長(松田正久君) 直チニ三讀會ヲ開クコトヲ云フ動議ニ御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、直チニ第三讀會ヲ開キマス

### 擔保付社債信託法案 第三讀會

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○議長(松田正久君) 第二讀會ニ於テ決定通り御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、本案ハ確定採用サレマスル、茲ニ御諮リヲ  
致シマスガ、國籍法中改正法律案ノ委員會ヨリ開會致シタイト云フコトデアリマ  
スガ、許シテ御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 然ラバ許スコトニ致シマス、議事日程第十六、民事訴訟法中  
改正案ノ第一讀會ヲ繼續シ委員長ヨリ報告ヲ致シマス——米田武八郎君

第十六 民事訴訟法中改正法律案(宮古 第一讀會ノ續(委員長 啓三郎君外二名提出))

○米田武八郎君(九十八番) 簡單ナ問題デゴザイマスカラ、是ヨリ報告ヲ致シマス、委員會ハ種々質問應(答)ヲ致シテ、説カニツキ岐レマシテゴザイマス、其一ハ原案ヲ贊成、今一ハ之ヲ否決スルコトニ云フ、意見デゴザイマス、之ヲ否決スルト云フ理由ハ、本案ニ付託シテアリマス、理由ト大同小異デゴザイマス、之ヲ否決スルト云フ理由ハ、改正案、如クスルトキハ、謂ハレナキ苦情ヲ申立テ、裁判ヲ掩滞スルト云フ嫌ガアル、故ニ現行法ノ如クニシテ可ナリト、斯ウニ云フ意味ヲ以テ反對ヲセラレマシタ、サウシテ採決ノ場合ニナリマシテ、一名ニ對スル二名ノ多數ヲ以テ、原案ヲ可決シマシタ、然ルレトコロ政府於キマシテハ、本案ニ對シテ同意ヲ表スルコトガ出來ナイト云フコトデゴザイマス、其重モナル理由ハ、改正案ハ、抗告ダケノコトデアル、眞ニ輕微ノ事柄デアラフテ之ヲ高級ノ裁判所マデ上告スルト云フ必要ガナイト云フコトデゴザイマス

○榎松隆慶君(百五十九番) 是ハ委員長ノ報告通異議アリマセヌ

○議長(松田正久君) 直チニ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○議長(松田正久君) 御異議アリマセヌレバ、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ望ミマス

起立者 少數

○議長(松田正久君) 少數デアリマス、第二讀會ヲ開カザルコトニ決シマス、議事日程第十七第十八ハ、同一委員ニ付託サレテアリマスカラ、委員長ヨリ併セテ報告ヲ致シマス

第十七 屠場法案(川島瀧藏君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長 啓三郎君)

第十八 獸畜市場法案(川島瀧藏君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長 啓三郎君)

○中西光三郎君(七十九番) 是ヨリ屠場法案ノ委員會ノ經過ト結果ヲ御報告ニ及ビマス、此屠場法案ハ前後三回委員會ヲ開キマシテゴザイマスガ、遂ニ此案ハ否決ノ運命ニ遭遇シマシタ、併シ此案ノ實體ヲ否認シタノデハゴザイマセヌ、斯ノ如キ方法ヲ設クルノ必要ハアルデアラウガ、先ツ今日ノ場合ハ延バシテ置クガ宜カラウ、他日斯様ナ法ヲ設クルノ必要モアルデアラウト云フ意味デ、此案ヲ否決致シマシタ、要スルニ延期ノ趣旨ヲ以テ否決ヲ致シマシタ、モウ一ツ獸畜市場法案、此方モ隨意斯様ナ法ヲ設クル必要アリト認メマシタノデゴザイマスガ、今俄ニ之ヲ設クル必要如何ト云フ懸念モゴザイマス、又是ニ付イテハ政府委員ハドウツモウ暫ク延バシテ置イテ下サレ、サウスレバ政府モ十分ニ調査ヲ遂ゲテ、政府ヨリ案ヲ提出スルヤウニ致シタイト云フ希望モゴザイマシテ、遂ニ此案ハ一名ノ外、提出者一名ノ外、總テ否決ノコトニナリマシタ譯デゴザイマス、此段御報告致シマス

○福井三郎君(三百一十一番) 質問ガアリマス、政府委員ニ一ツ質問ガシタイノデアリマス、今委員長ノ御報告ハ、甚ダ聴取リ兼ネマシタガ、委員會中ノ經過ヲ各委員ヨリ承ハレバ、贊否ハ正半數デアラフテ、委員長ノ決スルコトニ依リテ、延期ノ趣意ヲ以テ否決セラレタト云フコトニ承テ、ウレデ今開クトコロニ依レバ、政府ハ此法案ノ制定ヲ必要トスル、民間今日ノ事情ニ見ルトコロガアテ、此案ノ制定ヲ必要トシテ居テ、委員會ニ於テハ頗ル贊成ヲシテ居ルト云フコトデアリマス、果シテサウデアラバ否ヤ、政府ノ此案ニ對スル意向ヲ承ハリタイノデゴザイマス、幸ヒ政府委員ノ御顔ガ見ユルヤウデアリマスカラ、御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(窪田静太郎君) 屠場法案ニ付キマシテ、御答致シマス、屠場法案ハ

大體ニ於キマシテハ本案ヲ政府ハ贊成ヲ致シテ居リマス、但各條ニ付キマシテハ、修正ノ意見ヲ持ッテ居リマス次第デアリマス

○議長(松田正久君) 先ア議事日程第十七、屠場法案ノ第一讀會ヲ繼續致シマス

第十七 屠場法案(川島瀧藏君外一名提出) 第一讀會ノ續

○福井三郎君(三百一十一番) 本案ニ付イテ意見ガゴザイマス、此席カラ簡單ニ述ベマス、本案ハ政府委員ノ今ノ説明ニ依ルモ、同意デアルト云フコトデアアル、ソコデ現在ノ屠場ト云フモノ、有様ヲ見マスルト云フト、何レモ甚シキ弊風ニ陥リテ居ルノデアアル、極ク簡單ニ意見ヲ述ベマスガ、第一公衆衛生トシテ缺點トコロアルハ、諸君ガ朝晩見テ御承知デゴザイマセウカラシテ、詳シク御話ハ致シマセヌ、ソレカラ又一私人ニ之ヲ許サレテ獨占シテ居ル弊風ト云フモノハ、隨分容易ナラザル程度ニ達シテ居ルト云フコトモ、之ハクドノ一例ヲ擧ゲテ云ビマス、賢明ナル諸君ハ能ク知ッテ居ラザルコトデアラウト思フ、又東京ナドノ一例ヲ擧ゲテ云ビマス、此屠場ト云フモノニ付イテハ、土地ヲ指定シテ、廣イ所ガ外ニ於テ三箇所指定シテアルニ拘ハラズ、一箇所ノ指定地ハ、僅ニ一箇所ハ三百坪、一箇所ハ僅ニ二百坪、通計五百坪シカナイ、使ハナイ方ハソレガタメニケチテ附ケラレル、御前ノ土地ハ火葬場ヲ持ッテ往ク、御前ノ土地ハハ牛殺場ヲ持ッテ往クト云フケチテ付ケラレル譯ニナツタ、ソコデ土地ノ價ノ下落ハ固ヨリ甚シキハ、其地方ガ繁盛セントスルニ拘ハラズ、ソレアルガタメニ之ヲ避ケルト云フ傾向ガアルカラ、地主ハ頗ル迷惑ヲナシテ居ルト云フコトデアアル、而シテ屠場ノ現在アル所ハ、延期ニ延期ヲ重ネテ容易ニ指定地ニハ移轉シテハ來ナイ、即チ所謂許婚セラレタ見テ、惡ルイ許婚セラレタメニ如何セント云フコトデアアル、何レノ方面カラ見テモ、弊風ダケ弊害ダケラレト云ハナケレバナラズ、此場合ニ方々屠場法案ト云フモノヲ制定シテ、弊風ヲ矯メ、又其上保護獎勵ヲ加ヘル必要ガアルカラ、此法律ヲ行フハ、目下ノ必要デアルト思ヒマス、本員ハ餘リ澤山ノ法律ヲ出スコトハ好ミマセヌケレドモ、必要ナル法律ハ又已マラ得ザルトコロデゴザイマス、委員會モ全ク無用ト云フコトデアラナイ、延期ト云フ趣意デアラト申シマス、ドウカ此場合原案ニ復活セラレンコトヲ希望スルノデゴザイマス、茲ニ意見ヲ述ベテ置キマス

○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、屠場法案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ望ミマス

起立者 少數

○議長(松田正久君) 少數デアリマスカラ、本案ハ第二讀會ヲ開カザルコトニ決シマス

○議長(松田正久君) 獸畜市場法案ノ第一讀會ヲ繼續致シマス

第十七 屠場法案(川島瀧藏君外一名提出) 第一讀會ノ續

○福井三郎君(三百一十一番) 本案ニ付イテ意見ガゴザイマス、此席カラ簡單ニ述ベマス、本案ハ政府委員ノ今ノ説明ニ依ルモ、同意デアルト云フコトデアアル、ソコデ現在ノ屠場ト云フモノ、有様ヲ見マスルト云フト、何レモ甚シキ弊風ニ陥リテ居ルノデアアル、極ク簡單ニ意見ヲ述ベマスガ、第一公衆衛生トシテ缺點トコロアルハ、諸君ガ朝晩見テ御承知デゴザイマセウカラシテ、詳シク御話ハ致シマセヌ、ソレカラ又一私人ニ之ヲ許サレテ獨占シテ居ル弊風ト云フモノハ、隨分容易ナラザル程度ニ達シテ居ルト云フコトモ、之ハクドノ一例ヲ擧ゲテ云ビマス、賢明ナル諸君ハ能ク知ッテ居ラザルコトデアラウト思フ、又東京ナドノ一例ヲ擧ゲテ云ビマス、此屠場ト云フモノニ付イテハ、土地ヲ指定シテ、廣イ所ガ外ニ於テ三箇所指定シテアルニ拘ハラズ、一箇所ノ指定地ハ、僅ニ一箇所ハ三百坪、一箇所ハ僅ニ二百坪、通計五百坪シカナイ、使ハナイ方ハソレガタメニケチテ附ケラレル、御前ノ土地ハ火葬場ヲ持ッテ往ク、御前ノ土地ハハ牛殺場ヲ持ッテ往クト云フケチテ付ケラレル譯ニナツタ、ソコデ土地ノ價ノ下落ハ固ヨリ甚シキハ、其地方ガ繁盛セントスルニ拘ハラズ、ソレアルガタメニ之ヲ避ケルト云フ傾向ガアルカラ、地主ハ頗ル迷惑ヲナシテ居ルト云フコトデアアル、而シテ屠場ノ現在アル所ハ、延期ニ延期ヲ重ネテ容易ニ指定地ニハ移轉シテハ來ナイ、即チ所謂許婚セラレタ見テ、惡ルイ許婚セラレタメニ如何セント云フコトデアアル、何レノ方面カラ見テモ、弊風ダケ弊害ダケラレト云ハナケレバナラズ、此場合ニ方々屠場法案ト云フモノヲ制定シテ、弊風ヲ矯メ、又其上保護獎勵ヲ加ヘル必要ガアルカラ、此法律ヲ行フハ、目下ノ必要デアルト思ヒマス、本員ハ餘リ澤山ノ法律ヲ出スコトハ好ミマセヌケレドモ、必要ナル法律ハ又已マラ得ザルトコロデゴザイマス、委員會モ全ク無用ト云フコトデアラナイ、延期ト云フ趣意デアラト申シマス、ドウカ此場合原案ニ復活セラレンコトヲ希望スルノデゴザイマス、茲ニ意見ヲ述ベテ置キマス

○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、屠場法案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ望ミマス

起立者 少數

○議長(松田正久君) 少數デアリマスカラ、本案ハ第二讀會ヲ開カザルコトニ決シマス

○議長(松田正久君) 獸畜市場法案ノ第一讀會ヲ繼續致シマス

第十八 獸畜市場法案(川島瀧藏君外一名提出) 第一讀會ノ續

○川島瀧藏君(二百十番) 本案ハ政府ハ大體ニ於テ贊成デアアルガ、未ダ以テ十分ナル材料ヲ蒐集スルコトガ出來ナイカラ、是非暫ク延バシテ吳レイト云フコトデアリマス、ソレ故ニ左様ナコトデアラナラバ、私モ今回ハ撤回ヲ致シマシテ、來期二十分ナル提案ヲ政府ニ望ムノデアリマス

○議長(松田正久君) 本案ハ提出者タル 川島君ヨリ撤回ヲ申出テラレマシタガ、撤回ニ御異議アリマセヌカ

○議長(松田正久君) 然ラバ本案ハ撤回ヲ許スコトニ致シマス

○議長(松田正久君) 議事日程第十

九、煙草專賣法附則中改正法律案ハ、提出者ヨリ 議事ノ延期ヲ申出ニナリマシタ、許シテ御異議アリマセヌカ

○議長(松田正久君) 撤回ハ許スベカラズ

○議長(松田正久君) 議事日程第十

九、煙草專賣法附則中改正法律案ハ、提出者ヨリ 議事ノ延期ヲ申出ニナリマシタ、許シテ御異議アリマセヌカ

○議長(松田正久君) 議事日程第十

九、煙草專賣法附則中改正法律案ハ、提出者ヨリ 議事ノ延期ヲ申出ニナリマシタ、許シテ御異議アリマセヌカ

○議長(松田正久君) 議事日程第十

九、煙草專賣法附則中改正法律案ハ、提出者ヨリ 議事ノ延期ヲ申出ニナリマシタ、許シテ御異議アリマセヌカ

○議長(松田正久君) 議事日程第十

○議長(松田正久君) 延期ヲ許サレテハ如何デアリマス

○議長(松田正久君) 反對ガアリマスカラ決ヲ採リマス——本案ノ議事延期ニ賛成者ハ起立ヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 少數 少數デアリマス、然レバ本案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス

第十九 煙草專賣法附則中改正法律案(宮部襄君提出) 第一讀會

○立川雲平君(七十五番) 既ニ討論ニ上ツタノデゴザイマスカ

○議長(松田正久君) 上テ居リマス、第一讀會ガ開カレテアリマス

○立川雲平君(七十五番) 贊成者ノ演說ハアリマセヌカ、私ハ反對ノ演說ヲ致シタ

○議長(松田正久君) 發言ニテ呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 簡單デアリマス此煙草專賣法附則中改正法律案、之ハ三月三十一日ノ期限ヲ六月三十日マデニ延期シタイ、何ノタメニ之ヲ延期スル、國家ハ既ニツレト準備ヲシテ、ソレト役人ヲ任命シテ十分ノ準備ヲ整ヘテ居ル、然ルニ何ガ必要ガアテ延バズ、開クトコロニ依レバ彼ノ漫リニ前途ノコトヲ考ヘテ漫リニ其筋ニ向テ請願ヲシテ、葉煙草ヲ澤山ニ拂下ゲテ賣ツテ、品ヲ持ッテ居ル仲買ガ迷惑ヲシテ居ル、ソレハ當業者デアルナラバ、剩ツタ葉煙草ハ政府ハ相當ノ代價ヲ買上グルコトニナツテ居ル、何ヲ若シテ延期ヲスル、世間種々ナル風評アルノハ、實ニ私共開クニ忍バレヌ、斯ノ如キ案ハ速ニ否決サレシコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 本案ノ決ヲ採リマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 起立者ナキニヨリ本案ハ否決サレマシタ——議事日程第二十郡役所廢止ニ關スル建議案ハ、提出者ヨリ議事ノ延期ヲ申出ニナリマシタ許スヤ否ヤノ決ヲ採リマス

○議長(松田正久君) 御異議アリマセヌカ

○議長(松田正久君) 御異議ガアレバ決ヲ採リマス

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

ニル關係ノ政府委員ニ詳シク質問ヲ致シマシテゴザイマス、而シテ提出者ノ趣意ハ今日航海補助其他ノタメニ國庫ハ八百八十一萬八千七百七十二圓ト云フ大金ヲ費消シテ居ルノデゴザイマス、即チ少カラザル金額デゴザイマスレバ、或ハ削リ、或ハ廢シ、此際大ニ改良セバナラヌト云フ補助金額ノザイマス、其精神ニ於テハ、御同僚ニ甚テ同意スルノデアリマスケレドモ、彼ノ補助金額ノハソレト云フ、國庫ノ負擔ニ屬シテ居ルモノデゴザイマシタモノモ、七項程ゴザイマスノデ、抑モ今日ノ法律ハ、明治二十七八年ノ後ニ決議シタモノモ、更ニ國運ノ大發展ニ於テ新ニ、國運ガ俄ニ勃興シタ時ニ乘ジテ、制定シタモノデゴザイマス、其結果甚テ面白カラザルトコロモゴザイマシタガ、此日露戰争ノ終局ノ後ニハ、更ニ國運ノ大發展ニ付イテ斯ノ如キ法律ハ根柢ヨリ改ムベキ折ガ來マセウカラ、其時ニ先ツ讓ルト致シマシテ、此度ハ提出者ノ主義ハ諒トスルモ、否決スルト云フコトニナリマシテ、十八人中三人ノ反對ノ外、殆ド滿場一致ヲ以テ否決ニナリマシテゴザイマス、此段御報告致シマス

○議長(松田正久君) 此建議案ガ出テ居リマス、提出者石谷傳四郎君、說明ガアリマス

○議長(松田正久君) 說明ガアレバ登壇ヲ求メマス

○贊成々々又ハ「否決々々」ト呼フ者アリ  
○議長(松田正久君) 然ラバ採決ヲ致シマセウ、石谷傳四郎君ヨリ提出サレタ修正案ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ望ミマス  
起立者 少數

○議長(松田正久君) 少數デアリマス、修正説ハ否決致シマシタ  
○近江谷榮次君(三百五番) 議長——議長——簡單ニ辯ベシス  
〔採決々々〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 近江谷榮次君  
〔採決々々〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 採決ハ修正案ヲ採決ヲ致シマシタ  
〔近江谷榮次君登壇〕

○近江谷榮次君(三百五番) 唯今委員長ノ御報告ニ依ッテ、私ハ聊カ意ヲ得テ居リマスルガ、此補助金ノ多イト云フコトハ、委員全體ニ認メテ居リマス、併ナガラ此反對スルヤウデアリマス、私ハ此國家ノ大事ナ場合ニ於テ、國家ノ必要ノ上ニ於テ當業者トノ間ニ妥協致シマスレバ、此非常ナル此金ヲ、徒ラニ一二ノ會社ニ壟斷サレコトハナト、斯ウ云フ考ヲ持ッテ、テゴザイマス、即チ此儘ニシテ置イタルバ、我國庫ノ金ハ二千二百萬圓バカリ、唯諸ラ所ニ抛タケレバ、ナラヌト云フ結果ニナルバ、我國庫ノ金ハ二千二百萬圓デアリマス、之ハ決シテ輕キニ諸君ガ決スベキ問題デナカラウト思ッテ居リマス、即チ委員會ニ於テハ如何ニモ三四回モ開キマシタ、開キマシタケレドモ、此討論スルトコロハ、十分ヨリ外ナイデアリマス、如何ニモ我輩ノ議論ニ贊成スル如ク、反對スルガ如ク、遂ニ此案ト云フモノハ、有耶無耶ノ間ニ、否決サレタ見ルヨリカ外、仕方ガナイ、本員ハ此國家ノ大事ナ問題ニ、此無用ナ金ヲ費スコトハ、許サヌデアリマス、ノミナラス、本員ノ考マデハ、徒ラニ消極的ニ此金額ヲ減ラシテシマフト云フデアリマセウ、此戦後ノ經營トシテ、航海ガ益、擴張シナケレバ、ナラヌト云フコトハ、諸君モ皆御認メニナッテ居リマス、此非常ナル場合ニ於テ、根本ノ整理ヲシテシマフコトハ、斯ウ云フコトハ、本員ノ建議案ノ大體ノ趣旨デアリマス、今日ヨリ推イテ他ニナナイデアリマス、即チ將來我日本ノ勢力範圍ト共ニ、此航路擴張ハ、今日ヨリ幾層倍ニシナケレバ、然ルニ此國家ガ航海補助ニ對シテ、サナキダニ經濟困難デアル國家ガ、此八百八十萬以外ニ擴張スルトコトハ、出來マスマイ、諸君ハ御承知デゴザイマセウガ、戰時船舶補助法案ト云フモノガ出テ居リマス、是ハ戰時ニ對シテ、格別ノ效能ガナカッタ結果、其反對シテ此義勇艦隊ト云フモノガ、此議場ニ顯ハレテ來タデアリマセウガ、此場合ニ於テ、如何ナル處カラ、此金額ヲ支出スルカ、國家ガソレトモ餘裕ガアルカ、此不必要ナル金ヲ無駄ニ使ッテ置イタカ、斯ウ云フ有事ノ場合ニ當ッテモ、巡洋艦ハ益、多クシナケレバ、ナラヌト云フ場合ニ於テモ、サテ如何ノ事ノ處カラ金ヲ取ッテ來ルカ、是ハ本員ガ申サセマテ、諸君ハ御承知デアル、然ルニ唯區々タル事情ニ關シテ、是ハ國家ノ契約デアリカライカ、ト云フヤウナ、單純ナル理由ヲ以テ、此必要ナル金ヲ一ニ會社ニ與ヘルト云フコトハ、決シテ許サヌコト、思ヒマス、(簡單々々)ノ聲起ル、諸君、本員ハ必シモ辯ヲ好ムノデアナイ、併ナガラ此ノ如キ大事ナ事柄ニ對シテ、此ノ如キ國家ノ重大問題ニ對シテハ、慎重ニ之ヲ審議セラレントコトヲ、本員ハ望ムデアリマス、激烈ナル言ヲ以テ、諸君ノ感情ニ訴ヘテ、此案ノ通過ヲ望ムデアリマセウ、此案ハ分リ切ッタ案デアリマス、分リ切ッタ案デアアルノヲ此儘否決スルト云フコトハ、如何ニモ残念ニ思フデアリマス、本員ハ若シ此案ガ否決セラレタラバ、本員ハ十分天下ノ輿論ニ訴ヘナケレバ、ナラヌ、(ソレハヤリ給ヘ)又其積リテ簡單ニヤリ給ヘト呼フ者アリ(簡單々々)ノ聲起ル、能ク聽給ヘ、此大問題ヲ聽給ヘト委員會デ殘コトク言給ヘト呼フ者アリ、本員ハ此問題ガ、不幸ニシテ否決サレマシテモ、必ス此本員ノ誠意ハ、諸君ガ諒トセラレテ、本員ノ考ノ通り、此無用ノ金ヲ速ニ減シテ、サウシテ有要ナル處ヘ、用其テ往クト云フコトヲ、深ク諸君ニ

望ム所デアリマス(「分リマシタ」ト呼フ者アリ)本員ハ自分ノ云ヒタイコトヲ、幾ト千万分ノ一ヲ盡スコトガ出來ナイ(「言給ヘ」ト呼フ者アリ)唯諸君ガ虚心坦懐ニ、此問題ヲ討議セラレントコトヲ望ミマス、ドウカ滿場一致ヲ以テ、此原案ヲ通過セラレントコトヲ望ミマス  
〔採決々々〕ノ聲起ル

○議長(松田正久君) 橋本久太郎君ヨリ通告ニナッテ居リマス——橋本久太郎君  
〔橋本久太郎君登壇〕

○橋本久太郎君(三十一番) 極メテ簡單ニ一言反對致シテ置キマスガ、唯今提出者カラ續々述ベラレマシタガ、アノ通り幾ノ理由ノナイ提案デゴザイマス、吾モハ數日掛ッテ此案ヲ、慎重ニ調査致シマシタガ、併ナガラ提出者ハ數千萬言ノ言葉ヲ費シマシタ、初メ此案ヲ、幾トニ述ベラレ、尙又委員會ニ於テ述ベラレマシタケレドモ、如何セン、御氣ノ毒ナガラ、幾ト同實ニ空漢極ッタ提案デゴザイマス、諸君、御承知ノ通り、航海獎勵法ト云フモノハ、現在成立ッテ居リマスガ、是ハ御承知ノ通り、二十八年ノ期限ニナッテ居リマス、之ヲ今日改メマシト云フハ、實ニ非常ナ既得權ニ妨害ヲ與ヘテ、トモ出來ヌコトデアリマス、又諸君御承知ノ通り、航海補助法ニ於キマシテ、ソレノ期限ガ附シテアリマスカラ、其期限ノ到著セヌ間ニハ、是亦如何トモ出來ヌデアリマス、其故ニ吾、ニ於キマシテハ、提出者ノ精神ニ於テハ、諒トスルトコロモ、中ニハゴザイマスケレドモ、今日ニ於テハ、此案ニ付イテ如何トモスベカラヌ一ハ法律デアル、一ハ又政府ノ約束デアル、義務ニ屬スルモノバカリデアリマスカラ、時期ガ到著シタラバ、或ハ提出者ノ御考ヘガ、此議場ニ成立ツカモ知レマセウガ、今日ニ於テハ、已ムヲ得ヌ此案ハ、否決スル外ナイト思ヒマス、他ハ申シマセウ、諸君ガ十分ニ御了解ノコトデアリマス、簡單ニ此一言ヲ以テ反對致シテ置キマス

○議長(松田正久君) 採決シマス、本案ハ委員會長ノ報告ハ、即チ否決トナッテ居リマス  
○議長(松田正久君) 採決採リマス、此建議案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ望ミマス  
起立者 少數  
○議長(松田正久君) 少數デアリマス、本案ハ採用サレマセウ——議事日程第二十二、海外移民保護ニ關スル建議案ヲ討論シマス、委員長ヨリ報告ヲシマス——石塚重平君  
〔石塚重平君登壇〕 御委託ヲ受ケマシタ海外移民保護ニ關スル建議案ノ委員會ノ結果ヲ報告シマス、此案ハ我膨脹ノ日本ノ將來ニ付キマシテ、重モニ關係ヲ持チマス案デアリマスガ故ニ、委員會ヲ四度重ネマシタ、而シテ其委員ヲ列セラレタ諸君モ、多ク事情ニ明カナル諸君デゴザイマシタガ故ニ、政府委員ニ向ッテモ、精密ニ質問ヲ送ケマシタ、殊ニ外務大臣ノ出席ヲ求メマシタ、外務大臣ノ意見トシテ述ベラレマシタコロノ大體ヲ、御話申上ゲマシタ、即チ此案ニ對シテハ、我帝國ノ勢力範圍ノ及ブ所ノモノト、而シテ勢力範圍以外ニ涉ル所ノモノ、二種ニ別ケテ、而シテ勢力範圍ノ以內ニ及ブモノ、モノニ對シテハ、政治上ノ關係モアル、必要ハナイ、而シテ此勢力範圍ノ範圍ノ以外ニ涉ルモノ、モノニ對シテハ、三個ノ目的ガアル、即チ第一商業、第二航海力範圍ノ以外ニ涉ルモノ、モノニ對シテハ、是迄政府ガ十分ニ此獎勵ノ途ヲ探ッテ來タラアルガ、尙今後ニ於テモ爲シ得ラル、限リハ、十分保護監督ノ居クヤウニ進メツ、アルト云フコトヲ、明言ヲサレマシタ、而シテ委員會ノ決スルトコロハ、一人ノ少シク異ナルトコロノ異論ガゴザイマシタ、其意味ハ如何ナルコトデアルカト云ヘバ、在來ノ移民ノ方面ヲ變ヘテ、重モニ此滿韓ノ地方ヲ限ッテ、此保護監督ノ途ヲ進メタイ斯ウ云フコトヲ、在來ノ殖民地ニ向ッテ、是マデノ通り放任シテ居リ、即チ(簡單々々)ト呼フ者アリ、此專

第二十二 海外移民保護ニ關スル建議案吉植庄 (委員長報告)

ラ満韓ノ兩地ニ向テ、此方法ヲ實行シタリ、斯ウ云フ議論ガケテ、而シテ其議論モ滿韓ノ地方ハ含シテアルカ否ヤト云フコトヲ、提出者ニ質問ヲ致シマシテ、提出者モ之ヲ含シテアルト云フコトヲ答テ得ラレシメタガ故ニ、一部ノ賛成アルト云フコトヲ表セラレタ。譯デアリマスカラ、殆ド満場一致ヲ以テ此案ハ可決スベキモノト決定致シタ。譯デアリマス、何卒本會ニ於テモ委員會通御同意アラントコトヲ切ニ希望致シマス。

○早速整頓君(二百八十九番) チョット簡單デアリマスカラ、此席カラ意見ヲ述ベマス、私ハ此案ニ對シテ修正ノ意見ヲ有テ居ルノデアリマスガ、此修正ノ意見ニハ本案ノ提出者モ、ウレカラ本案ニ對シテ御贊成ニナル御方モ、私ノ修正ニ對シテハ、別ニ御異存ハナイコトデアラウト思フテ居ル、ウレハド云フコトデアリカト云フコト、建海外移民ノ保護ナルコトデアラウト思フテ居ル、サウシテ此委員長ノ報告シタ建議ヲナスコトト云フ一項ヲ加ヘル、斯ウ云フ私ノ修正意見デアリマス、提出者ガ先日常議場ニ於テ長ト移民ノ獎勵ノ必要、ウレカラ移民政策確立ノ必要ヲ述ベラレタノハ、本員共大ニ其精神ヲ贊成スルトゴロゴロデアリマスガ、此建議文ニ見マスト云フト、少シモ政府ニ對シテ此移民事業ニ關シテ、積極的ノ施設ヲ求ムルト云フ意味ガ掲ケラレテ居ラス、唯必要ナル調査ヲシテ、移民地ノ調査ヲ遂ゲルト云フコトガ掲ケテゴザイマスケレドモ、大イニ移民獎勵ヲシテ是マデノヤリ方ヲ改メテ、此事業ノタメニ積極的ノ施設ヲセヨト云フ文字ト云フモノハ、此建議文ニ掲ケラレテ居ラス、恐ラク本案ノ提出者モ此建議文ニ對シテハ、私ハ御満足デナカラウト思フテ居ルノデアリマス、委員會ノ速記録ニ依リシテモ(簡單簡單ト呼フ者アリ)直キ濟ムノデス。政府ノ外務大臣或ハ外務次官ノ御答辯ガ實ハ羨ヘ切ラナイ、保護ヲヤリ、監督ヲヤル、保護ヲヤルト云フコトニナルト、移民ガ即チ棄民獎勵ヲスルト云フ考モアルケレドモ、單ニ獎勵ヲスルト云フコトニナルト、移民ガ即チ棄民ニナルカラ、保護ノ上カライロ、制限ヲ加ヘナケレバナラヌト云フヤウナ意味ハ、屢々述べラレテ居リマス、サウシマス、政府ノ所謂保護監督ト云フモノハ、移民事業ニ對シテ干渉アレテ居ラス、國民ガ望ムヤウナ、國民ノ輿論ガ希望スルヤウナ、移民事業ノ獎勵ヲシテナケレバナラヌコトハ、分リ切テ話アルケレドモ、是マデノ政府ノ大方針ガ決定シテ居ラスガタメニ、此獎勵ノ目的ヲ十分ニ達スルコトガ出來ナイノデ、私ハ此點ニ於テハ、外務省ノヤリ方カ無方針デアルト云フコトヲ斷言スルニ躊躇シナイノデアリマス、幾ラモ此事實ハ提案者モ先日此議場テ御説明デゴザイマシタ、ウレアルカラ唯移民ヲ保護シテ監督シテ居ルト云フ建議文ナラバ、ヤラヌ方ガ宜シ、平々凡々ニ失スル此委員長ノ報告通ノ建議文デハ何ニモナラヌカラ、政府ニ對シテモ、一層進ムニシテ文ヲシナケレバ、移民事業ニ對シテ忠實ナモノト云フコトハ出來ヌ、ウレ私ハ更ニ一項ヲ加ヘテ、移民獎勵ノ目的ヲ以テ、是マデアッタヤウナ制限ナドハ、之ヲ解除シテ、サウシテ更ニ獎勵ニ必要ナル設備ヲシテ往クト云フコトヲ註文ガ加ヘテ、又之ヲ加ヘナケレバ、本案提出者ノ精神モ満足セシムルコトガ出來ヌ、提案者ガ此席ニ於テ述べラレタ希望ヲ満足サセセヨト云フハ、一箇條ヲ加ヘテ、政府ニ向テ多ク請求ガシタ、希望ヲ多クシタイト云フノガ、私ノ修正意見ノ趣意デゴザイマス(採決々々ト呼フ者アリ)恐ラクドナタモ御異論ノナイコトト信ジマスカラ、提案者ニ於テモ、私ノ說ヲ御贊成下サルコトニシ、合セテ満場ノ御贊同ヲ仰ギマス。

○議長(松田正久君) 定規ノ贊成者ガアリマスカ (アリマス)ト呼フ者アリ

官報號外 明治三十八年二月二十四日 衆議院議事速記録第二十號 海外移民保護ニ關スル建議案

○恆松隆慶君(百五十九番) 議論ハ措イテ決ヲ採ラレシコトヲ... ○議長(松田正久君) 贊成ガナイモノト認メテ異議ハアリマセヌカ

○福井三郎君(三百二十二番) 諸君、私ハ此問題ニ反對スルノ一人デアリマス、茲ニ反對ノ理由ヲ延ベマス、本會モ最早且夕ニ追リマシタ今日ニ於テ、僅カデモ時間ヲ潰シマスノハ、甚ダ恐縮致シマスケレドモ、殊ニ本員ノ如キ分際デ、反對呼ハリテ致シマスノハ、定メシ満場諸君ガ御聽苦シイデゴザイマセウト信ジテ居ル、(聽苦シイト呼フ者アリ)或ハ然ラント思フテ居ルノデス、併ナガラ一寸ノ蟲ニモ五分ノ魂デアリマス(笑聲起ル)本員ハ此問題ニ付イテ、十數年來ノ宿論ト云ウタラ嗚呼ガマシウゴザイマスガ、考ガゴザイマス、其考ハ不幸ニシテ吉植君ノ建議案ト一致致シマス、是ガ又甚ダ小ナル問題ナイノデゴザイマス、故ニ己ニ得ズ、今日暫クの間御邪魔ヲ致シマス、委員會ニ於テ委員長ハ殆ド全會一致ト述ベラレシメタガ、其殆ド殘タ一人ノ反對ガ私委員會ニ於テ委員長ハ全然皆贊成ヲ表セラレタト云フコトデ、今日ハ殊ニ日暮シテ明リガ點キマシタカラ、御聽苦シウゴザイマセウガ、暫時國家ノタメ御忍ビテ願ヒタイト思ヒマス、(國家ノタメ其議論ヲヨシテ與レ給ヘト呼フ者アリ)諸君、本員ガ見テ以テ移民トナスモノハ、先ヅ我北海道ニ移住シタル内地人ノ如キ、或ハ亞米利加大陸ニ移住致シマシタ歐羅巴人ノ如キ、乃至布哇ニ移住致シマシタ米國人ノ如キ、少ナクとも其國ニ於テ相當ノ生活ヲシテ、其國民ト同等位ニハ發達シマシタモノデアアル、モウ一ツ望メバ其國民以上ニ發達スルモノト呼ビテ、移民ト本員ハ言フノデアアル、今日布哇其他ノトラスンス國民ル(若ハバンクーバー)ナドト云フ約十箇所バカリニ散在シテ居ルトコトノ憫レナル日備出稼人、即チ奴隸ノ境ニ墮テ居ルモノヲ稱シテ、移民ト居ルノデアリマセヌ、本建議案ガ若モ本員ノ所謂前者ヲ保護獎勵スルト云フコトデアラナラバ、何ヲ苦シテ反對シマセウ、本員ハ喜ンデ贊成スルノデアアル、然ルニ惜イカナ本建議案、本員ノ所謂後者ノ奴隸的移民ニ屬スルノデアリマス、故ニ本員ハ國家ノ名譽ヲ代表シテ、茲ニ反對セザルヲ得ヌノデアリマス、若モ本建議案ガ所謂前者ノ移民デアラナラバ、勿論本員ハ贊成ヲスルノデアアルガ、今日ノ移民ハ決シテ奴隸的ナリ、決シテ不都合ナル取扱ハ破テ居ラス、到ル所ハ曰ク、今日ノ移民ハ決シテ奴隸的ナリ、決シテ不都合ナル取扱ハ破テ居ラス、到ル所得々トシテ喜ンデ居ル、金モ澤山持ッテ來ル、ト斯ウ云ヒマス、成程ソレハサウデアアルカモ知レマセヌ、殊ニ又今日ノ我國ノ勢ト云フモノハ、年々五十萬バカリノ率ヲ以テ、人口ガ蕃殖スルノデアアルカ、此蕃殖スル人口ヲ如何ニスルカドウシテモ、海外ニ人ヲ送り出スヨリ外ニ途ガナイデアリナカ、斯ウ云フノガ論者ノ論旨デアアル、斯ノ如キ論者ノ要スルニ、支那人ノ考デアアルノデアアル(ノウウ)ト呼フ者アリ)妻ヲ人ノ妾ニシテモ、子ヲ犧牲ニシテモ、金サヘ得レバ少シモ顧着ナイト、斯様ニ言ハルノデアアルト本員ノ愚トシテハ考ヘルノデアリマス、諸君是カラ先ノコトハ、其移民ガ果シテ奴隸的デアラカ、又論者ノ所謂立派ナ望ミアル移民デアラカト云フコトハ、畢竟是ハ事實問題ニ屬スルノデアリマス、所謂事實ノ争イデアアル、雙方見テ來タ者ガ證據立テ争フ問題デゴザイマス、故ニ此問題ヲ引出シテ争フ致シマスレハ、日モ詳シ足ラヌデアアル、故ニ本員ハ今日ハモウ餘程進イカテ、僅簡テ御話ヲシナケレバナラヌノハ、移民ハ御承知ノ通り、我國ニ於テハ明治元年ニ横濱ノ英國人ガ、百人バカリ誘拐シテ布哇ニ持ッテ往クノ奴隸ニシタ、之ガタメニ明治五年カニ政府ガ官吏ヲ派シテ、伴レテ戻タコトガアル、斯ノ如キモノハ別問題トシテ先ヅ現今ノ奴隸的移民ト本員ノ公言スルノハ何レヨリ始マツタカト云フモノガアル、其渡航條約ニ依テ、二十七年ニ官約移民ト云フモノガ、此條約ガ廢棄セラレシマシタト云フマデ、約ソ二萬人バカリノ人ガ、布哇ニ政府ノ世話ヲ以テ送ラレタ、テゴザイマセウ、ウレカラ又移民會社ノ誘拐ニ依テ、否ナ、御世話ニ依テ、募集ニ依テ往カレタモノナドヲ併セテ、或ハ其中ニ自由渡航モアッタテゴザイマセウガ彼此併セテ往カレタモノ

(二二)

○議長(松田正久君) 贊成者ガアリマスカ (アリマス)ト呼フ者アリ

三三五

キマシテ者ガ、約ソ十一万人餘リデゴザイマス、其他ニ尙ホマダ「トラス」スウアル「パンク」ト云フ、名前モ能ク覺エテ居レヌヤウナ所ノ、約ソ十箇所バカリニ散在シテ居ル移民ガ、其後八万人バカリニナリ、今日マデ海外ニ出テ居ル者ガ二十万人バカリニナリ、此二十万人バカリノ移民ヲ、本員ハ稱シテ「奴隸的移民」、憫れ果敢ナキ日備出稼人ト云フデアリマス、是ガ「奴隸的」ノ移民ナルト云フコトハ、前ニモ述ベタ通り、事實ノ問題デアルカラ「簡單」ト云フ聲起ル、事實ヲ擧ゲテ是ニ反對セザルベカラザル御話ヲシヤウト思フダガ、大分諸君ハ御返答ノヤウデ、簡單ノ聲モ起ルヤウデアルカラ、事實ヲ一々書上ケテ、茲ニ二十箇條バカリ持ッテ居リマス、言フノヲ止メマセウ、若シ本員ノ議論ニ不審ガアツタナラバ、御質問ニ應ジテ事實ノ證據ヲ擧ゲテ御答ラズルコトニシテ、今日ハ列擧シマセヌ、唯本員ハ茲ニ之ヲ「奴隸的移民ナリト斷言シテ置ク」ニ止メルデアリマス、此「奴隸的移民」ニ付イテ本員ハ反對説ヲ述ベルデアル、諸君「マダヤルノカヘ」ト呼フ者アリ「ヤルトモ」此「奴隸的」日備出稼人ガ往ッテ居ルデアアル、之ヲ不憫トモ思ハネバ、又國賊トモ考ヘズシテ國費ヲ以テ之ヲ澤山送出サウ、此「奴隸的」移民ヲ保護スルノデアアル、移民ヲ獎勵スルノデアアル、御行ノ移民保護法ヲ見テ、早速君ノ御説ノアツタ如ク、アレハ干涉シテ、保護モスル獎勵モスルト云ハレマス、今早速君ノ御説ヲスルカト云フ、委員長ノ問ニ對シテ、保護モスル獎勵モスルト云ハレマス、實ハアレハ保護デモナケレバ獎勵デモナク、所謂干涉法デ、保護法ト云フ巧ミナル名目ノ下ニ於テ、實ハ移民ヲ防遏スル防遏法デアアルデアアル、移民保護法ト云フモノハ、彼ノ「憫れ」ムベキ日備出稼人ノ前ニ張ラレタル鐵條網デアリマス、此鐵條網ガアツタレバコソ、既往二十万人バカリノ移民ガ出テ、其中七万人バカリハ戻ラセテ、後トニ殘ッテ居ル者ガ十三万人バカリデアルガ、若シ此鐵條網ガナカッタナラバ、思フニ今頃ハソレヲ商賣ニスル人達ノ誘拐ノタメニ、否ナ、募集ニ應ジテ、サウシテ旨イ口車ニ乗ッテ出テ往ッテ、外國ニ多ク棄民即チ乞食ヲ造ッテ、今日アツタリハ船ヲ出シテ伴レテ戻ラナケレバナラヌト云フ、必要追ッテ居ララウト思フノデゴザイマス、幸ニシテ其事ノナカッタハ、是ハ當局者ガ移民干渉法ト云フ、否ナ、保護法ト云フ巧ミナル名目ノ下ニ干涉ヲ行ヒ、獎勵ノ名目ノ下ニ巧ミニ防遏禁止ヲ行ウダ、效能ニ歸スルデアリマス、故ニ本員ハ何事モ餘リ感心セヌ政府ノコトデゴザイマスガ、此事バカリハ、喜ンデ兩手ヲ突イテ、國家ノタメニ感謝スルデアアル、實ニ政府ノ功ヲ多クスルモノデアリマス、諸君、此十三万人殘ッテ居ル移民中デ、或ハ得ッテ安シク居ル者モアリマセウ、或論者ハ十三万人ノ移民ハ、皆喜ンデ居ル、「シヤツ」テ被ッテ洋服ヲ著テ、時計ヲ持ッテ得ッテ居ル、之ガ何デ「奴隸的」デアルカ、何ガ之ガ悲哀デアルカ、憫れデアルカト云フ、論者ガアリマスガ、成程ソレハ得ッテ居ルニ相違ナイ、喜ンデ居ルニ相違ナイ、本員ハ之ヲ論者ト同感デアアル、何トナレバ貧乏人ガ、愈々窮シテ來テ、將ニ乞食ニナラントシテ、人ニ訴ヘテ人ノ助けヲ請フ中ハ宜イケレドモ、愈々陷ッテ乞食ニナラントシテ、何年モ經過スルト云フト、終ニ其境遇ニ安シクシテ、別ニ乞食ヲ辛イトモ思ハヌ、得ッテ安シク居ルノガ今日ノ有様デアアル、ソコデ此移民ナルモノガ、得ッテ安シク居ルコト云フノハ、境遇ガ有難イカラデハナイ、即チ境遇ガ然ラシメタノデアアル、習慣ガ然ラシメタノデアアル、習慣ガ然ラシメタモノデアルト思ヘバ、熱イ涙ガ流レルデアアル、氣ノ毒ノ情ニ堪ヘヌデアアル、是デ以テ仕合セアルト云フノハ、餘程考ノ足ラヌト云フハナケレバナラヌ、少シク考ガアツタナラバ、ソレナ境遇ニ居リハセヌデアアル、中ニハ五人七八人金持ニナラシメ居ル者モアル、中ニハ地主ニナラシメ居ル者モアルト云ヒマス、「ホワイ」ト云フ、二ナラシメ居ル者モアルト云フ、御自慢ナル人モアル、本員ハ決シテ之ヲ無イハ言ヌ、ダカラ是ハ消極的ノ自慢ト云フ、一向感服ハシナイデアアル、ソレ先頃大阪ノ名取川丸ガ紀州カラ戻リ、成程一海ヲ乗切ッテ見ヤウト冒險的ノ仕事ナラ、百八十七人バカリハ助ッテ上テ、成程一海ヲ乗切ッテ見ヤウト冒險的ノ仕事ナラ、百八十七人バカリデモ八人デモ助ッテ成功シタラウダ、紀州カラ大阪カラ來ル間ニ、商賣ノ汽船デ

アルトシタナラバ、百人ニ對スル九十幾人が死ンダナラ、私ハ之ヲ以テ全部亡ビタモノデアアルト斷言スル、五人ヤ七人助ッカッタノハ、決シテ自慢デハナイ、論者ノ移民ニ付イテノ自慢ハ、之ニ類スルデアアル、既往十數年ノ間ニ、五人七八人ノ財產家ガ出來タカ地面持ガ出來タカ云フノハ、名取川丸ノ沈没ヨリハ、其助ッタト云フ比例ハ餘程遠イデアアル、其位ノコトガアルカラト云フ、十九万九千九百九十幾人ノ犧牲ニ供サナケレバナラヌト云フノハ、實ニ算盤ニ疎イ議論デアアルト云フハナケレバナラヌ、又モウ一ツ「濟」ムデアアルカラ、幸抱シテ御聽キ下サイ（笑聲起ル）又既往十數年ノ間ニ、二十万人ノ中カラ五人七八人ノ金持ガ出來タカシテモ、此等ノ場合ノ外ニ一應尤ニ聞エテ本員モ鄭重ニ反駁ヲ加ヘナケレバナラヌト存ジマス、日本ニ金ヲ持ッテ來ルト云フ一事デ、アルサウ惡ルク言フガ、移民デモ年々七八百万圓ノ金ヲ日本ニ持ッテ來ルゾヨ、一千万近クノ金ヲ持ッテ來ルト云フ、是ハ如何ニモサウデアアル、嘘デアナイ、當局者ニ聞イテモ稍、其位ハ持ッテ來ルト云フ、此一事ニ付イテハ、實ニ效能ハアル、併シ諸君能ク考ヘテ下サイ、ソレモ品位ト相談デアアル、即チ品位ト、相談デアアル、品位人格ト、對照問題デアアル、如何ニ品位ヲ失ウテモ如何ニ人格ヲ失ウテモ、國家ノタメニ恥辱ヲ忍ビテモ、金サヘ持ッテ、母國ニ往カレ、如何ニ辱ヲ受ケテモ、金サヘ持ッテ歸レバ、ソレヲ歡迎スルト云フモノデハナイ、或熱マデハ人間ノスベキコトヲシテ、獎勵ナリ何ナリ、金ヲ持ッテ歸ッテ上テ云フナラバ、母國ハ歡迎デ之ヲ迎ヘル、併シ夜陰竊ニ人ノ目ヲ偷シテ醜業ヲ營ムトカ、或ハ牛馬ノ如ク逐使ハレルト云フ如キ、恥辱ヲ忍ビテ歸ッテ來タナラバ、母國ノ者ハ之ヲ何ト申シマセウ、馬鹿者メト云フヨリ外ニ仕方ガアリマス、國家ハ斯様ナ不祥ナ金ヲ以テ一國ノ政治ヲシヤウト云フ希望ハナイデアリマス、殊ニ此七八百万圓ノ半バマデハ、大抵醜業婦トカ淫賣婦トカ云フ者、持ッテ歸ル金デアルト云フコトニ氣ガ付イタナラバ、蓋シ思ヒ半バニ過ギルデアラウト思フ、先ッ辯駁ハ此位ニシテ置キマス、ソコデ乃チ本員ハ此將來ニ向ッテ發展ノ見込アル移民ハ、別トシテ、奴隸的ノ移民ハ反對デアアル、現在ノ移民モ何カ方法ヲ以テ伴居シタイト考ヘテ居ル、若シ發展ノ見込アル移民ナラバ、金ヲ掛ケテ御相談スルデアアル、是ハ少シモ反對スルデアナイ、所デ最後ニ述べル一問題ハ、人口ヲ養殖ノ問題デアアル、年々五十万ノ人口ハ増シ、アル國柄デアアル、是モ大ニ考ヘテ置カナケレバナラヌ、併シ此人口モ決シテ徒ラニ殖エルノデアリナイ、欲イ日本ニ斯ノ如キ人口ノ増殖スルノハ、即チ天ガ此日本國民ヲシテ大ニ爲スヤラシムルノ希望ヲ寄セテ居ルデアアル、ソレ故ニ殖エルノデゴザイマス、給仕水ガナイ（水ノアルルケニシテ呉レト呼フ者アリ）此希望アルト云フバカリニ散在シテ居ルコロノ國民ハ、御承知ノ通ニ發展スベキノデアレバ、既往十七八年、此方ニ大分發展シナケレバナラヌデアアル、然ルニ彼處デハ上陸ヲ禁ズルトカ、此處デハ謝絶スルナド、云フ、イヤガラレテ、支那人以下ニ取扱ハレテ居ルデアアル、即チ斯ノ如キハ天ガ往ケヨト命ジタノデアリナイ、自然ノ趨勢ニ背イテ居ルカラデアルト思フ、眼ヲ轉シテ東洋ノ天地ヲ御覽ナサイ、朝鮮ハドウデゴザイマス、本員ハ其實況ヲ見マシダガ、諸君ニ於テモ定メテ御存シテアリアマセウガ、釜山デモ、仁川デモ、京城デモ、元山デモ、乃至鎮南浦、平壤ト云フ地方ハ、何レモ大ナル日本町ヲ形成シテ居リマス、五六千人ガ住ッテ、優ニ千戸ノ葺キ構ヘマシテ、眞ニ驚ッベキ立派ナ町ガアル、サウシテ一種總體ナル自治制ガ行ハレテ居ル（ノウト）呼フ者アリ）ノウト云フノハ、未ダ朝鮮ヲ御存ジナイデアアル、從ッテ此人間ハ土地ヲ有シ、家屋ヲ構ヘ、一種總體ナ自治制ヲ行ウテ居ルガ、何レモ其地方ニ於テ最上ニ位ニ居ル、是ハ誰ガ助ケタカト云ヘバ、本國カラ三文助ケタノデアリナイ、政府ガ世話ヲシタノデアリナイ、此點ニ於テモ、政府ハ巧ニ防遏禁止ノ手段ヲ行ウテ居ル、然ルニ其鐵條網ヲ潛シテ、彼地ニ渡ッテ働イタ人デアアル、諸君ノ如ク立派ナ新智識ト金ヲ持ッテ居ル人ガ往ッタノデアリナイ、本國ニ於テハ爲ストコロヲ失フ、僅ニセメテ朝鮮ニテモ往ッテト云フヤウナ境遇ノ人ガ、今日ハ立派ノ紳士デ、御同僚ガ爲シ程ノ金ト權力ヲ持ッテ居ル、是ハ言フマデモナイ自然ノ力天ノ

意テアル、天ノ意ニ從テ往ツタカラ、繁榮スルノテアル、一方ハ天ノ意ニ背イタカラ衰ヘルコトヲ、私ガ言フコトハ、歴々タルモノデアリマス、東洋ハ我國民ノ發展スベキ所デアルト云フコトヲ、私ガ言フコトハ、東洋トハ甚ダ狭イテハナイカ、ナゼ世界ニ發展スルコトヲ言ハヌカト反問スル人ガアルハ、言ハ大ナルヲ要シ、壯ナルヲ要スルガ、考ヘテハ、大言ト云フハ、大言ト云フ語ヲスル人ハ、何事ヲモ爲シ得ヌノデアル、故ニ本員ハ極メテ緻密ニ考ヘテ、先ヅ一筆帶水ノ朝鮮ヨリ始メヨト云フノテ、朝鮮ヨリ進シテ、遠ク烏拉山脈ヲ越ヘテ往テ、支那ニ至リ、故ニ此方面ノコトハ相手ハ露西亞デアアルガ、露西亞ハ金力ト人力ト極メテ、支那ニ鐵道ヲ敷イテ、到ル處ニ東方ノ經營ニ努メ、愛親覺羅氏ヲ御前立ニシテ、我邦ニ推シ掛テ來ヤウト計畫シテ、アルデアリマセヌカ、所ガ世間ノ一部ト時ノ政府ノ一部トニハ、恐露病ト云フモノガアツテ、露西亞ニハ、到底敵スベカラズト云フ考ヘテアツタトコロガ、今日ハドウデアアル、本員ハ當時御心配ナサルナ、其鐵道ハ天ノ意ニ逆ツタモノデアアル、之ハ吾々ノ膨脹シテ出掛ケルノ助ケルタメニ、架ケツ、アルデアアル、少シモ御心配ハ要ラナイノデアアル、又彼ガ澤山作ル所ノ都府ハ、吾々ヲ待設ケルタメニ、作りツ、アル都府デアアル、決シテ御心配ナサルナ、寧ロ之ハ感謝シテ宜シイ、決シテ怒ムコトモ、怒ルコトモ、入ラヌト云ウテ居タ(笑聲起ル)所ガ、其時ハ此事大言ト申シ、突飛ト評サレテ居タガ、果セル哉、事實ハドウデス、彼ガ持ヘタ鐵道ハ、今日現ニ吾々大和民族ヲ乘セテ、往復シテ居ルデアリナイカ(笑聲起ル)夫ノ流ヲ表シタトコロ、鐵道トナリツ、アルデアリナイカ、強大ナリト誇リツ、アリシ露國モ、意ヲ我大和民族ノ向フトコロニハ、當ルコトガ出來ナイテ、王師一タヒ興レバ、單食盡聚シテ之ヲ迎ヘルデアリナイカ(笑聲起ル)露國ハ其名ノ如ク、名詮自稱、露ト消エテ朝日ノ前ニナクナリツ、アルデアリナイカ(拍手起ル)是レ即チ天ノ意ヲ證據立アルモノデアアル、大意ノアル所ヲ知ラヌモノハ、遂ニ奴隸ニナルコトガアルデアアル、故ニ本員ハ是ヨリ將ニ大ニ發展スベキ大和民族ノタメニ、茲ニ奴隸ヲ造ルト云フ、此建議案ニ反對セザルヲ得ヌノデアアル、特ニ最後ニ望シテ一言シナケレバナラヌ、支那朝鮮ノコトデアアル、親戚ニ等シキ此兩國ハ、ドウシテ我國ニ於テ、助ケナケレバナラヌ、之ヲ開發指導シナケレバ、ナラヌノデアアルガ、之ヲ何トスル、何カ顧問ノ如キヲ置イテ、達ノ一ツヤ一ツヤ出シタ所ガ、實ニ何ニモナラヌ、紙ヤ筆ヤ餘所ノ國ガ改造ノ出來ルモノデアリ、要スルニ何デモ構ハヌ、大勢我國民ガ押出シテ、五百萬人、一千万人ノ人ガ出掛ケテ、アラユル方面カラ、開發指導シテ、其力ヲ我ニ同化セシメテ、而シテ世界競争ノ舞臺ニ引入レテ、有難イ文明政治ノ澤ニ浴セシムルヨリ外ハナイノデアアル、故ニ人ハ一人モ大切デ、之ヲ海外各地ニ於テ、奴隸ニシテシマフト云フコトハ出來ヌノデアアル、而シテ國家ガ世話ヲシテ、國家ノ費用ヲ以テ奴隸ヲ作ルト云フコトハ、本員ノ取ラザルトコロデ、此建議案ハ煎ジ詰メレバ、ソレニナルデアアル、特ニ建議ノ文章モ、委員會ニ於テ、ドレニモ不同意デアツタガ、其中ヲ又抹殺シテ、殘ツタモノハ、丁度アリモシナイ鳥賊ノ骨ヲ抜イテ、肉ナシニシテシマッタノデアアル、斯ノ如キモノヲ政府ニ授ケテ、何トカシロト追ツタトコロガ、茫漠タル「アラビヤ」ノ砂漠ノヤウナ、廣イ意味ノ建議ノ下ニ、何ヲスルコトガ出來ルカ、本員ハ極メテ危険ナル、極メテ不愉快ナル、極メテ不親切ナル此案ニハ、不同意ヲ表スル一人デアリマス、提案者ノ吉植君ニハ眞ニ相濟マヌガ、茲ニ反對ノ意ヲ表シテ置キマス

ソ奴隸ト云フコトハ、無制限ニ權力ヲ持タナイモノデアリマシテ、今日ノ契約ノ移民ト云フモノハ、決シテ斯ノ如キモノデアリマセヌ、一定ノ契約ノ下ニ就勞スルノデアリマシテ、一時間幾ラ、一日幾ラト云フ契約ニ依テ、就勞シテ居ルノデアリマス、若シ此移民ガ奴隸デアリマシタラバ、學術ヲ持テ或ハ技術ヲ以テ、勞働ヲ賣ルモノモ、亦奴隸ト云ハナケレバアラヌト思フ、故ニ之ハサウ云フ觀念ヲ以テ、論斷スルコトデアアル、甚ダ其當ラ得ヌト思フ、第二ハ人格問題デアリマスガ、月ヲ移民ナルモノヲ海外ニ出スノハ、勿論小ナルモノデアアル、又貧シキモノデアアルガタメニ、海外ニ出ルノ必要ハ少シモナイ、既ニ歐米ニ於テモ、多アリ、相當ノ智識アルモノナラバ、海外ニ出ル必要ハ少シモナイ、既ニ歐米ニ於テモ、多數ノ勞働者ガ外國ニ出テ居ル、併ナカラ決シテ之ガタメニ、國威ヲ損セラル、コトモナイ、斯ノ如キコトヲ、國ノ威嚴ヲ損スルコト云フヤウニ考ヘル人ハ、今日ノ進運ヲ知ラナイ、退嬰ノ主義ヲ採ルトコロモノデアリマス

○議長(松田正久君) 諸君ニ申上ゲマヌガ、唯今定足數ヲ缺イテ居リマスカラ、本議事は是ニテ中止致シマス——報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セラレタリ

外國ニ在留スル軍人ノ動員ニ關スル建議案

提出者 荒川 五郎君

脚氣病調査ニ關スル建議案

提出者 山根 正次君

松本君平君ヨリ外交ニ關スル件、森繁君ヨリ司法行政ニ關スル件、統一及官吏辭表副奏拒絕ニ關スル再質問ノ件ニ付質問主意書ヲ提出セラレタリ

貴族院ニ於テ本院送付ニ係ル政府提出賣藥稅法案、裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案ヲ可決シ明治三十七年勅令第百七十七號ニ對シ承諾スルコトヲ議決ス

及本院提出裁判所構成法中改正法律案ヲ可決シ土地收用法中改正法律案、國有土地森林原野下辰申請期間ニ關スル法律案ニ對シ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セル旨同院ヨリ通牒アリタリ

委員ヲ指名スル左ノ如シ

○議長(松田正久君) 二百九十六番

(討論終結)ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 通告ガアリマス

(日向輝武君登壇)

○日向輝武君(二百九十六番) 唯今此案ノ反對論者ハ、縷々御意見ヲ述ベラレマシタガ、要スルニ其論點ハ三ツニ過ギヌ、又其第一ハ、現在ノ移民ハ奴隸ナルガ故ニ反對ス、第二ハ下等ナル所ノ細民ヲ海外ニ出スノハ、國ノ恥辱デアアル故ニ、之ニ反對ス、第三ハ能クハ存ジマセヌガ、先ヅ是ヲ天命論トモ名ケルコトガ出來ルデアリマセウ——凡

登錄稅法中改正法律案

林 小 參君 美禰 龍彦君

服部 小十郎君 山口 小一君

安島 重三郎君 富島 暢夫君

醫師免許規則中改正法律案

長 晴 登君 初木 卿太郎君

西山 彰君 武市 庫太郎君

市田 兵七君 乾 奈良吉君

戶主ニ非ラサル者ヲ授ケラレタル場合ニ關スル法律案

米澤 紋三郎君 齋藤 珪次君

横堀 三子君 大石 熊吉君

奥田 義人君 駒林 廣運君

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

外交ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十八年二月二十三日

提出者 松本 君平

贊成者 竹越 與三郎

外三十四名

官報號外 明治三十八年二月二十四日 衆議院議事速記第二十號 海外移民保護ニ關スル建議案 議長ノ報告

三三七

外交ニ關スル質問主意書

開國以來文明ノ施設國運ノ進歩ニ就テ我カ國民カ合衆國人民ニ負フ處ノモノ甚ク大ナルハ國民ノ等シク感謝スル處ニシテ日米兩國ノ國際ノ關係ニ更ニ益々親交ヲ加フハ我カ國民ノ希望ニシテ且ツ要求スル處也今次日露戰役ノ開始ヨリ今日ニ至ル迄合衆國民ハ破ル可カラサル無限ノ同情ヲ以テ道徳上ノ援助ヲ我國民ニ寄與セラレタリ是レ獨リ日米兩國ノ歷史上ノ事情及感操ノ合一セルカ爲メノミニ非ス我カ國民カ人道ト文明ノ爲メ自由ト平和ノ爲メニ勇戦ヲ爲スフ知ルカ故ナリト信ス滿洲ノ開放支那帝國ノ保全其他極東政治ニ關シ合衆國政府カ我國ト全然其意見ヲ同フシ利害ヲ一ニスルハ該國當局者ノ文意ニ徴シテ明ニ得ヘシ日米兩國通商上ノ關係ニ於テハ年々歲々驚クヘク長足ノ進歩ヲシ畫ツ、アリ特ニ去歲我カ政府カ外債ヲ募集スルニ當ツテ該國資本家カ率先シテ此ノ募集ニ應ジタル事實ハ該國ニ於ケル稀有ノ出來事ニシテ又注目スヘキ顯著ナル事實ナリ既ニ米國ニ於ケル有力ナル新聞紙ハ盛ニ日米同盟ノ必要ヲ論スルモノアルニ至ル是ノ如ク歷史上ノ事實ニ於テ道徳的感操ニ於テ極東政治ノ利害ニ於テ通商貿易ノ關係ニ於テ日米兩國ハ離ル可カラサル一種ノ親交關係ヲ作りツ、アリ唯々今日此親交關係ハ政治上ノ意味ニ於テ言ヒ表ハサレサルノミ日米兩國ノ國際ノ關係ニ更ニ益々親交ヲ加ヘント欲スルハ我カ國民ノ希望ナルカ政府ハ果シテ將來ニ於テ此ノ日米兩國ノ親交ニ向テ更ニ一步ヲ進ムルノ意志アリヤ又果シテ意志ヲ現實スルノ手段ヲナシツ、アリヤ

司法行政ニ大權ノ統一及官吏辭表副奏拒絕ニ關スル再質問書  
右成規ニ據リ提出候也

明治三十八年二月二十三日

提出者 森 肇

贊成者 奥野 市次郎 外百二十三名

司法行政ニ大權ノ統一及官吏辭表副奏拒絕ニ關スル再質問主意書

竊ニ本年一月二十六日付質問シタル題記ノ件ニ關シ政府ハ本院ニ對シテ未タ何等ノ答辯ヲ爲サ、ルノミナラス檢事紀志嘉實ニ對シテモ亦何等處分ヲ與ヘス曠日三旬ニ垂ントシテ本議會ノ開期亦將ニ盡キントス  
依テ左ニ再應質問主意ヲ覆記シ併セテ質問主意一項ヲ加フ内閣總理大臣ハ明後二十五日ヲ期シ躬カラ本院會議ニ出席答辯アランコトヲ求ム  
質問第一項ハ起訴權ノ行用ヲ危殆ニ陷レタル宿弊ノ因由スル所ナルモ主トシテ法律ノ解釋ニ關スルヲ以テ少ラク覆記ノ煩ヲ避ク  
同第二項ハ當サニ事實ノ判斷ニ屬ス然ルニ主務大臣ハ事實ノ真相ヲ究メス既ニ贈賄者ヲ罰シタル拘ハラス區々ノ情實ヲ斟酌シ漫リニ收賄者ヲ不問ニ付スヘシト指揮シタルハ特ニ何等カノ消息ナキ限りハ失當ノ甚シキモノト言ハサルヘカラス政府ハ之ヲモ尙便宜主義ニ由ル權宜ノ處分ト思惟セルカ  
同第三項ハ苟モ無罪ノ判決ヲ受ケタルモノハ善良ナル民ナリトノ一片ノ法理ニ盾據スルニアラスハ政府ノ措置ハ全然官紀ヲ無視シ且國民道徳ノ基礎ヲ破壞スルモノニシテ一人無耻ノ徒ヲ重用セハ万人ノ之ニ倣ヘントト庶幾ハ強チ豫測シ難キコトニアラス政府ハ如斯ニテ尙輔弼ノ重責ヲ盡セリトナスカ  
同第四項ハ官紀ヲ維持スル上ニ於テ一應恆例ヲ重シスルハ必スシモ不可ナシト雖トモ嚴平タル一道ノ主張ヲ持シ明カニ彈劾ノ意思ヲ表示セル官吏ノ辭職ヲ抑壓スルハ上長クモ 聖明ヲ窺塞シ奉リ下自カラ醜ヲ掩ハントナス、嫌ナシトセス果シテ然ラハ政

府ハ公徳上其主張ノ是非ヲ判斷スヘキ資格ナキモノトハ認識セサルヤ  
更ニ第五項トシテ追加スルハ本年一月二十九日付本院質問ニ關シ紀志檢事ニ對シテ手續書ヲ徵シ別紙答申書ヲ收受シタリト聞ク然レハ政府ハ官吏ニ對スル議會ノ調査權ヲ否定セントナス乎

答申書

昨二十九日付ヲ以テ(明治三十八年一月二十六日衆議院議員森肇外三十一名ヨリ司法行政ニ大權ノ統一及官吏辭表副奏拒絕ニ關スル質問書ト題シ政府ニ提出シタル質問書中貴官カ嘗テ提出シタル辭職願、上表、免官副奏方ノ件ニ付キ願、及ヒ進達願ノ全文掲載アリ右ハ如何ナル原因及ヒ事情ニテ掲載セラル、ニ至リシヤ其顛末詳細手續書ヲ以テ至急本職ニ可被差出候也)トノ下問ニ接シ候處該文書ノ掲載セラル、ニ至リシ事情ハ素ト小官ノ與知シ得ル處ニアラスト答申スル、外ナク候午併單ニ不知ノ答申ヲ爲スハ却テ徒ラニ疑獄ヲ招クノ惧アルノミナラス今更右様ノ下問ニ接スルハ如今ノ官情ニ於テコソ蓋シ常套ナルヘキモ豫テ再四具情セル小官ノ立脚ヨリ之ヲ見レハ聊カ遺憾ナキニアラス依テ左ニ知レル部分ヲ略陳致候  
抑モ昨九月二十五日辭表提出以來小官ノ主張ハ既ニ幾度カ之ヲ竭シ且之カ解決ヲ得ントシテ隱約ノ裡殆んど有ラン限リノ手續ヲ盡シタルモ終ニ那處ニ於テモ一顧ノ榮フスラ得ル能ハス而モ始メヨリ之ヲ公ニシテ論争センニハ多少自ラ信スル所ナキニアラサリシモ小官ハ固ヨリ公議ニ訴フルノ意ナキハ勿論深ク官吏ノ德操ニ顧ミ久シク祕シテ人ニ語ラス專ラ上長ノ救治ヲ仰グト共ニ切ニ閣臣諸公ノ省慮ヲ請ハントシ謹テ命ヲ待ツト三閱月其間四五ノ農友ト相語ル、外亦多ク江湖ノ人ニ接セザリキ雖然次月其途ニ濟フヘカラサルヲ見レニ及ヒ小官タルモノ夫レ果シテ何レノ途ニカ出スヘキ於茲乎即チ退テ小節ヲ守持シテ一身ノ榮利ヲ圖ルヘキカ將タ進テ區々ノ節ヲ抛テ敢テ主張ニ殉センカハ勢ヒ小官ノ擇ハサルヘカラサル所ノモノナリ若シ夫レ這底ノ苦衷ニ至テハ蓋シ士道ヲ解セサルモノ、必スシモ推知シ難カラサルヘキヲ信セントス然ルニ頃者本問題ノ衆議院ニ顯ハル、ニ伴ヒ前掲文書ノ提出セラレタルヲ見テ遽カニ小官ヲ難詰スルモノアラハ開ハ弱者ノ眞理ヲ説クヲ惡シテ其頭ニ鞭ツモノ、爲ニ類セザランカ尤去月中旬衆議院議員森肇ヨリ事情ヲ質問セラレタルヲ以テ小官ハ包ム所ナク之ヲ語リ且求メニ依リ匣裏ニ藏メタリシ前掲文書ノ草稿ヲ舉ゲテ同人ニ交附シタルコトアリ而モ事ハ直チニ多數代議士ノ留意ヲ惹キ施テ該文書ノ政府ニ提出セラレ、ト否トハ固ヨリ小官ノ關知スル所ニアラス

明治三十八年一月三十一日

右及答申候也

議長(松田正久君) 議事日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知ニ及ヒマス、本日ハ是ニテ散會ヲ致シマス

午後五時四十一分散會

衆議院速記録第十九號正誤

頁	段	行	誤	正
二九七	下	一七	帝國ノ法規	帝國憲法ノ
同	同	一九	委任論	違憲論
同	同	二三	議ルカ	議ルトカ
同	同	二四	委ネルト云フ	委ネルトカ云フ
二九八	上	四	イヨシ	イヨシ
同	同	一七	云フ	云フ
二九九	同	二九	忠愛	忠愛
三〇〇	同	三〇	時局	時局